

平成 25 年度

学生生活アンケート調査報告書

YCU
横浜市立大学

平成25年度

学生生活アンケート調査報告書

目次

A 基本データ	頁
A-f 出身地(入学前の実家の所在地)	6
A-g 現在の住居の種類	7
A-h 授業料負担者	8
A-i あなたの生活を経済的に支えている主たる家計支持者	9
A-j あなたの生活を経済的に支えている主たる家計支持者の年間の大よその総収入	10
A-k 授業料を除く生活費の支出金額(月平均)を項目毎にマークしてください。	11
A-l 生活費の収入金額(月平均)を項目毎にマークしてください。	12
B 本学受験情報・教育内容について	
B-a 横浜市立大学を受験の際の入試区分を選択してください。	13
B-b 横浜市立大学を選んだ理由は何ですか。	14
B-c 横浜市立大学のカリキュラム(教育内容)には満足していますか。	15
B-d これまでに履修してきた授業の中で満足できた割合はどのくらいですか。	16
C 学習・研究環境、学内施設について	
C-a 授業時間外に学内で自習する場所はどこですか。	17
C-b 授業時間外に学内でくつろぐ場所はどこですか。	18
C-c 教室・講義棟の施設・設備の改善してほしい点がありますか。	19
C-d 学内の施設・設備で、新たに設置してもらいたいものはありますか。	20
C-e 学術情報センター、医学情報センター、その他図書室に求める要望や改善点がありますか。	21
C-f 情報教育実習室、情報処理教室、パソコンの使える部屋の施設やパソコン等の設備に求める要望や改善点がありますか。	22
C-g 大学窓口のサービスについての要望がありますか。	23
C-h 大学の環境活動(省エネ・エコ活動等)についてどう思いますか。	24
D 教員との関係について	
D-a あなたと指導教員(ゼミ、研究室教員)の関係はいかがですか。	25
D-b 指導教員(担任・ゼミ教員)と個別の会話や、相談の頻度はどのくらいですか。	26
D-c.1 D-bで1~4と答えた方にお尋ねします。指導教員(担任・ゼミ教員)に相談してよかったと思う内容は何ですか。	27
D-c.2 また、指導教員(担任・ゼミ教員)に相談して適切な答えが得られなかったと思う内容は何ですか。	28
D-d 担任や指導教員は、あなたに学習や研究上必要な指導や助言を行ってくれていますか。	29
E 各種メディアの利用状況について	
E-a 入学前、どのようにして横浜市立大学の情報を収集しましたか。	30
E-b 現在、掲示板、ホームページ、携帯サイトの学内情報をどのくらいの頻度で確認していますか。	31
E-c 休講や呼出、履修関係等の学内情報を主にどこで得ていますか。	32
E-d 大学が発行している次の印刷物について、日常的に利用しているものを以下の項目から選択してください。	33
F 留学について	
F-a 在学中に留学等を希望しますか。希望する場合はどのような形態を考えていますか。	34
F-b 留学等を希望する方にお尋ねします。留学をためらう理由は何ですか。	35
F-c 留学等を希望する方にお尋ねします。今後、新たに設けてほしい/増やしてほしい留学先について教えてください。	36
F-d 留学等を希望する方にお尋ねします。今後、新たに設けてほしい/増やしてほしいプログラムの種類について教えてください。	37
G 進路対策について	
G-a 希望又は予定している卒業後の進路・就職先	38
G-b キャリア・就職支援対策(現在実施しているもの)で、今後充実してほしいことは何ですか。	39
G-c インターンシップに参加したことがありますか。参加したことがない方はその理由を選択してください。	40
G-d キャリア・就職支援で今後実施してほしいことは何ですか。	41
H 地域での活動について	
H-a これまでに地域での活動(地元あるいは大学周辺の町内会の行事やボランティアなど)に参加したことがありますか。ある方はその活動の情報をどこから入手しましたか。	42
H-b H-aで「参加したことはない」と回答した方へお尋ねします。参加したことがない、参加しない理由は何ですか。	43
H-c どんな地域活動なら協力したいと思いますか。	44
H-d これまで下記のような活動の経験はありますか。	45
H-e 横浜市立大学は地域貢献活動が盛んだと思いますか。	46
I 経済的支援制度について	
I-a 奨学金を受給していますか。受けていない場合、その理由は何ですか。	47
I-b 授業料の減免を受けていますか。受けていない場合、その理由は何ですか。	48

J 生活一般について	
J-a	課外活動等を行っていますか。行っている場合、以下から選択してください。…………… 49
J-b	アルバイト等を行っていますか。…………… 50
J-c	アルバイト等を行っている方にお尋ねします。アルバイト等の主たる目的は何ですか。…………… 51
J-d	授業期間中の生活時間を、項目毎に、1日あたりの平均時間をマークしてください。…………… 52
J-e	今学期、授業(講義、実習、ゼミ、研究)のために登校している日は平均して週何日ですか。…………… 53
J-f	あなたが大学生活の中で重視していることは何ですか。…………… 54
J-g	学内で、学生のマナーが悪く、許容できないと思われる項目は何ですか。…………… 55
K 保健管理センターについて	
K-a	本学に保健管理センターがあることを知っていますか。…………… 56
K-b	K-aで「知っている」と答えた方にお尋ねします。利用したことはありますか。…………… 57
K-c	それぞれのキャンパスに学生対象の相談窓口(キャンパス相談、学生相談、健康管理室の相談等)があることを知っていますか。…………… 58
K-d	K-cで「知っている」と答えた方にお尋ねします。学生対象の相談を何で知りましたか。…………… 59
K-e	K-cで「知っている」と答えた方にお尋ねします。利用したことはありますか。…………… 60
K-f	K-eで「利用したことがある(現在利用している)」と答えた方にお尋ねします。利用した満足度を教えてください。…………… 61
K-g	K-cで「知らない」あるいはK-eで「利用したことがない」と答えた方にお尋ねします。今後利用したいと思えますか。…………… 62
L あなた自身について	
L-a	自分で長所だと思う点は何ですか。…………… 63
L-b	自分の能力や性格で不足しているため補いたい、伸ばしたいと思う点は何ですか。…………… 64
L-c	大学生を送る上で、どのような不安や悩みがありますか。…………… 65
L-d	L-cで(1)～(9)を選んだ方にお尋ねします。悩みを解決するための相談相手を選んで下さい。…………… 66
L-e	あなたは現在までに「休学」を考えたことがありますか。考えたことがある場合、その理由は何ですか。…………… 67
L-f	あなたは現在までに「退学」を考えたことがありますか。考えたことがある場合、その理由は何ですか。…………… 68
M 横浜市立大学について	
M-a	横浜市立大学の好きな部分は何ですか。…………… 69
M-b	横浜市立大学の嫌いな部分は何ですか。…………… 70
M-c	横浜市立大学が好きですか。…………… 71
M-d	横浜市立大学での学校生活に満足していますか。…………… 72

平成25年度 学生生活アンケートの概要

1. 調査の目的

学生生活アンケートでは、本学学生の学習、研究、課外活動、生活等の実態を様々な角度から把握するとともに、学生サービスや学習・研究環境、キャンパスアメニティ等のハード面などへの要望や不満等を吸い上げることによって、学生の声を適切に大学運営に反映させ、業務改善、学生サービスの改善につなげることを目的としている。過去には平成17年度、平成21年度に実施した。

2. 調査の対象

平成25年11月1日現在の各学部・に在籍する学生と各研究科に在籍する大学院生を対象とした。ただし、休学者は対象から除いた。

3. 調査の方法

基礎ゼミ、ゼミ、研究室単位で設問用紙とアンケート用紙（無記名、マークシート式）を配布。マークシート用紙を回収し集計を行った。

4. 実施期間

平成25年10月28日（月）～11月18日（月）

5. 回答者の基本情報

在籍区分（A-a）

項目	回答数(人)	比率(%)	学生数(人)	回答率(%)
1 一般学生	2834	96.6%	4553	62.2%
2 留学生(交換留学生を除く)	71	2.4%	100	71.0%
3 交換留学生	2	0.1%	3	66.7%
4 研究生	9	0.3%	39	23.1%
5 科目等履修生	3	0.1%	20	15.0%
6 その他	7	0.2%		
無回答(無効を含む。)	7	0.2%		
合計	2933	100.0%	4715	62.2%

★前回実績 回答数：2443人 回答率：51.9%

在籍学部等（A-b）

項目	回答数(人)	比率(%)	学生数(人)	回答率(%)
1 国際総合科学部	2169	74.0%	3047	71.2%
1-1 国際教養学系	516	23.8%	750	68.8%
1-2 国際都市学系	239	11.0%	450	53.1%
1-3 経営科学系	943	43.5%	1233	76.5%
1-4 理学系	463	21.3%	614	75.4%
2 医学部医学科	250	8.5%	526	47.5%
3 医学部看護学科	155	5.3%	405	38.3%
4 商学部・国際文化学部	4	0.1%	0	-
5 都市社会文化研究科	26	0.9%	53	49.1%
6 国際マネジメント研究科	28	1.0%	38	73.7%
7 生命ナノシステム科学研究科	151	5.1%	191	79.1%
8 生命医科学研究科	44	1.5%	45	97.8%
9 医学研究科(医科学専攻)	89	3.0%	322	27.6%
10 医学研究科(看護学専攻)	10	0.3%	29	34.5%
無回答(無効を含む。)	7	0.2%		
合計	2933	100.0%	4808	61.0%

5 都市社会文化研究科・・・国際総合科学研究科(国際文化研究専攻)を含む

6 国際マネジメント研究科・・・国際総合科学研究科(経営科学専攻)を含む

7 生命ナノシステム科学研究科・・・国際総合科学研究科(生体超分子科学専攻)を含む

学年 (A-c)

項目		回答数(人)	比率(%)	学生数(人)	回答率(%)
1	学部1年	684(1)	23.3%	939	72.8%
2	学部2年	643(12)	21.9%	995	64.6%
3	学部3年	581(12)	19.8%	840	69.2%
4	学部4年	546(13)	18.6%	1043	52.3%
5	医学部5年	41	1.4%	84	48.8%
6	医学部6年	38	1.3%	77	49.4%
7	博士前期(修士)課程1年	100	3.4%	145	69.0%
8	博士前期(修士)課程2年	114	3.9%	173	65.9%
9	博士後期(博士)課程1年	39	1.3%	83	47.0%
10	博士後期(博士)課程2年	24	0.8%	84	28.6%
11	博士後期(博士)課程3年	39	1.3%	106	36.8%
12	医学研究科博士課程4年	18(1)	0.6%	87	20.7%
13	該当しない	9	0.3%	0	-
無回答(無効を含む。)		57	1.9%		
合計		2933	100.0%	4656	63.0%

()内の数字は回答者のうち留年者の数

主な通学キャンパス (A-d)

項目	1	2	3	4	無回答 (無効を含む)	合計
	金沢八景	福浦	鶴見	舞岡		
回答数(人)	2369	428	87	34	15	2933
比率(%)	80.8%	14.6%	3.0%	1.2%	0.5%	100.0%
H21比率(%)	81.9%	11.4%	4.5%	1.5%	0.7%	100.0%
H17比率(%)	76.9%	15.9%	4.2%	2.1%	0.9%	100.0%

性別 (A-e)

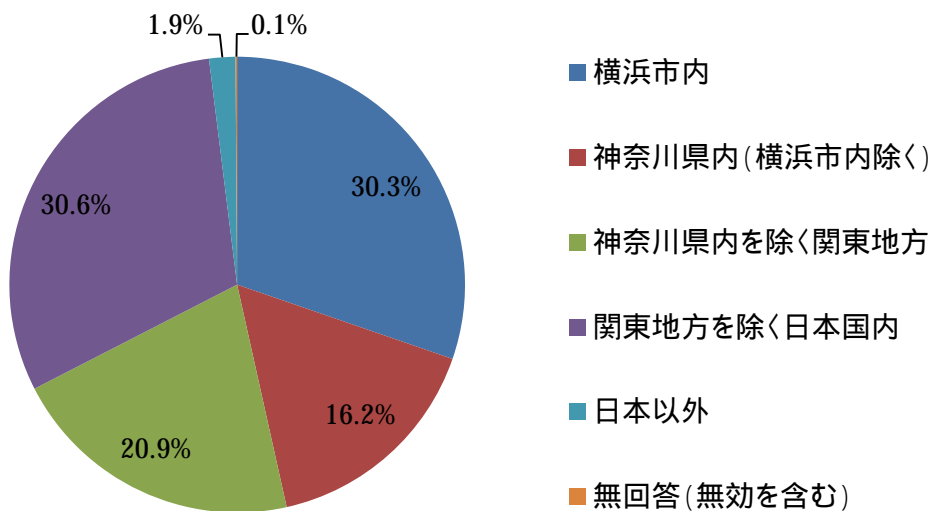
項目	1	2	無回答 (無効を含む)	合計
	男性	女性		
回答数(人)	1315	1586	32	2933
比率(%)	44.8%	54.1%	1.1%	100.0%
H21比率(%)	48.7%	50.1%	1.2%	100.0%
H17比率(%)	50.8%	48.1%	1.1%	100.0%

< A 基本データ >

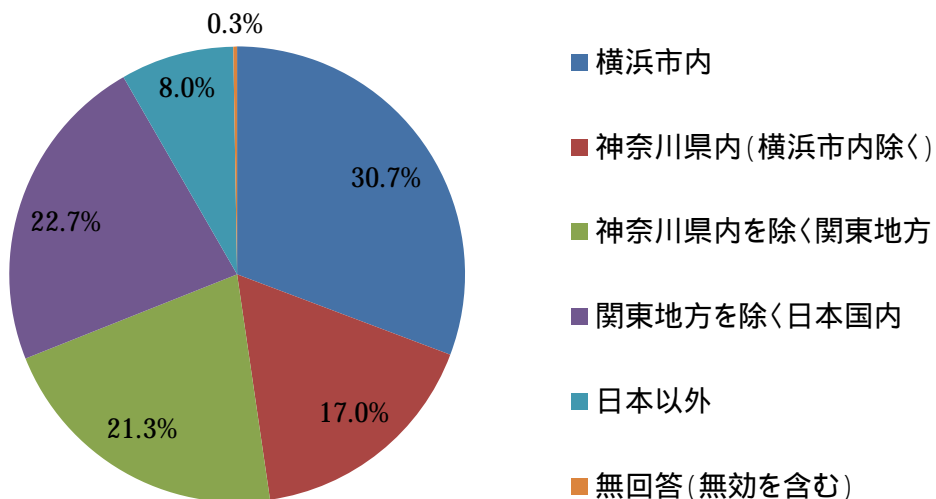
A-f 出身地（入学前の実家の所在地）

前回調査では学部学生のうち、横浜市内出身学生の割合が最も高かったが、今回は関東地方以外からの学生が横浜市内出身の学生をわずかに上回った。学部生全体の約7割は関東地方出身者で占める。一方で大学院生は横浜市内出身者が最も多い。

学部学生



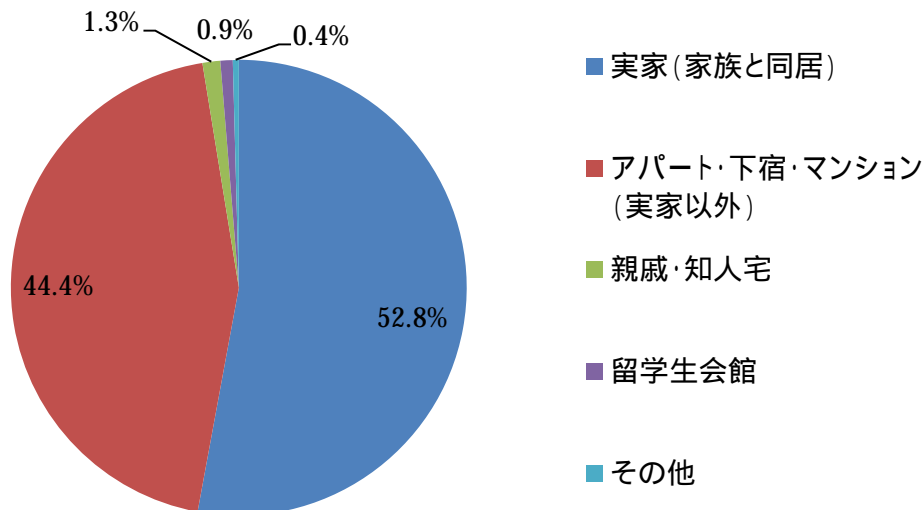
大学院生



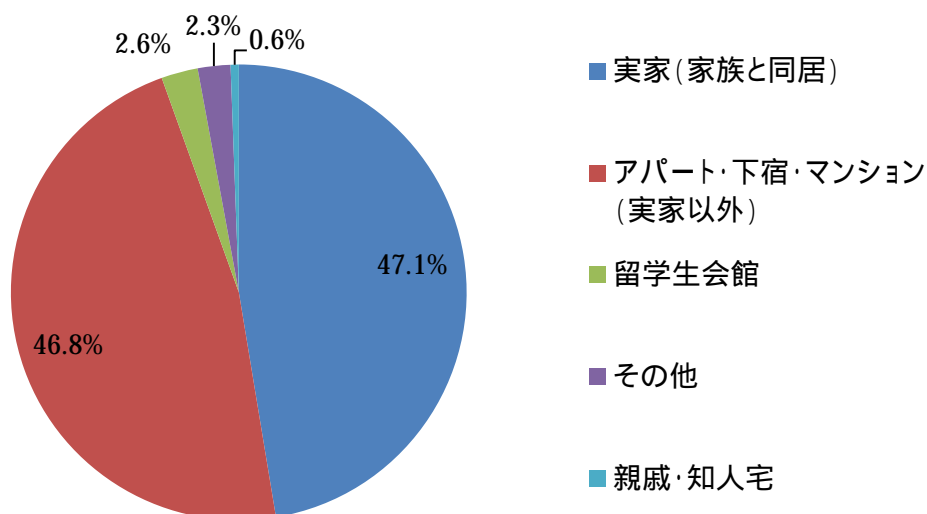
A-g 現在の住居の種類

学部学生、大学院生とも実家から通学している学生の割合がわずかに上回る。ちなみに平成17年度の調査から実家住まい(家族と同居)の学生は増加傾向にある。

学部学生



大学院生

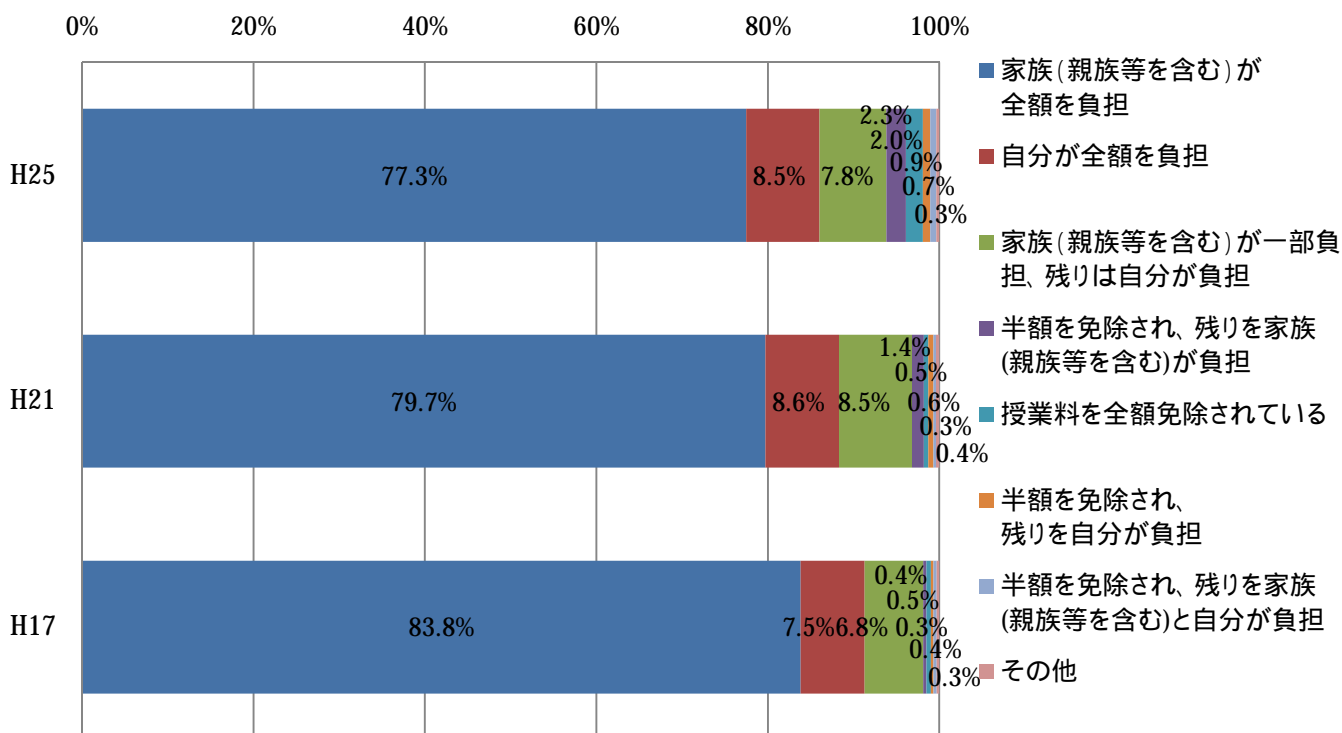


A-h 授業料負担者

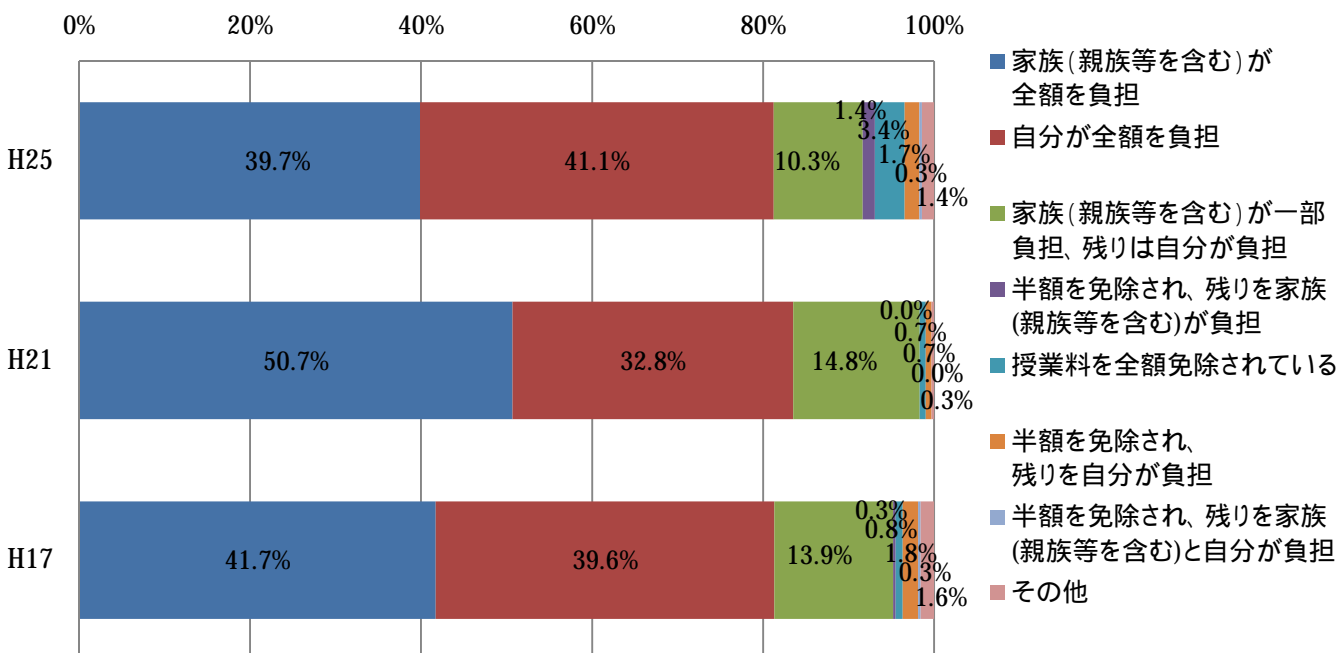
学部学生の約8割が授業料を家族に負担してもらっている。

一方で大学院生は学生自身が授業料を負担している割合が多い。

学部学生



大学院生



A-i あなたの生活を経済的に支えている主たる家計支持者

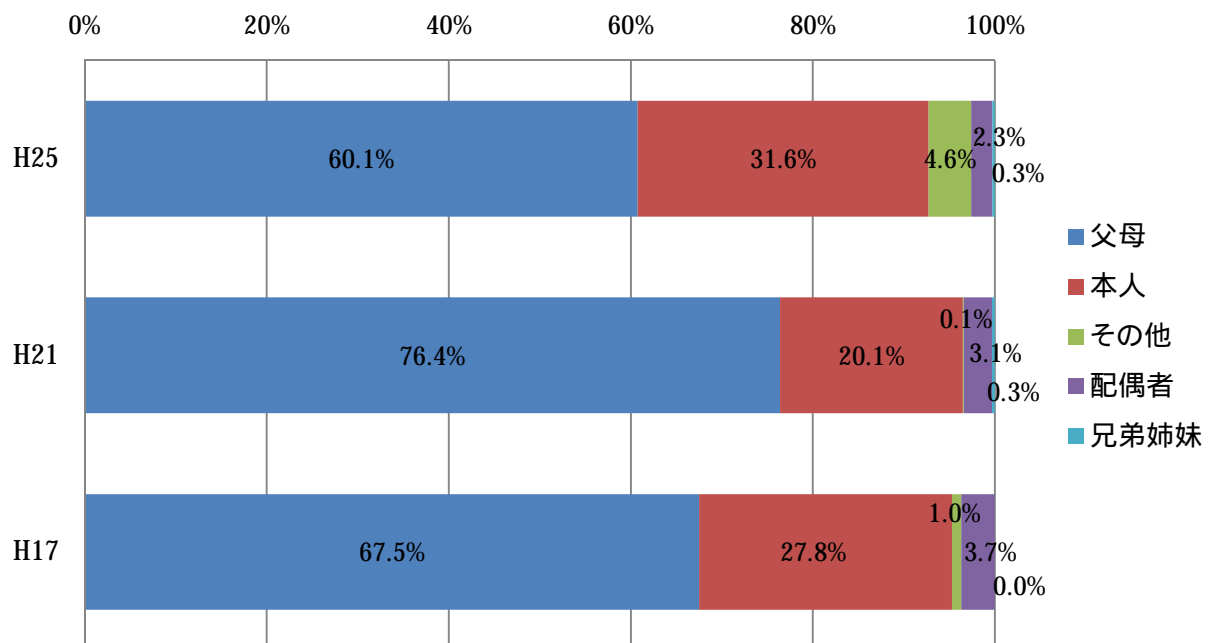
学部学生の大多数は、父母が家計支持者となっている。

大学院生は、学部学生と比して自身が家計支持者となっている割合が高い。

学部学生



大学院生

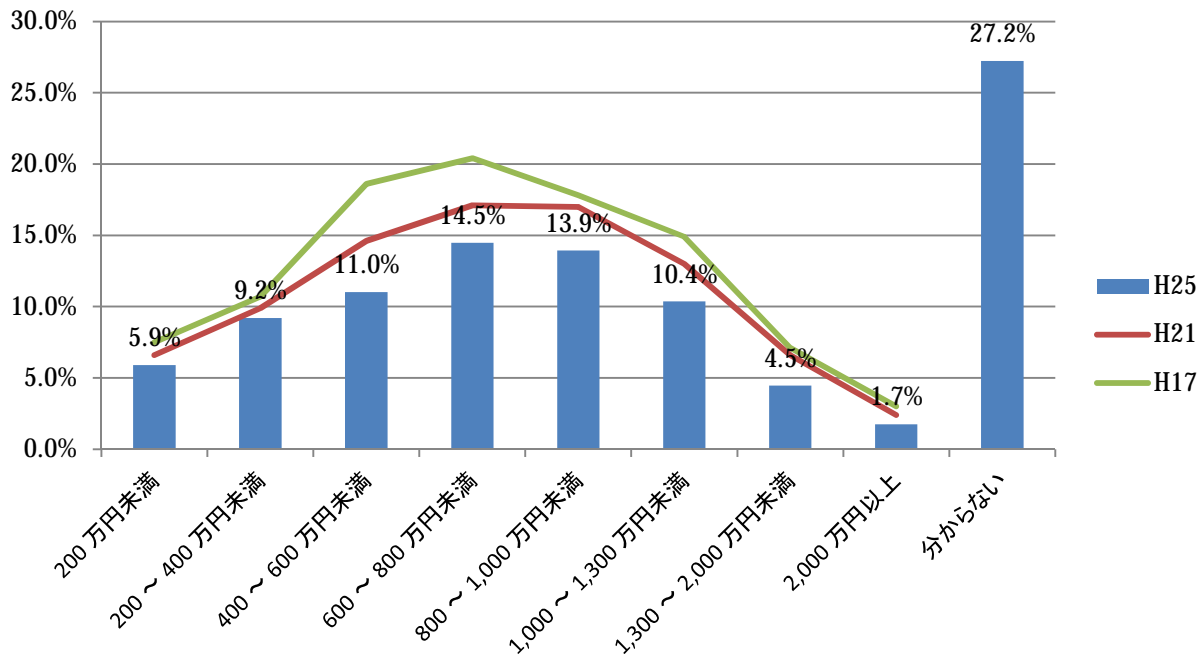


A-j あなたの生活を経済的に支えている主たる家計支持者の年間の 大よその総収入（家計支持者が複数の場合はその合計）

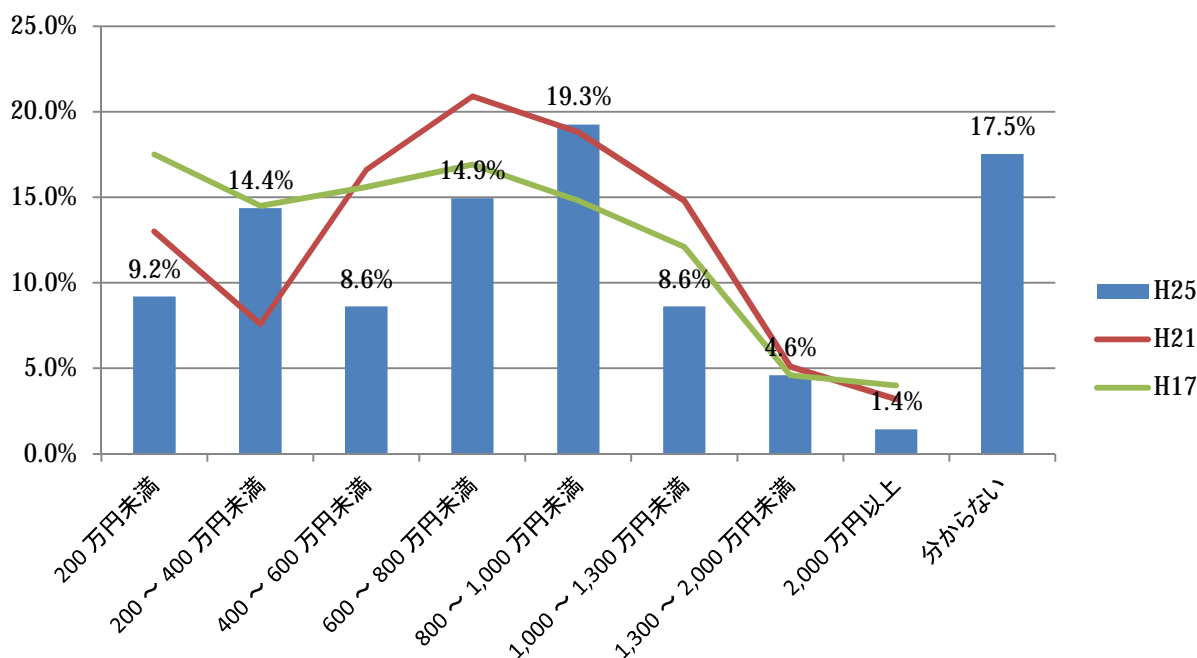
学部学生では過去の調査と傾向が同様に、400～1000万円未満の層が最も多い。

大学院生は、家計支持者が学生本人である割合が高いことから、所得の階層にバラつきが生まれたと思われる。

学部学生



大学院生



A-k 授業料を除く生活費の支出金額（月平均）を項目毎にマークしてください。
金額は概算で結構です。

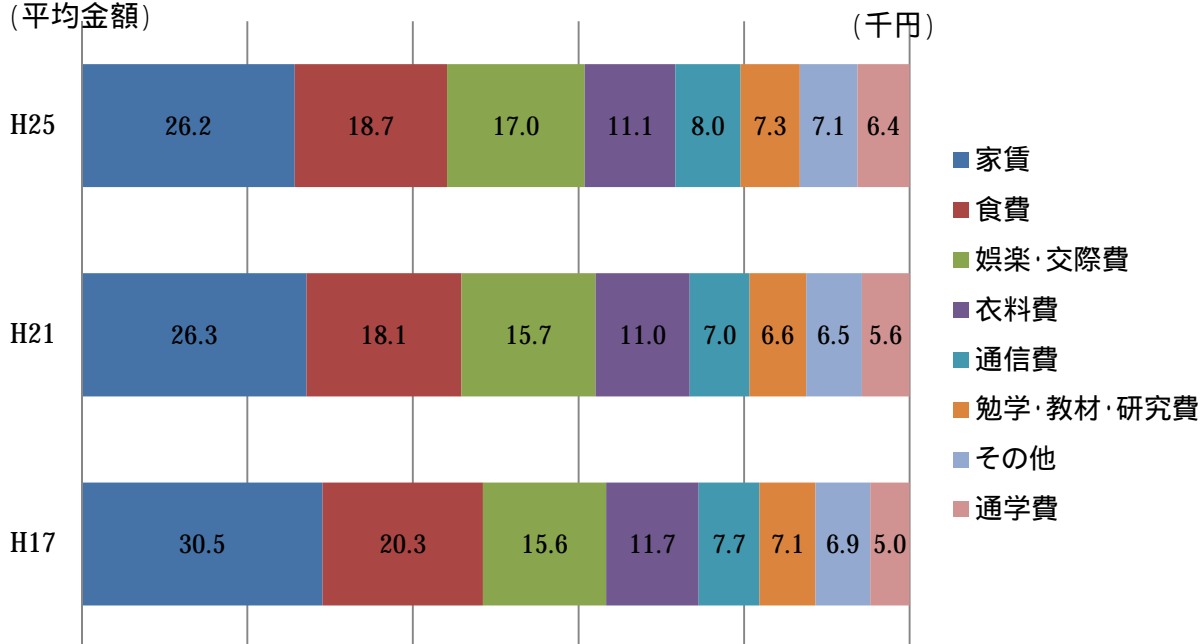
学部学生では「家賃」及び「食費」が減少し、「娯楽・交際費」が増加した。

大学院生では「娯楽・交際費」と「勉学・教材・研究費」が増加した。

以下のグラフは平均金額を表しています。

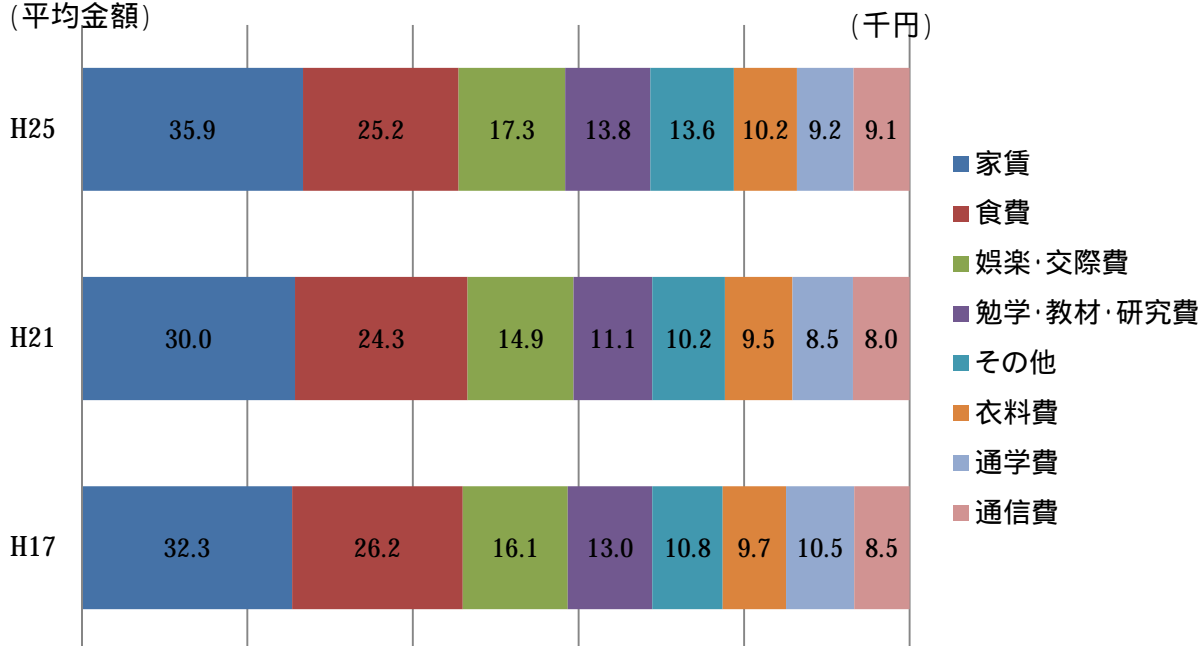
学部学生

(平均金額)



大学院生

(平均金額)



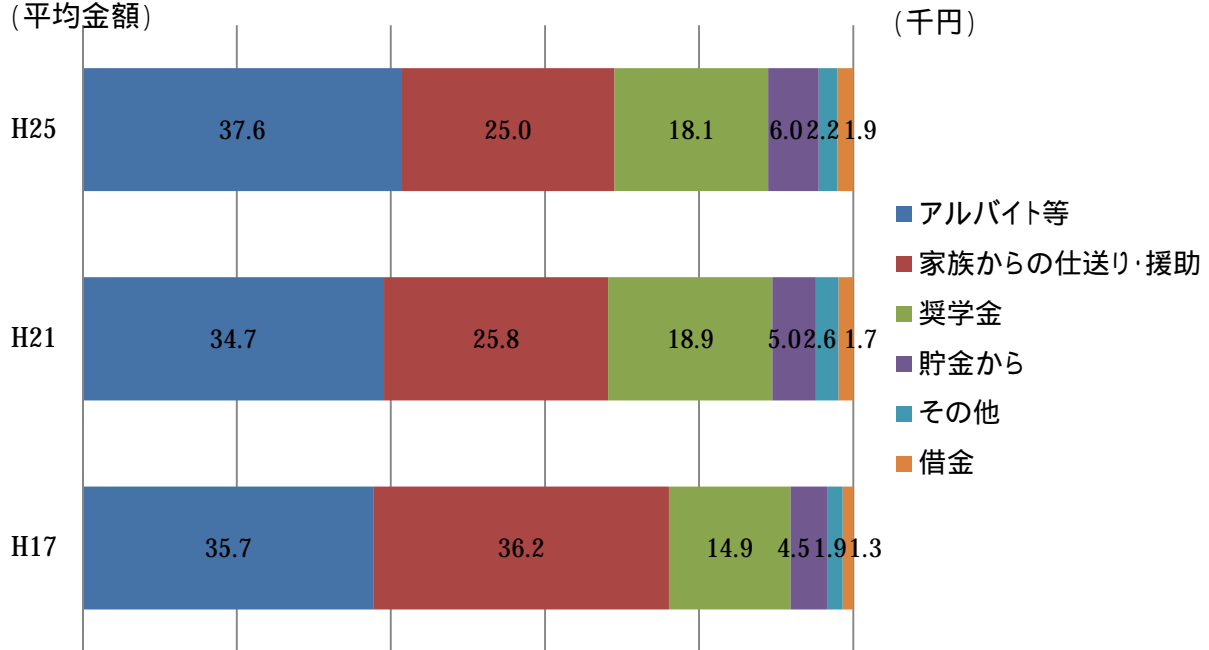
A - 1 生活費の収入金額（月平均）を項目毎にマークしてください。
金額は概算で結構です。また、授業料を支払うための金額は除きます。

学部学生では、「家族からの仕送り・援助」が減少し、アルバイトによる収入と奨学金が増加している。
大学院生では、「家族からの仕送り・援助」が減少し、アルバイトによる収入が増加した。

以下のグラフは平均金額を表しています。

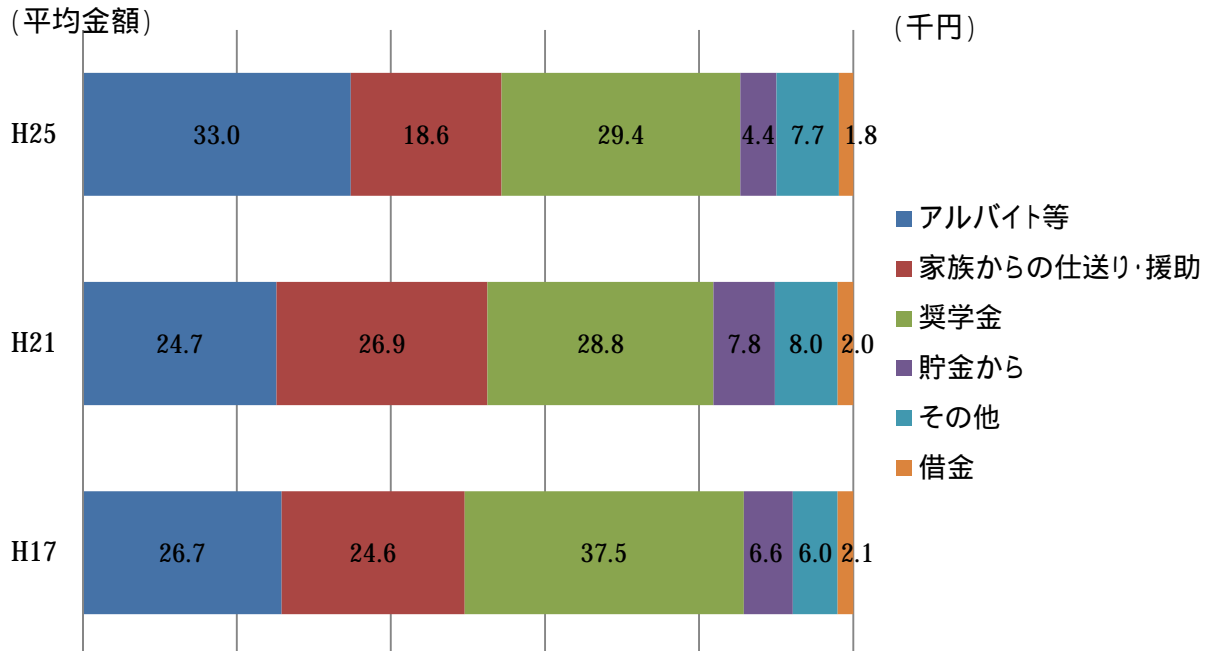
学部学生

(平均金額)



大学院生

(平均金額)

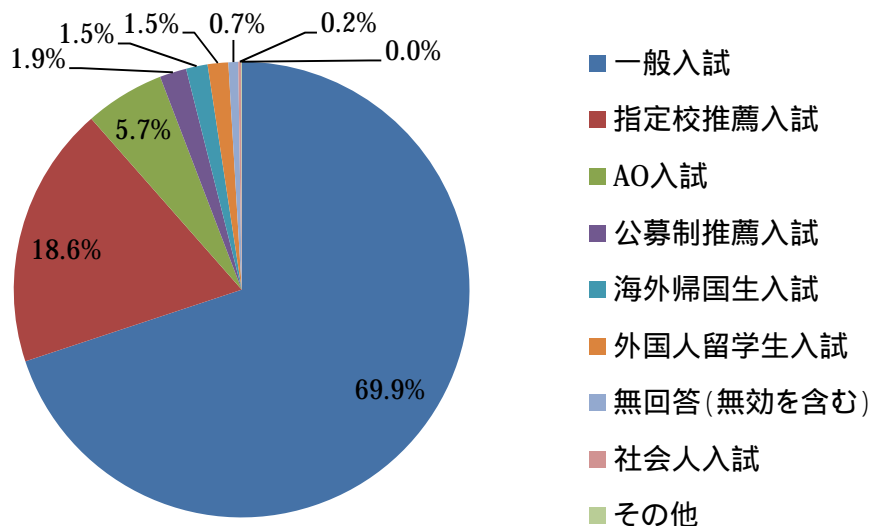


< B 本学受験情報・教育内容について >

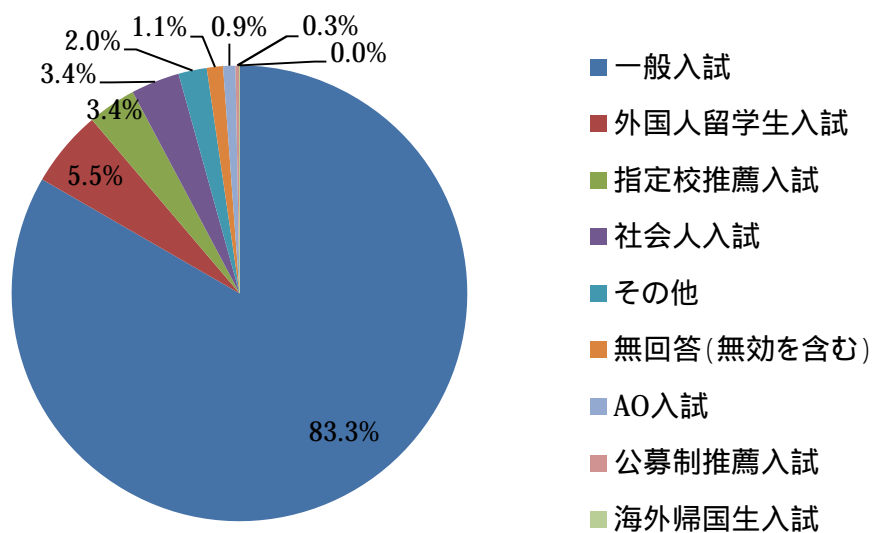
B-a 横浜市立大学を受験の際の入試区分を選択してください。

学部学生の回答者のうち、一般入試で入学した学生の比率は前回よりも若干低下、推薦入試の割合が高くなっている。

学部学生



大学院生

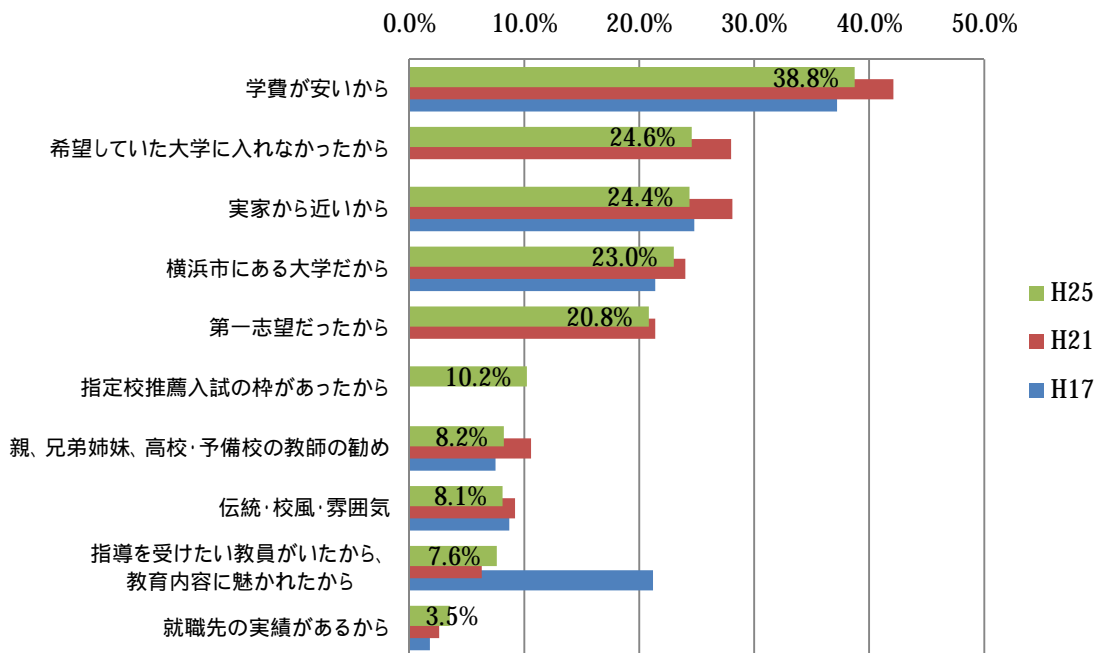


B-b 横浜市立大学を選んだ理由は何ですか。（複数回答可）

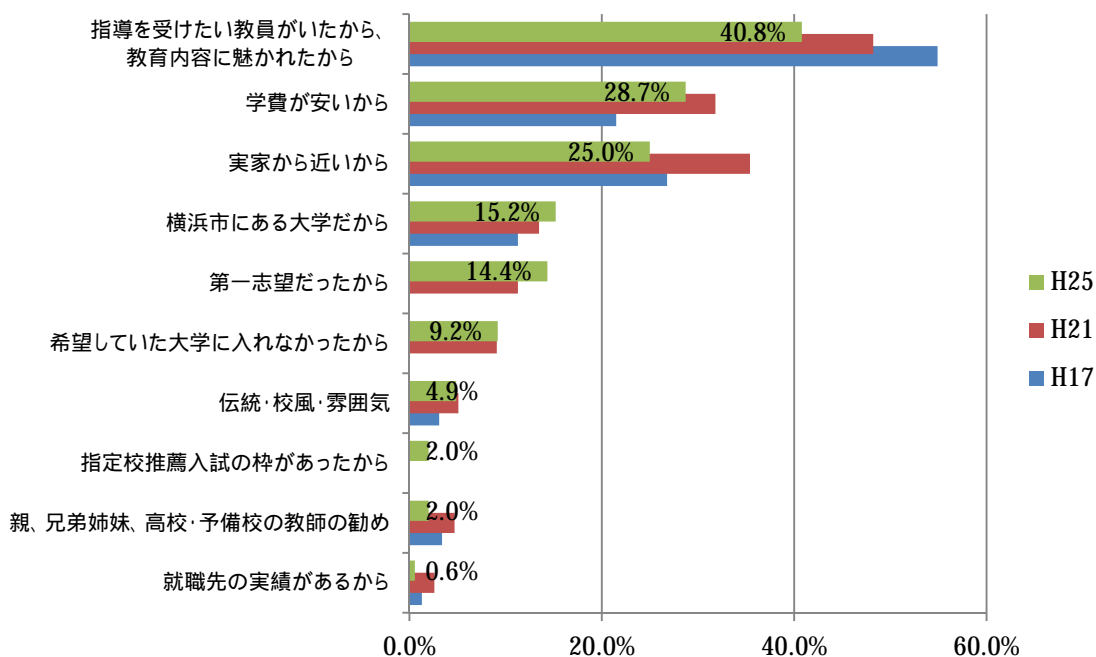
学部学生では過去3回の調査とも理由の1位は「安い学費」。

一方、大学院生では過去3回とも「教員・教育内容」が入学理由の1位に。

学部学生



大学院生

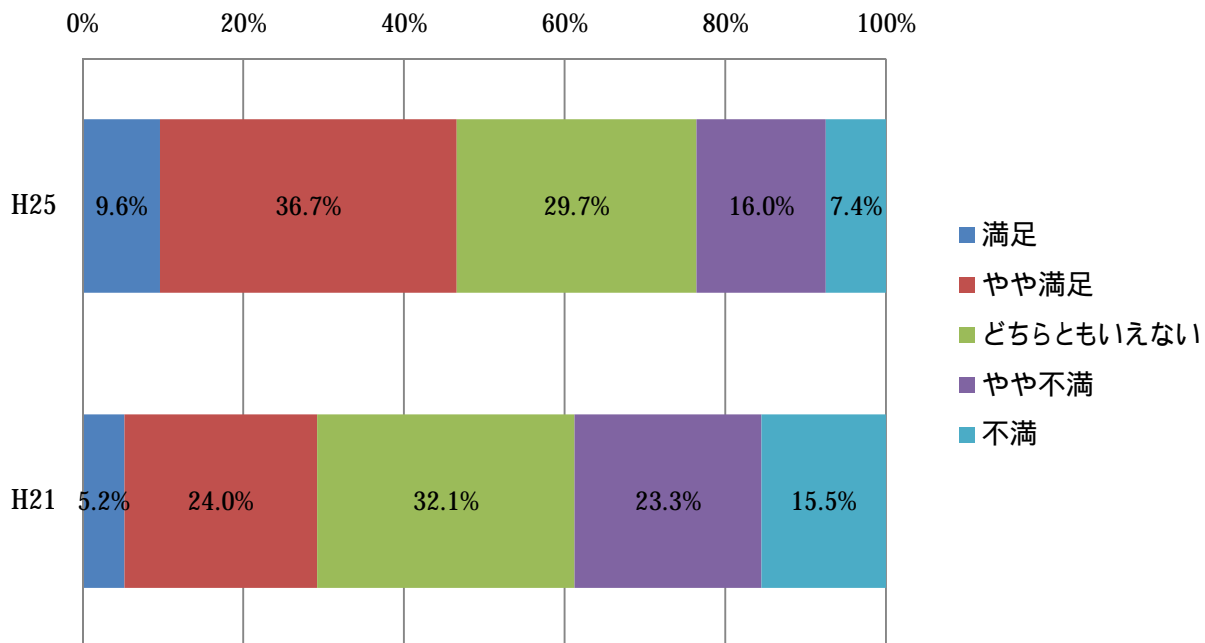


B-c 横浜市立大学のカリキュラム（教育内容）には満足していますか。

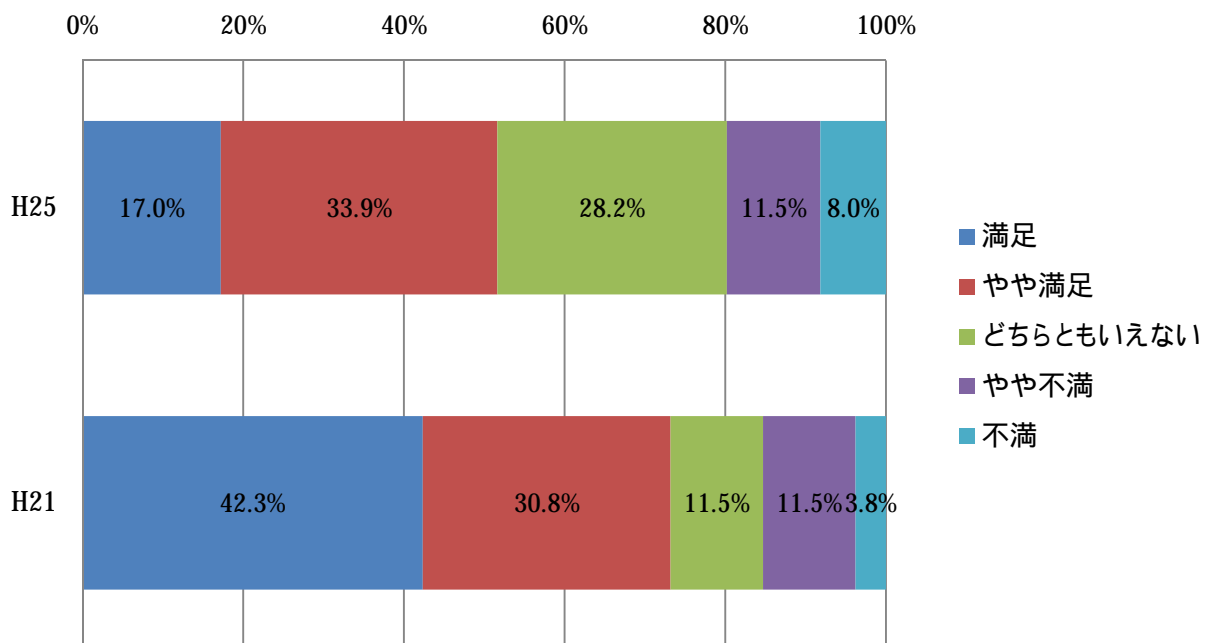
学部学生については、「満足」、「やや満足」の層が前回調査時に比べて増加している。

大学院では、「満足」と答えた学生が減少し、「どちらともいえない」と答えた学生が増加した。

学部学生



大学院生

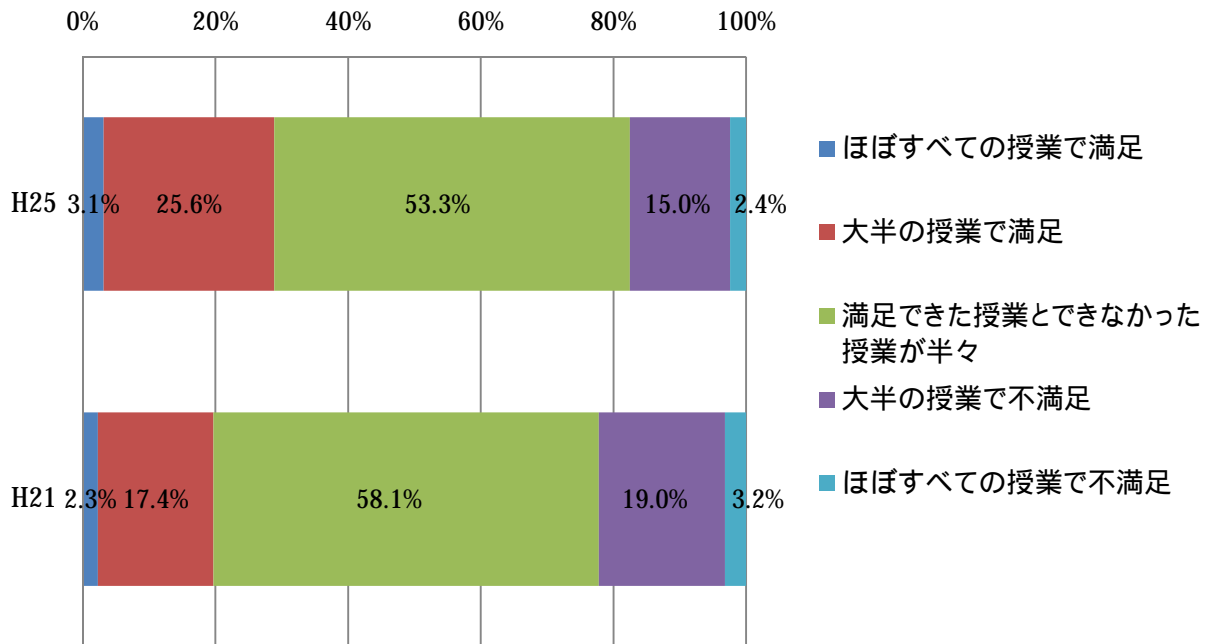


B-d これまでに履修してきた授業の中で満足できた割合はどのくらいですか。

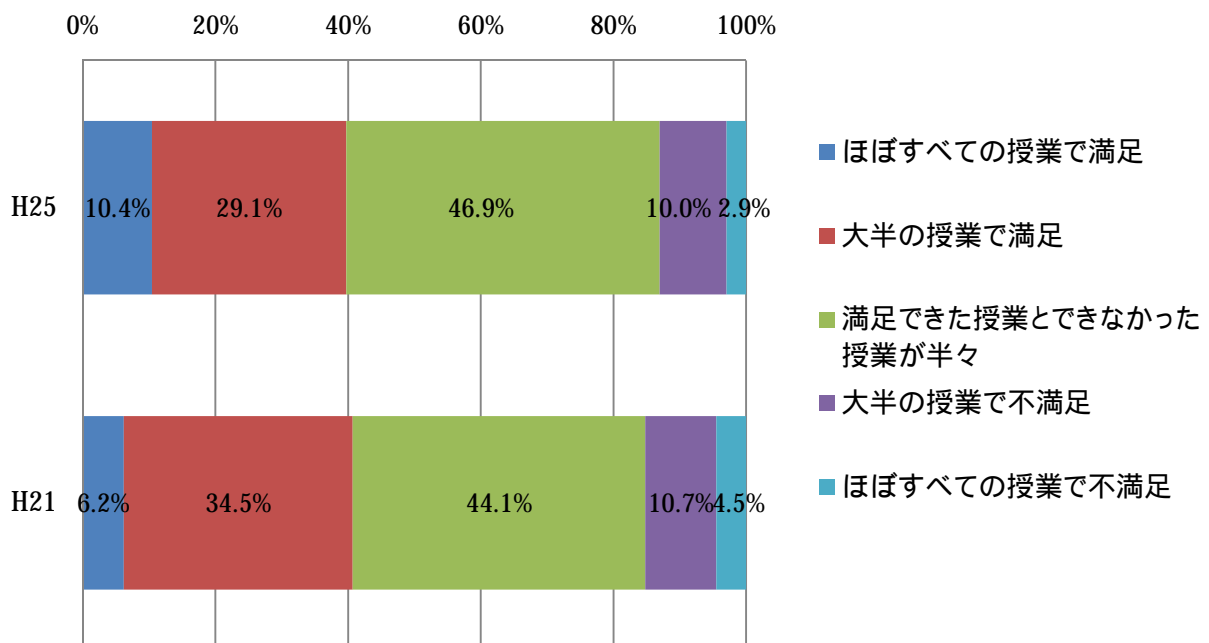
学部学生の満足度は、前回調査より上昇している。

大学院生は、「ほぼすべての授業で満足」の割合が上昇している。

学部学生



大学院生

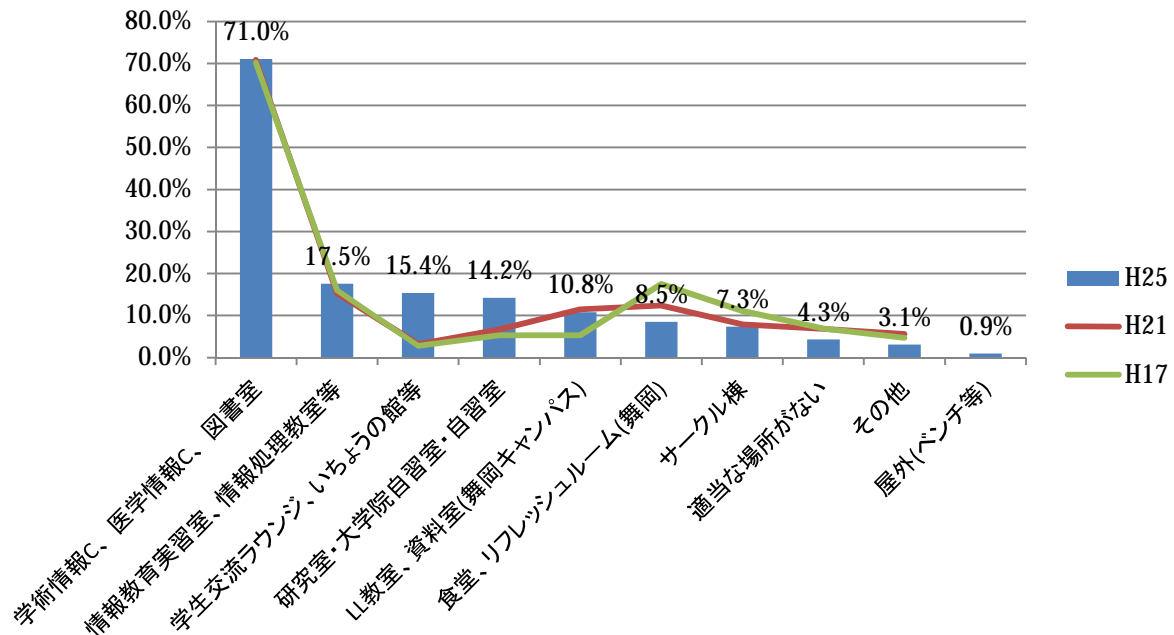


< C 学習・研究環境、学内施設について >

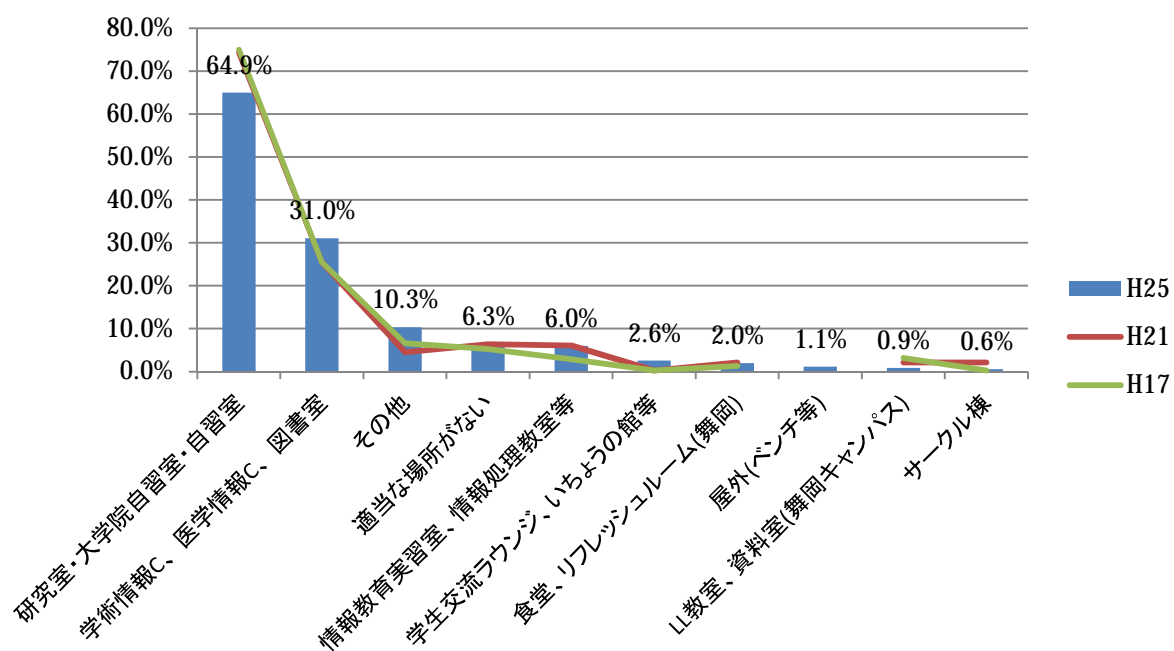
C-a 授業時間外に学内で自習する場所はどこですか。（複数回答可）

学部学生は、学生交流ラウンジ等のオープンスペース及び自習室の利用が前回より大きく上昇。
大学院生は、研究室・自習室が微減し、学術情報C・図書室が増した。

学部学生



大学院生

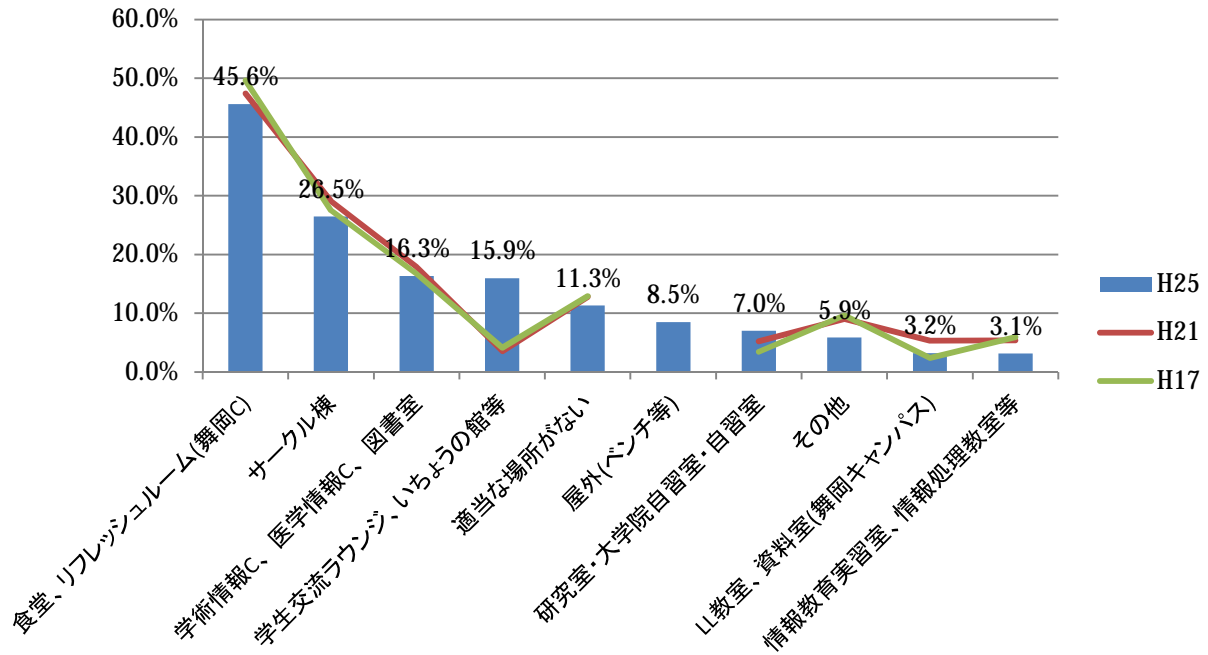


C-b 授業時間外に学内でくつろぐ場所はどこですか。（複数回答可）

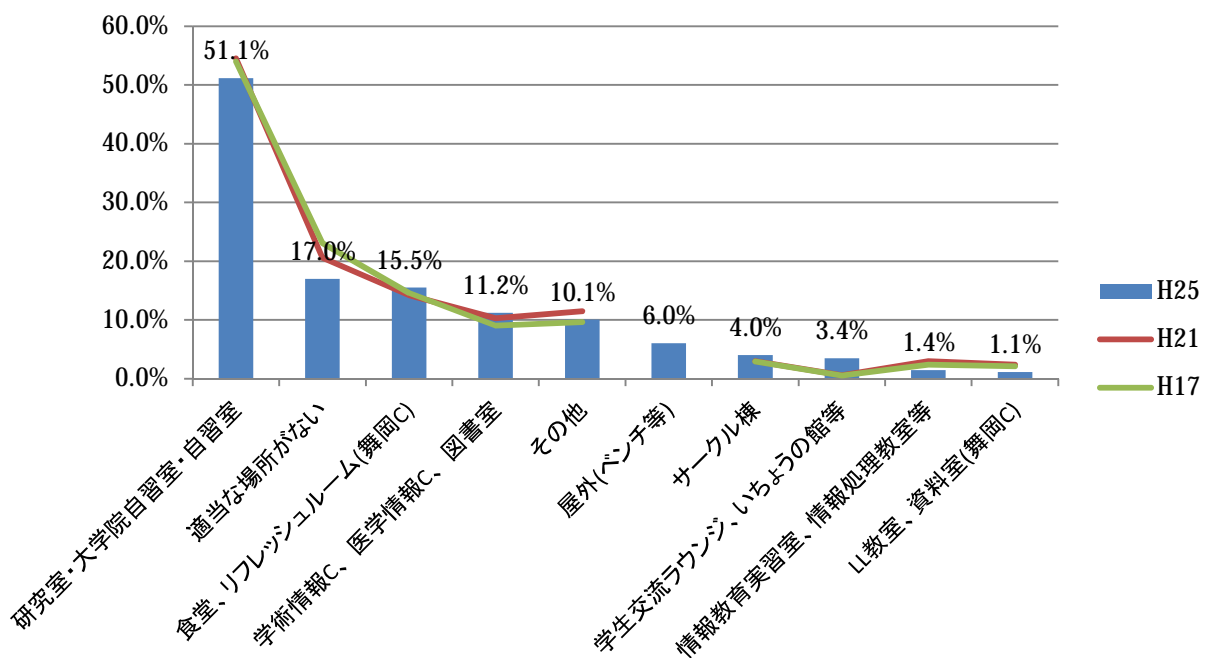
学部学生のくつろぐ場所としてもラウンジやオープンスペースの活用度が増している。

大学院生は、くつろぐ場所としても研究室を利用している割合が高い。

学部学生



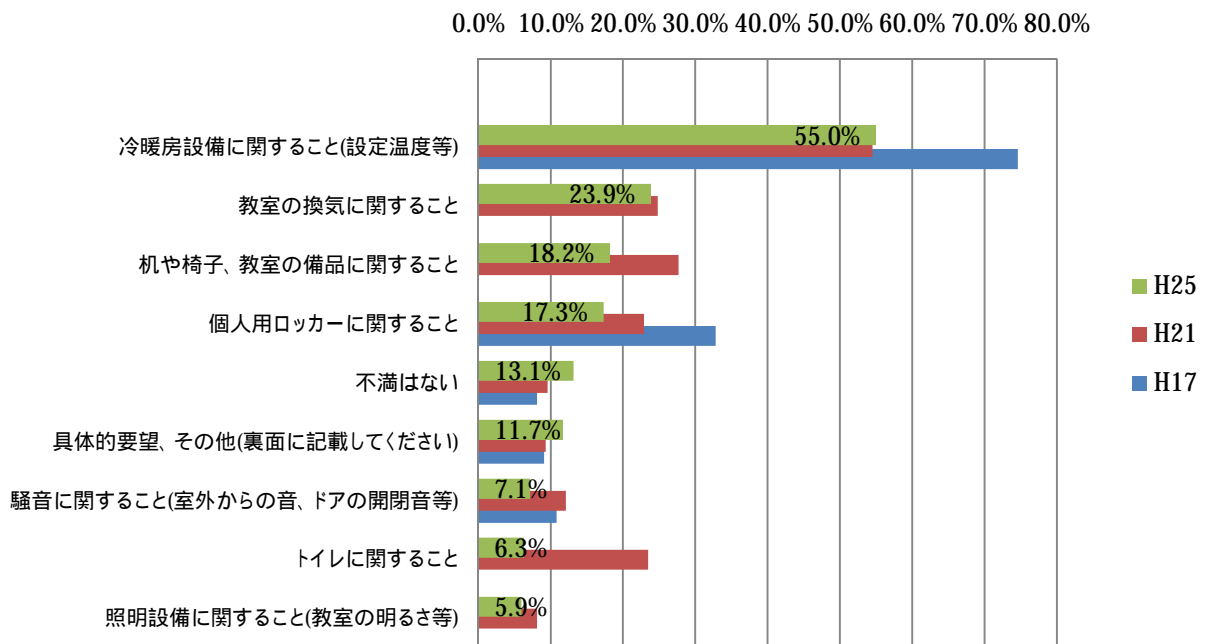
大学院生



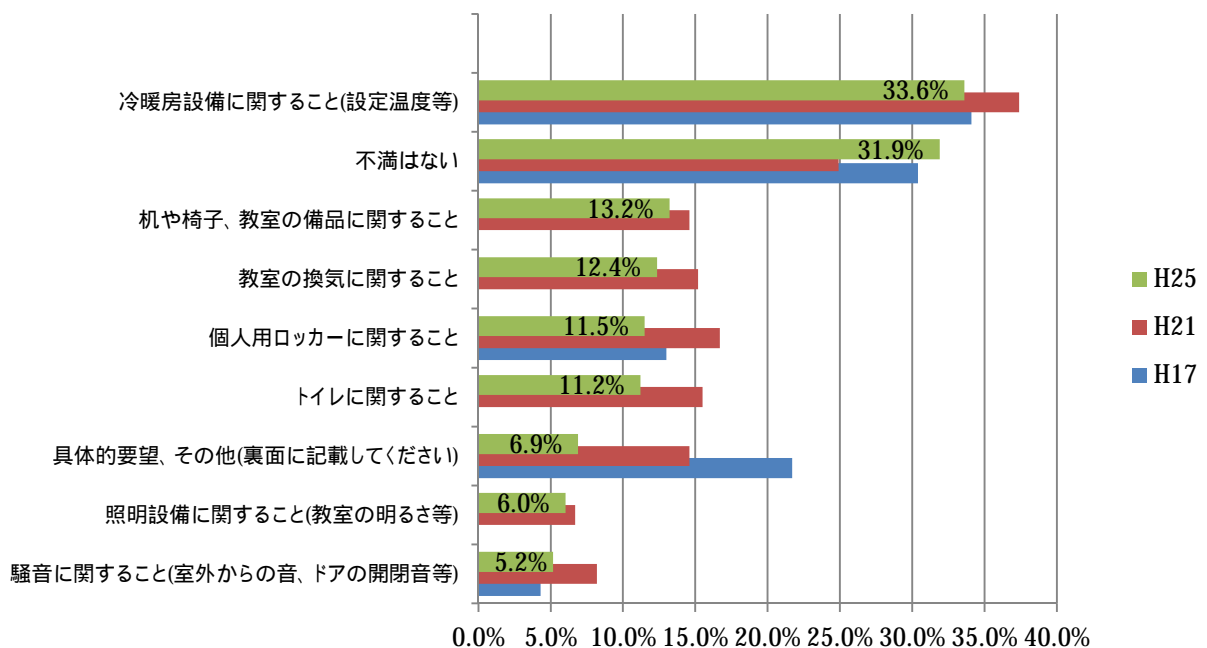
C- c 教室・講義棟の施設・設備の改善してほしい点はありますか。
 (複数回答可)

学部学生では依然として冷暖房設備への改善要望が高い。トイレや教室備品など、改修を実施した施設への不満は前回より減少。大学院生では「不満はない」の割合が増加。すべての項目で不満は減少。

学部学生



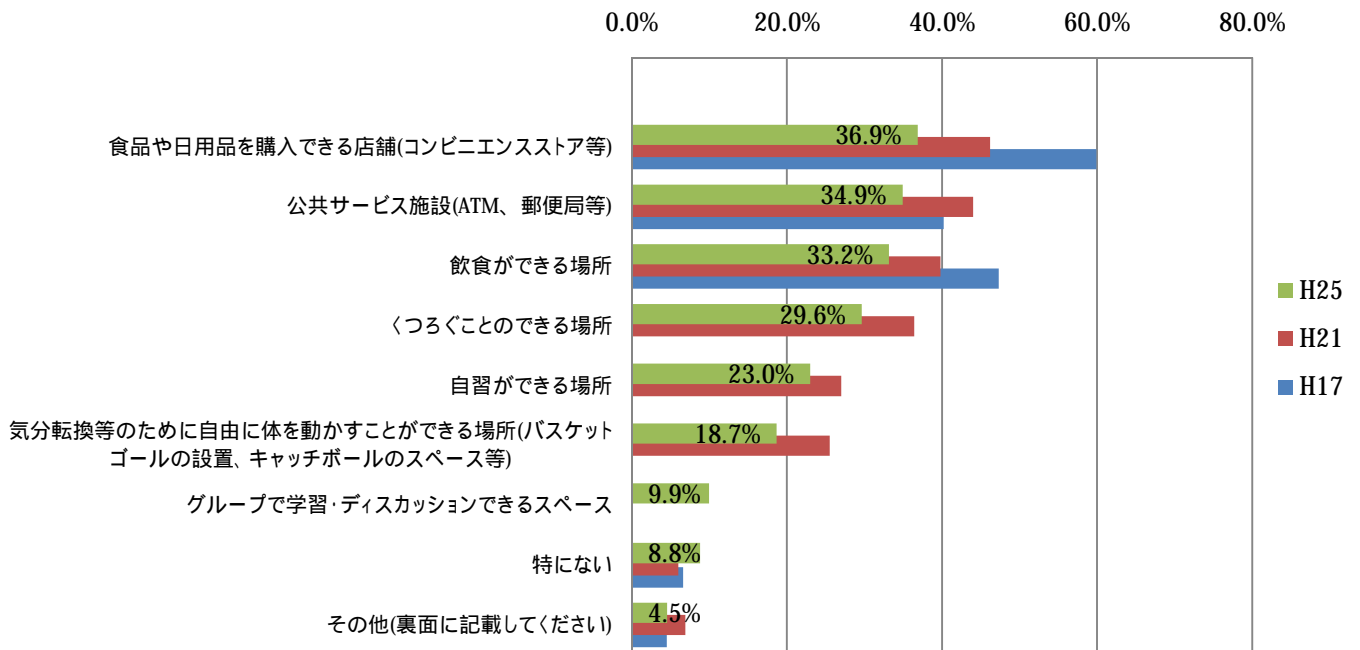
大学院生



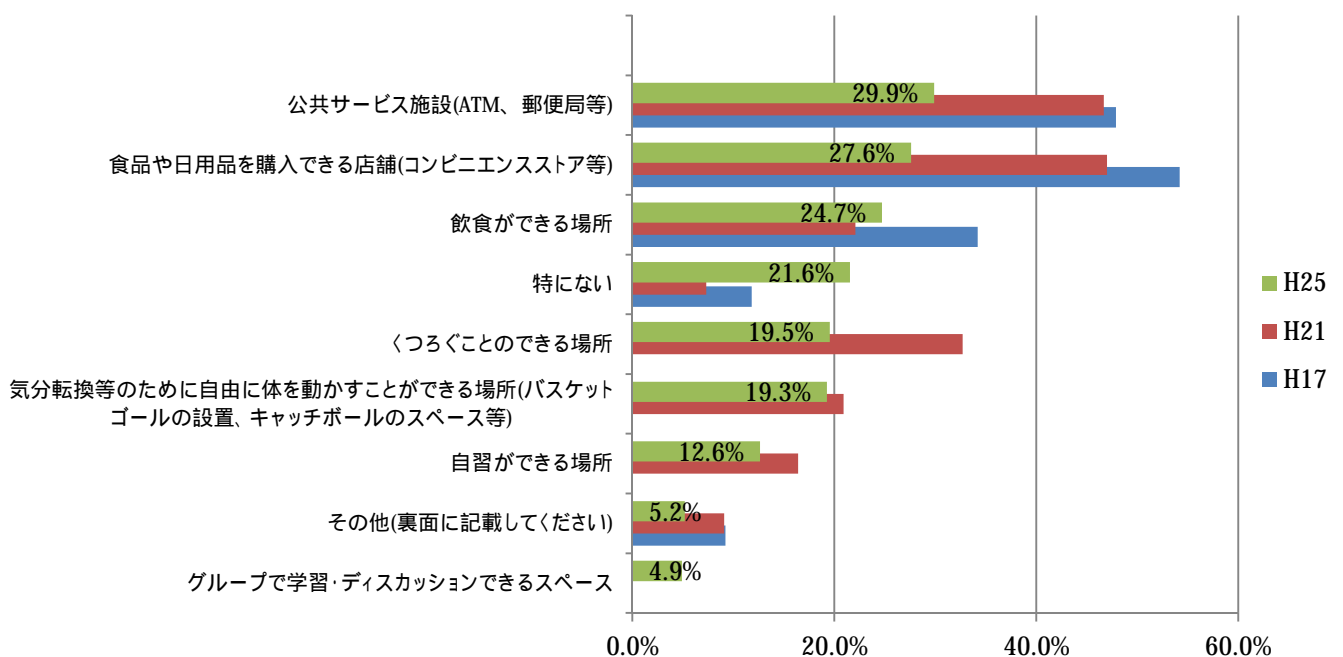
C-d 学内の施設・設備で、新たに設置してもらいたいものはありますか。
 (複数回答可)

ほぼ前回と同様の結果だが、新たに項目を追加した「グループ学習・ディスカッションできるスペース」について学部学生ではおよそ1割の学生が「設置して欲しい」と回答した。

学部学生



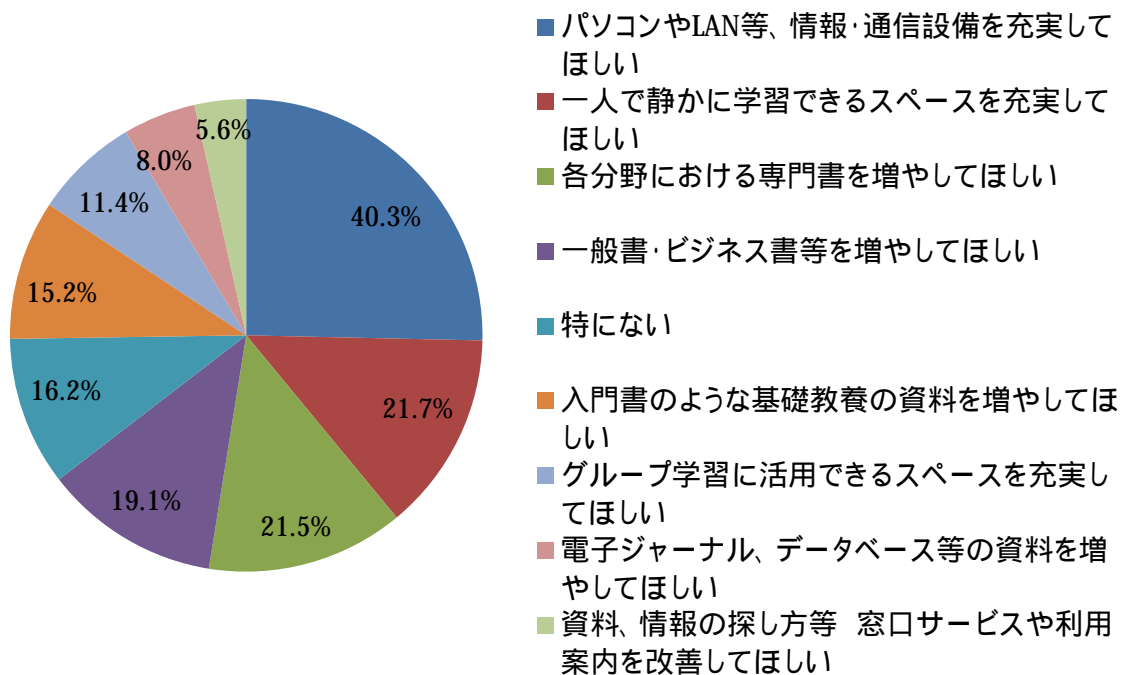
大学院生



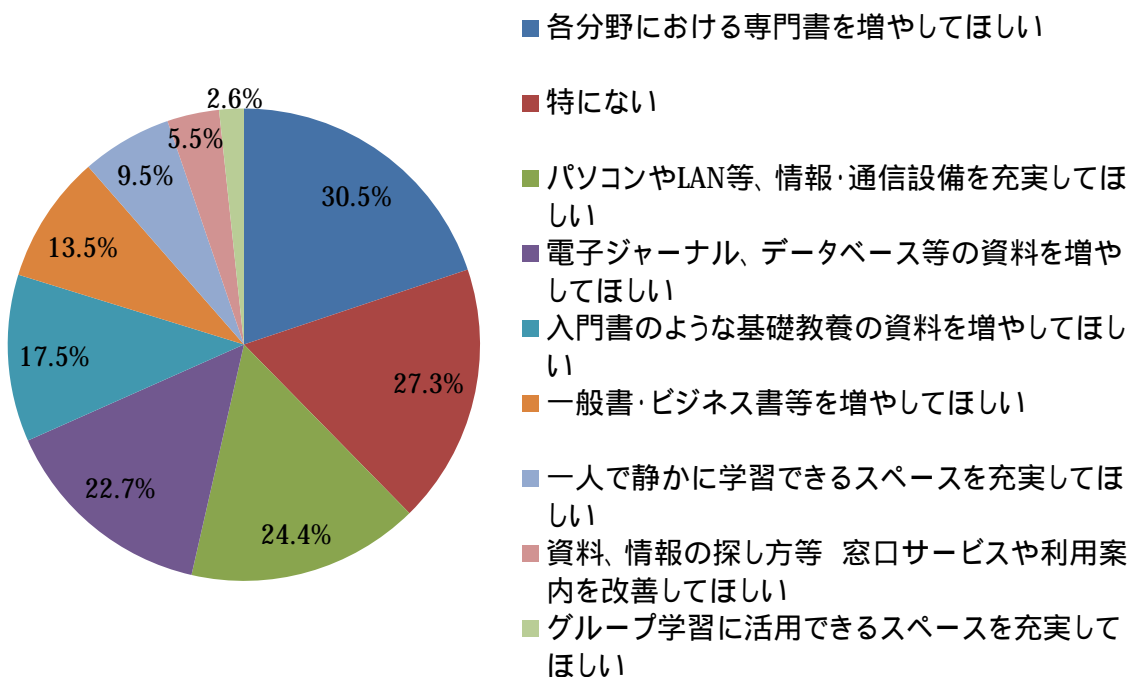
C-e 学術情報センター、医学情報センター、その他図書室に求める要望や改善点がありますか。（複数回答可）

学部学生が図書館等に求めることとして、PC環境の改善や学習スペースの充実を求める声が多いのに対し、大学院生では専門書や電子ジャーナルの充実を求める声が多かった。

学部学生



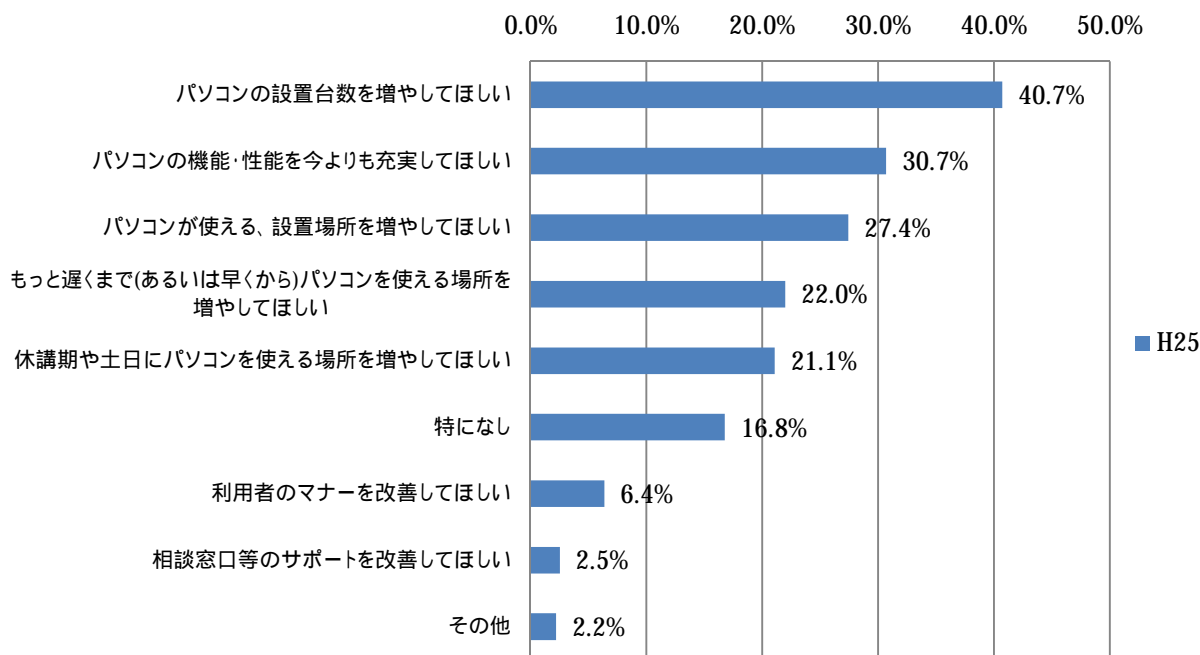
大学院生



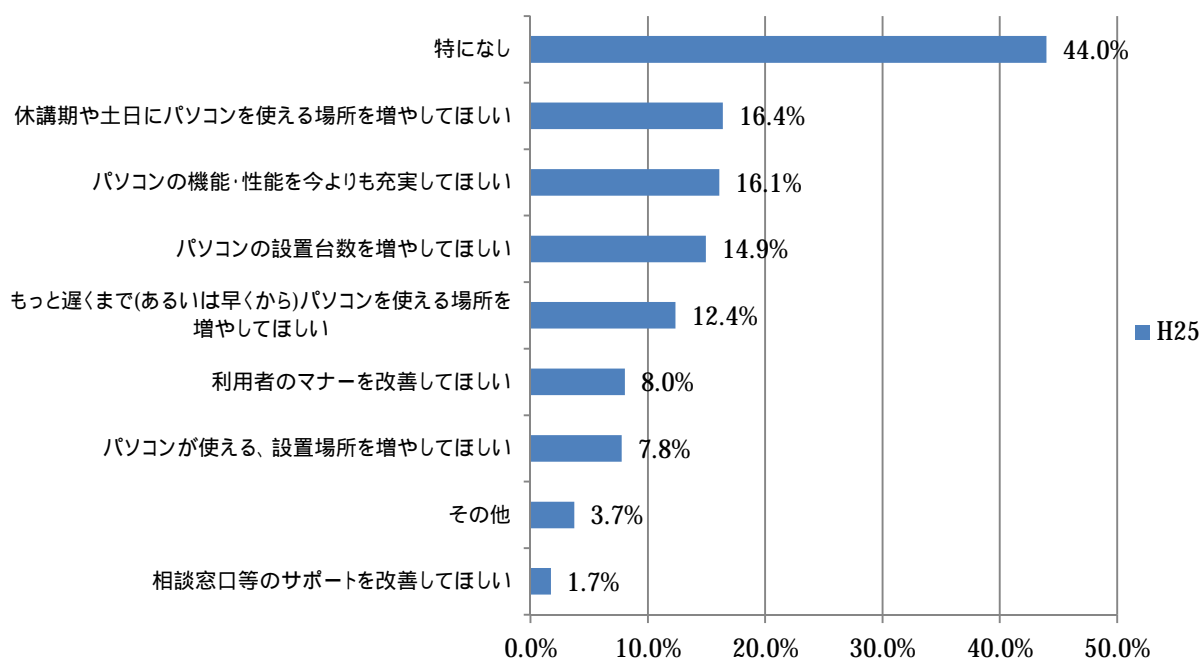
C-f 情報教育実習室、情報処理教室、パソコンの使える部屋の施設やパソコン等の設備に求める要望や改善点がありますか。（複数回答可）

学部学生では「設置台数を増やしてほしい」という要望が最も多かった。大学院生では「特になし」が多かった。

学部学生



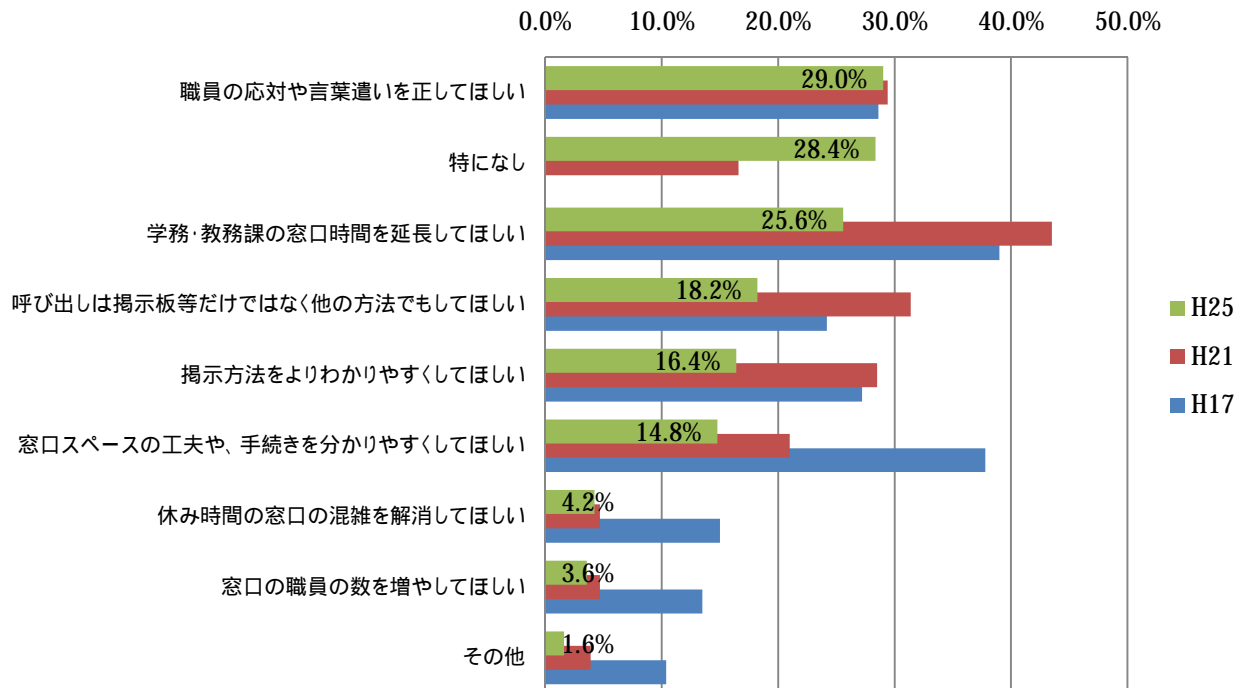
大学院生



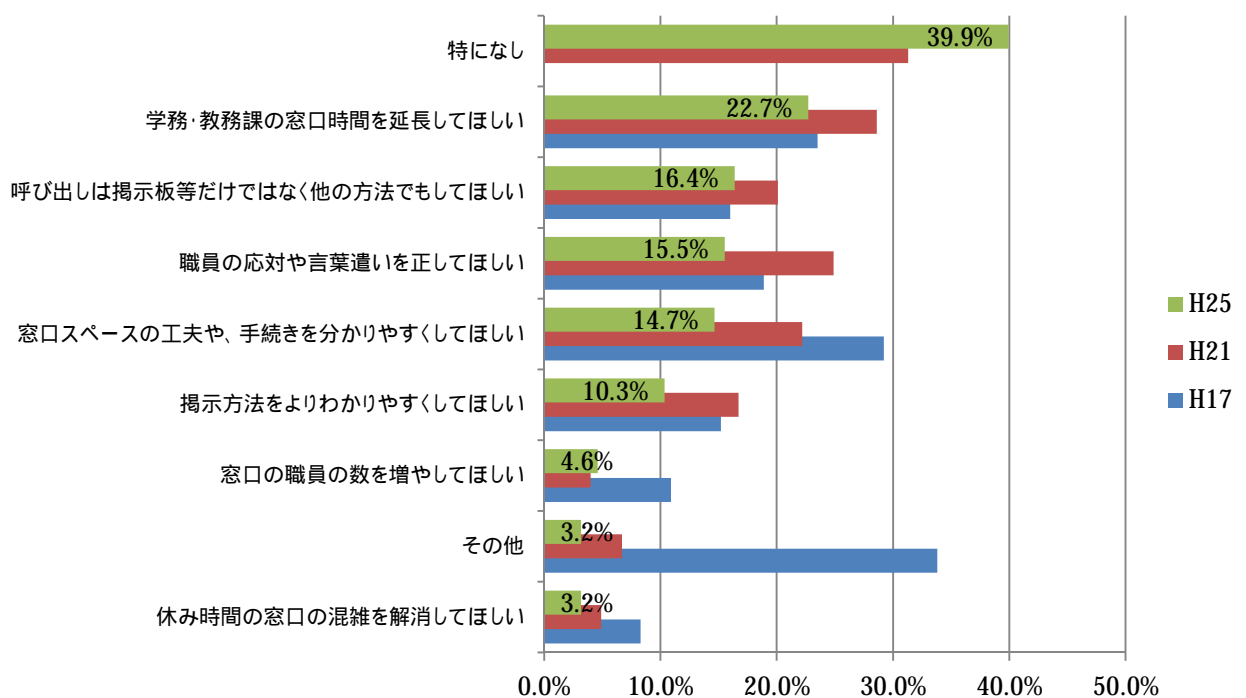
C-g 大学窓口のサービスについての要望はありますか。（複数回答可）

学部学生では「職員の対応」に対する改善の要望が最も多かった。また、前回調査結果を受けて窓口時間を延長したため、窓口開設時間に関する要望は学部学生・大学院生ともに減少している。

学部学生



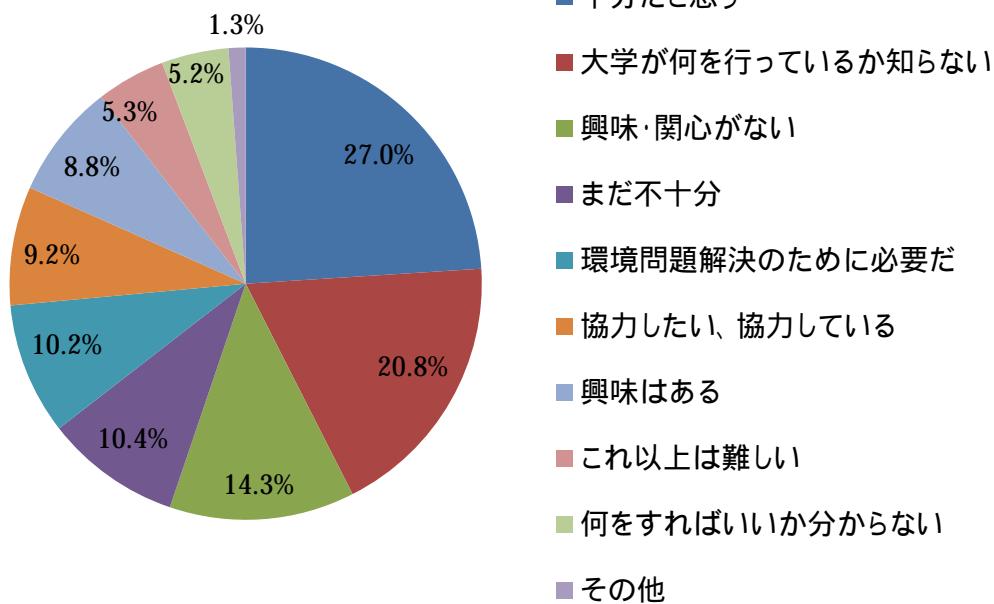
大学院生



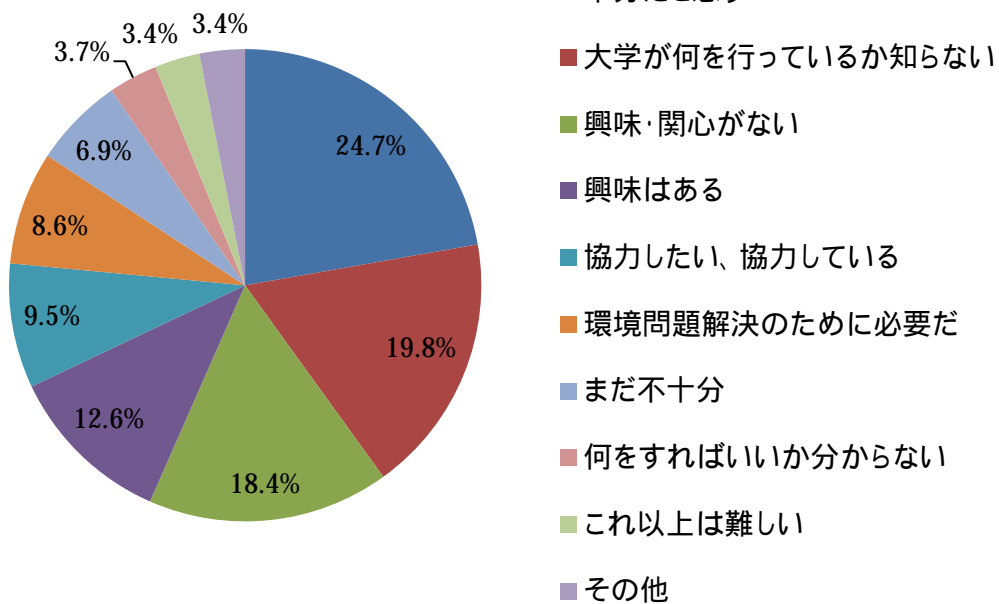
C-h 大学の環境活動(省エネ・エコ活動等)についてどう思いますか。
(複数回答可)

学部学生・大学院生ともに、「十分だと思う」と回答する学生が最も多かった一方で、「何をを行っているか知らない」、「興味・関心がない」と回答する学生の割合も高かった。

学部学生



大学院生

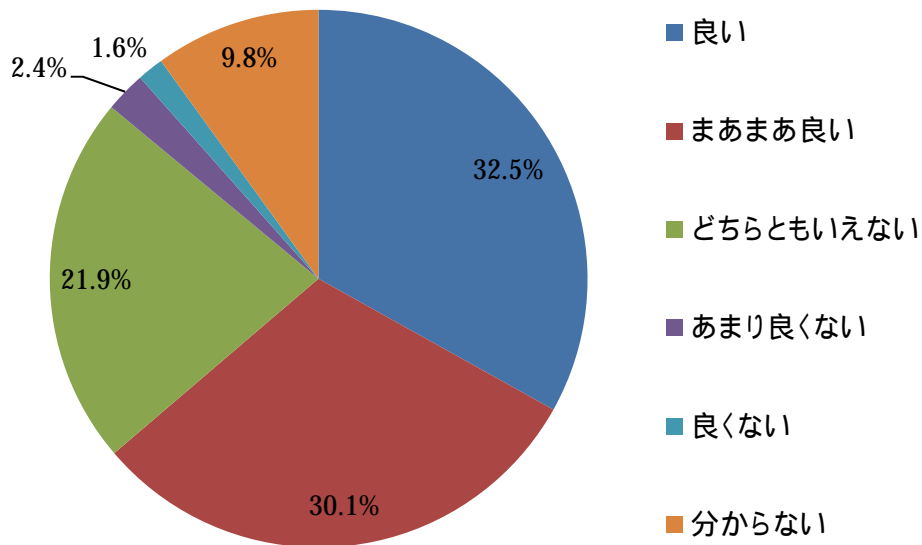


<D 教員との関係について>

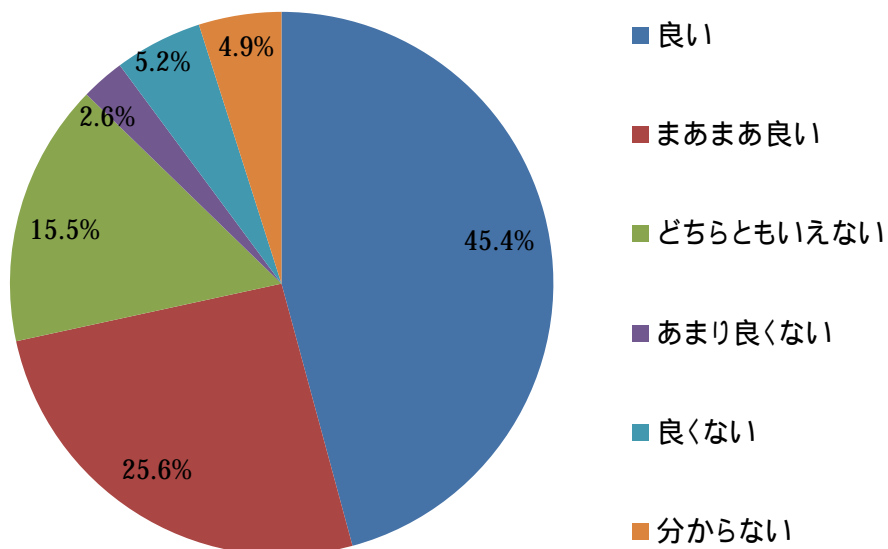
D-a あなたと指導教員(ゼミ、研究室教員)の関係はいかがですか。

学部学生では6割、大学院生では7割の学生が指導教員との関係について「良い」「まあまあ良い」と回答。全体の傾向としては前回調査とほぼ同様の結果となった。

学部学生



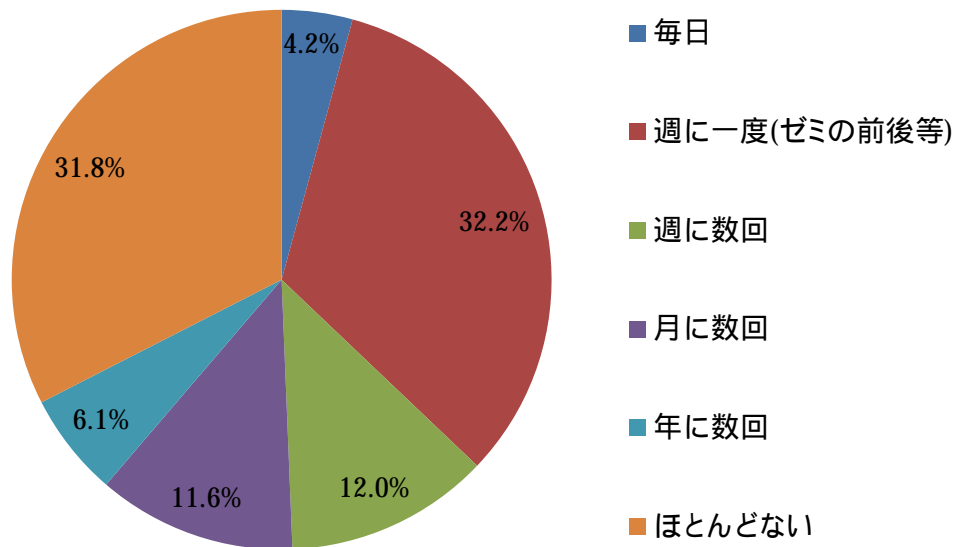
大学院生



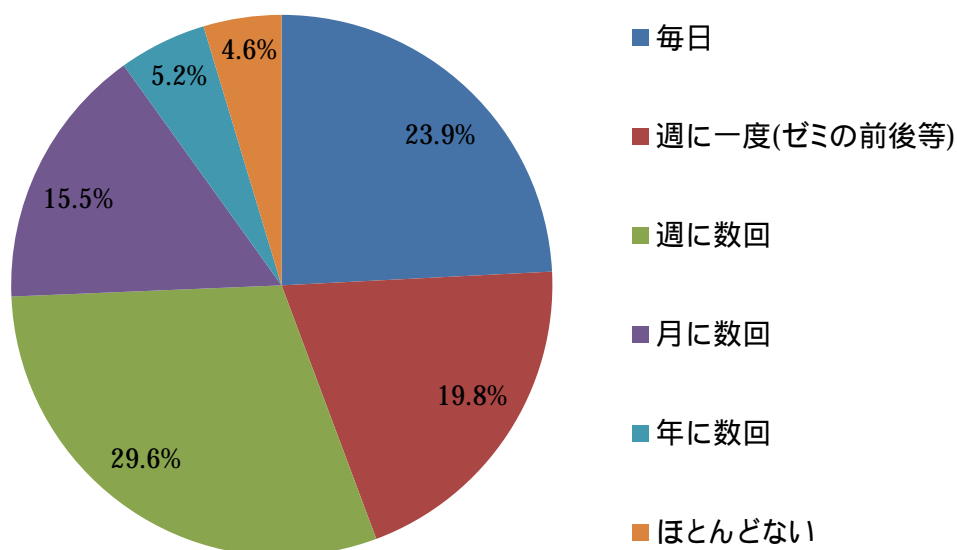
D-b 指導教員(担任・ゼミ教員)と個別の会話や、相談の頻度はどのくらいですか。

過去2回の調査と比べて、週に一度以上指導教員と個別の会話や相談をしている学生の比率は上昇の傾向にあり、平成17年度の調査結果と比較すると倍以上の増加となっている。「ほとんどない」と回答する学生の割合も前回より約1割減少している。

学部学生



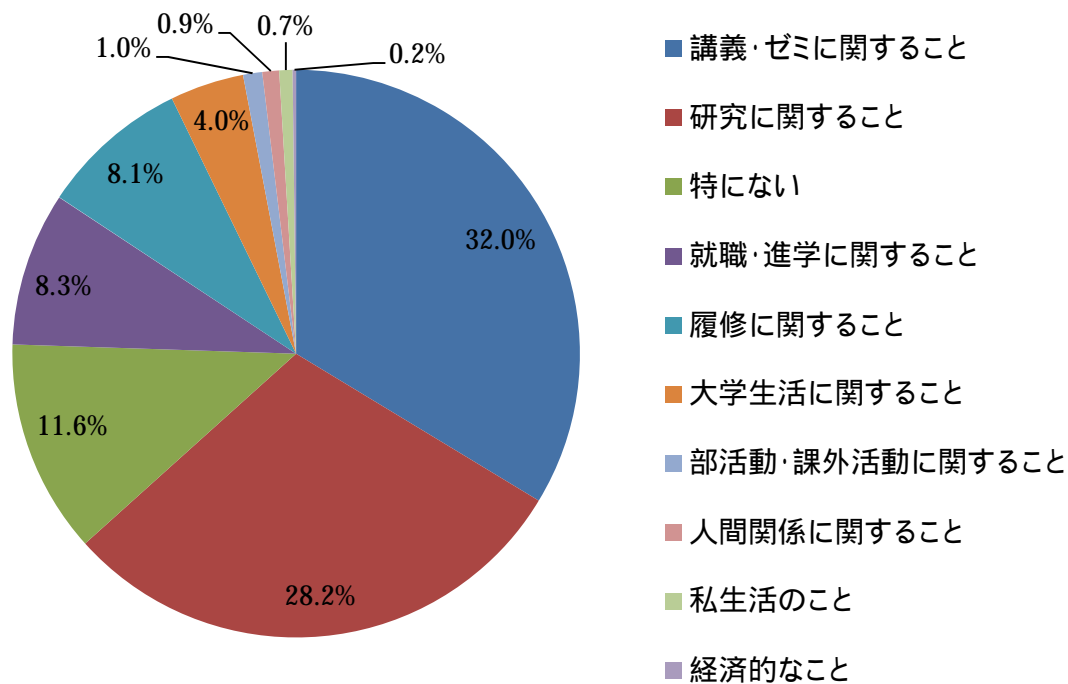
大学院生



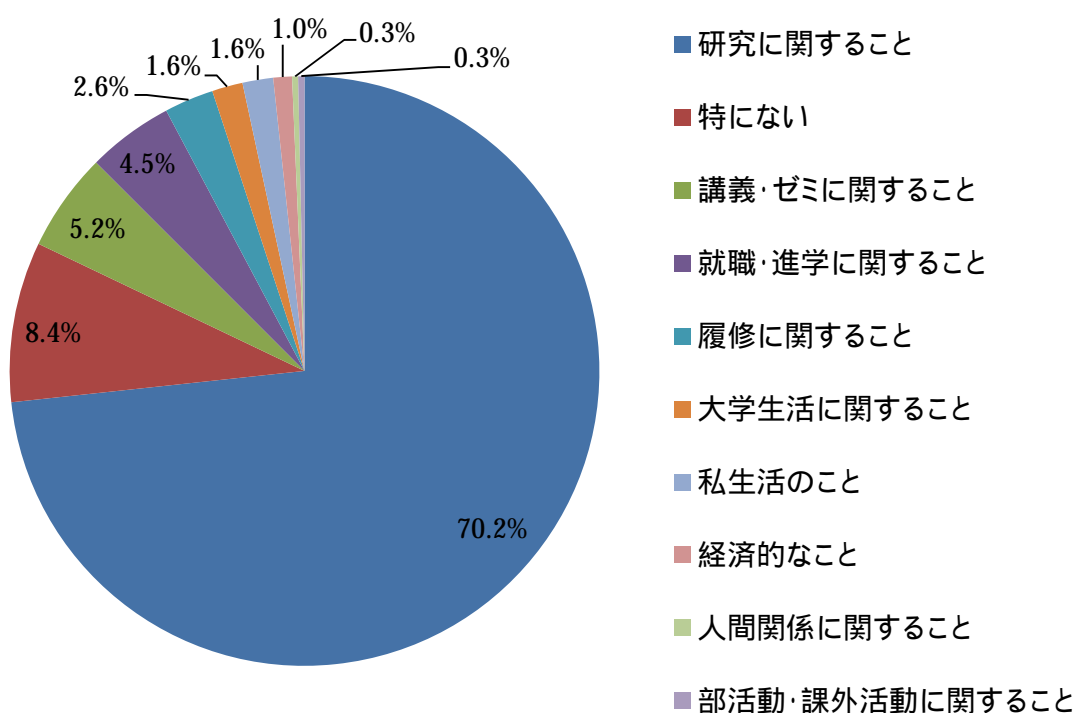
D-c_1 上の設問 (D-b)で1～4 と答えた方にお尋ねします。
 指導教員(担任・ゼミ教員)に相談してよかったと思う内容は何ですか。

指導教員に相談して良かったと思う内容は、学部学生では「講義・ゼミに関すること」が最も多く、
 大学院生では「研究に関すること」が最も多かった。

学部学生



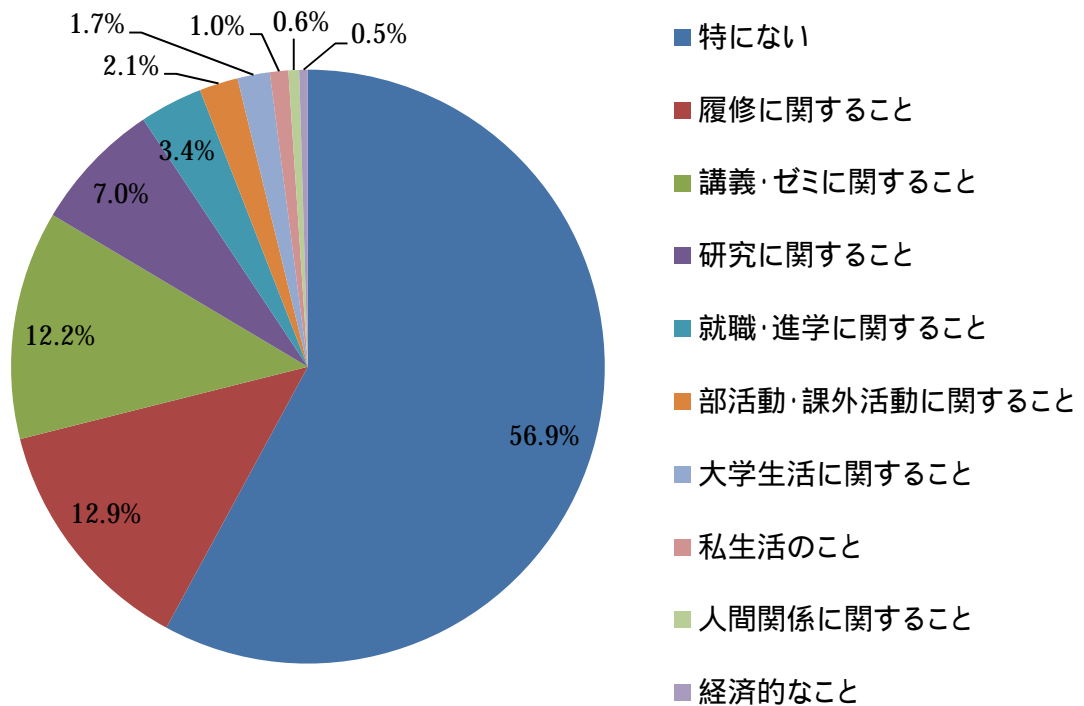
大学院生



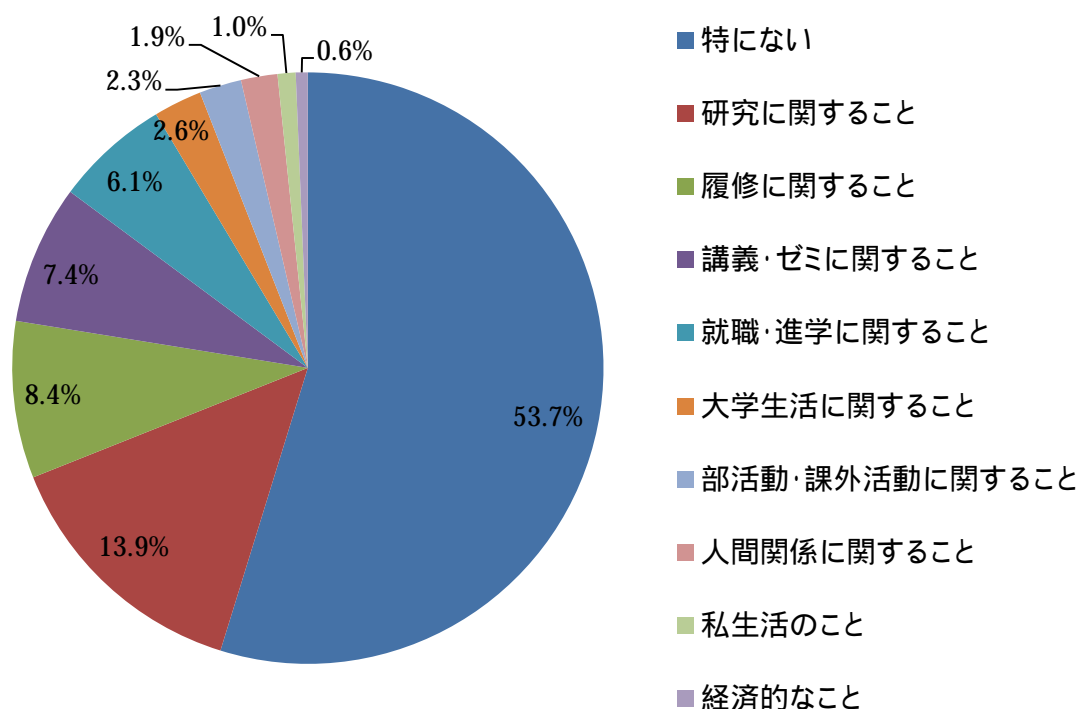
D-c_2 また、指導教員(担任・ゼミ教員)に相談して適切な答えが得られなかったと思う内容は何ですか。

学部学生も大学院生も、指導教員に相談して適切なアドバイスが得られなかったことは「特にない」と答えた学生が最も多かった。

学部学生



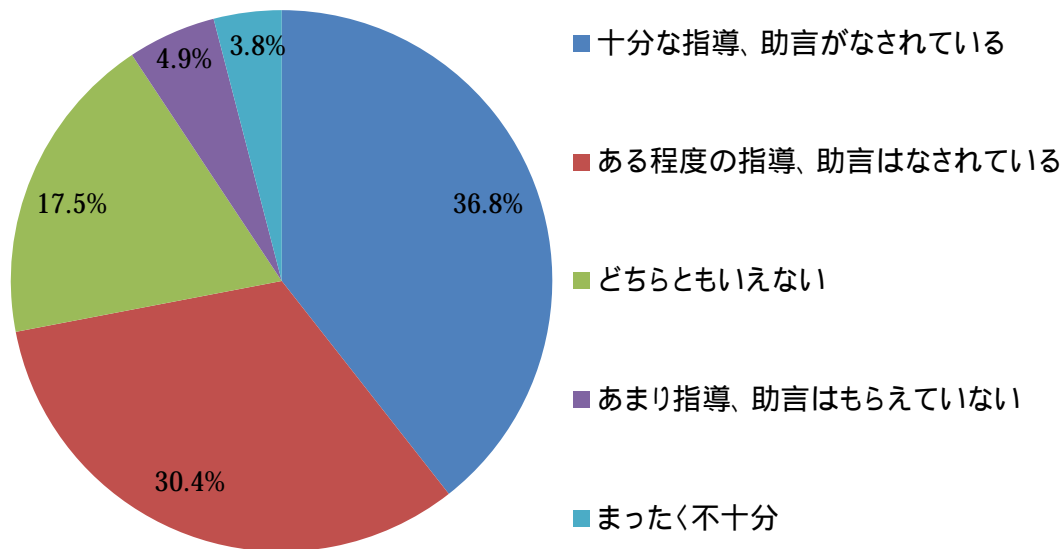
大学院生



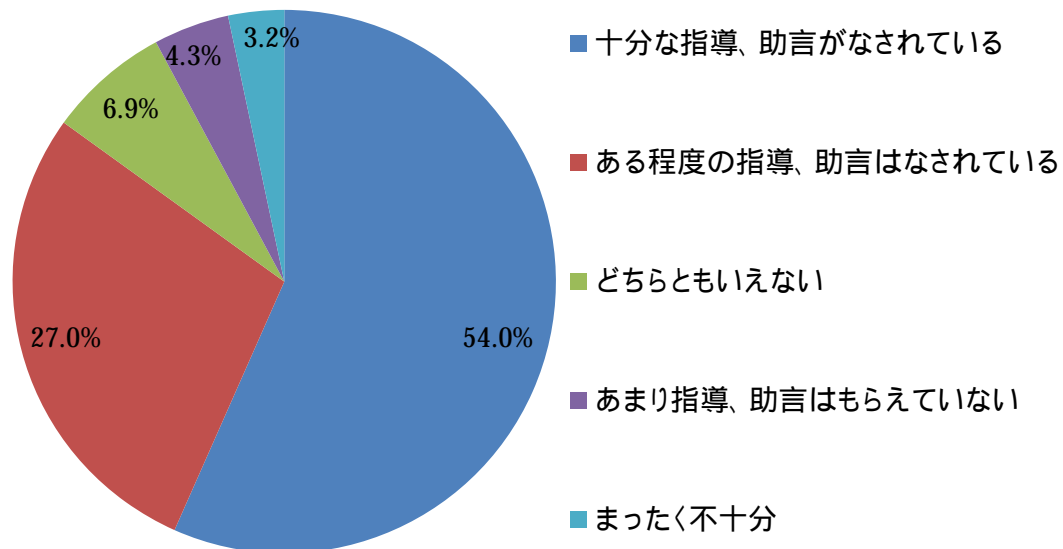
D-d 担任や指導教員は、あなたに学習や研究上必要な指導や助言を行ってくれていますか。

全体の約7割の学生は、指導教員から十分な指導あるいは一定程度の指導を受けられていると感じている。大学院では多くの研究科で半数以上が「十分な指導、助言がされている」となっている。

学部学生



大学院生

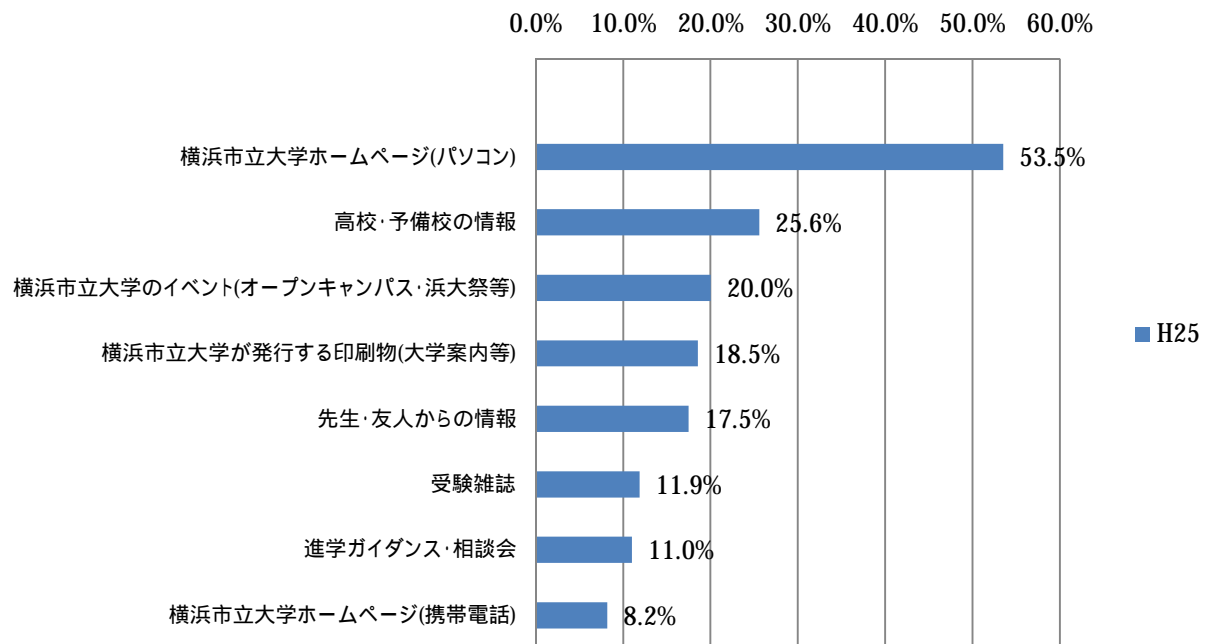


< E 各種メディアの利用状況について >

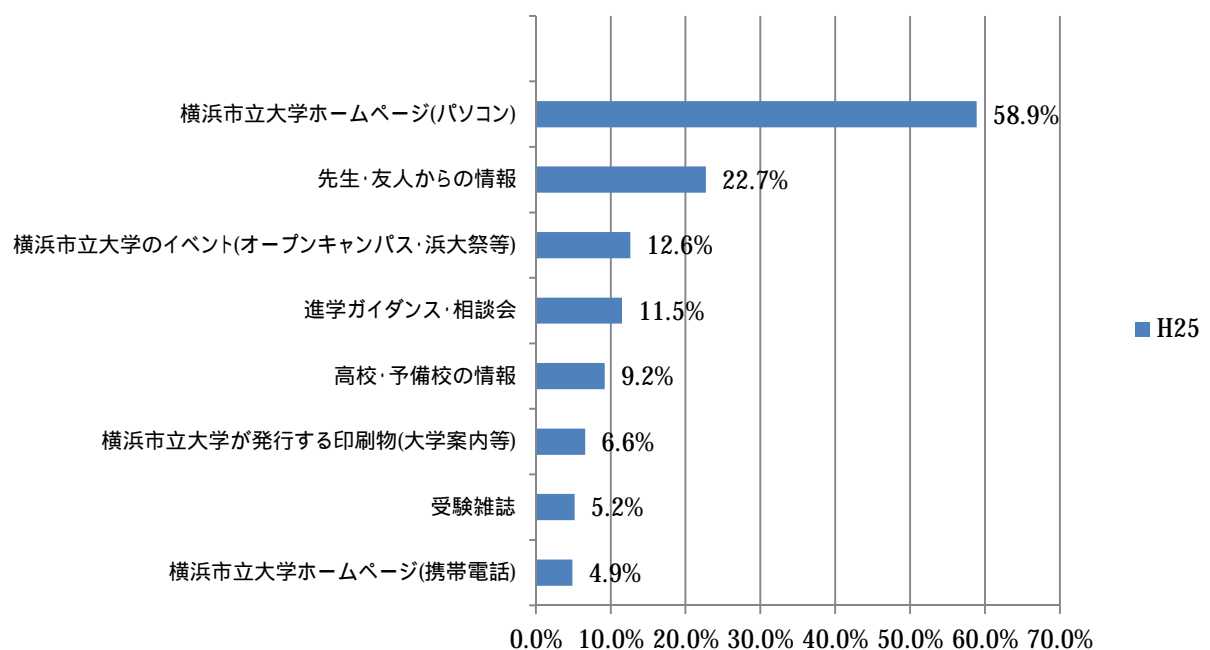
E-a 入学前、どのようにして横浜市立大学の情報を収集しましたか。
(複数回答可)

依然としてホームページでの情報収集がメインとなっている。大学院生では、教員や友人の口コミがWEBに次ぐ情報源になっている。

学部学生



大学院生



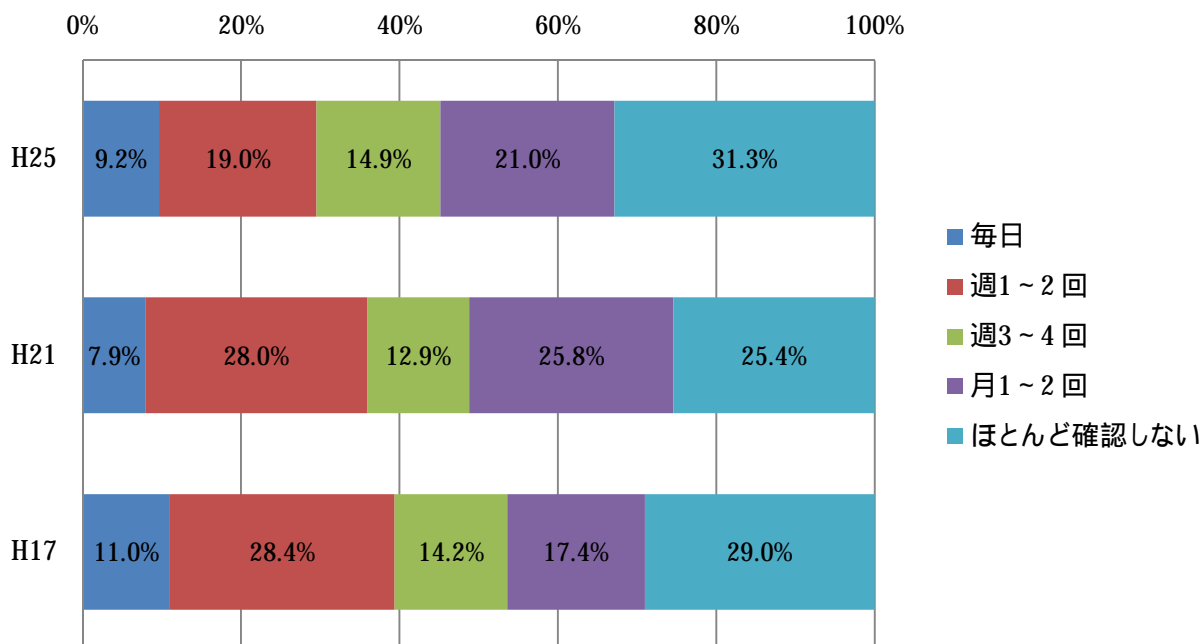
E-b 現在、掲示板、ホームページ、携帯サイトの学内情報をどのくらいの頻度で確認していますか。

学部学生では、7割以上の学生が週に1回以上は何らかの学内情報を確認している。
 大学院生では、3割を超える学生が「ほとんど確認しない」と回答。

学部学生



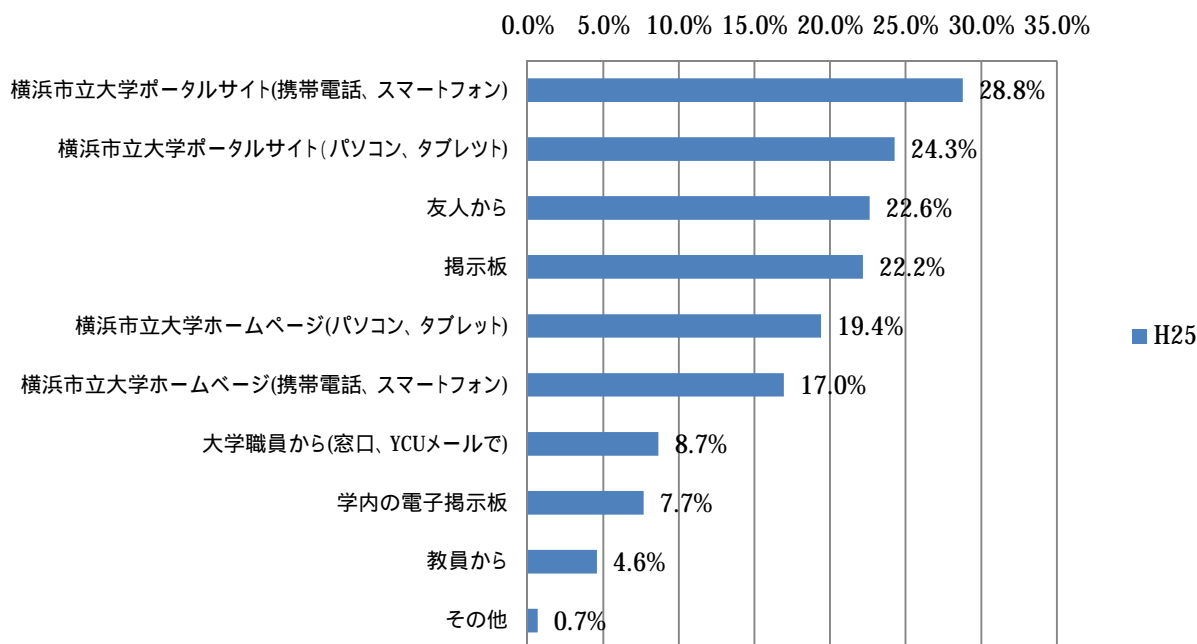
大学院生



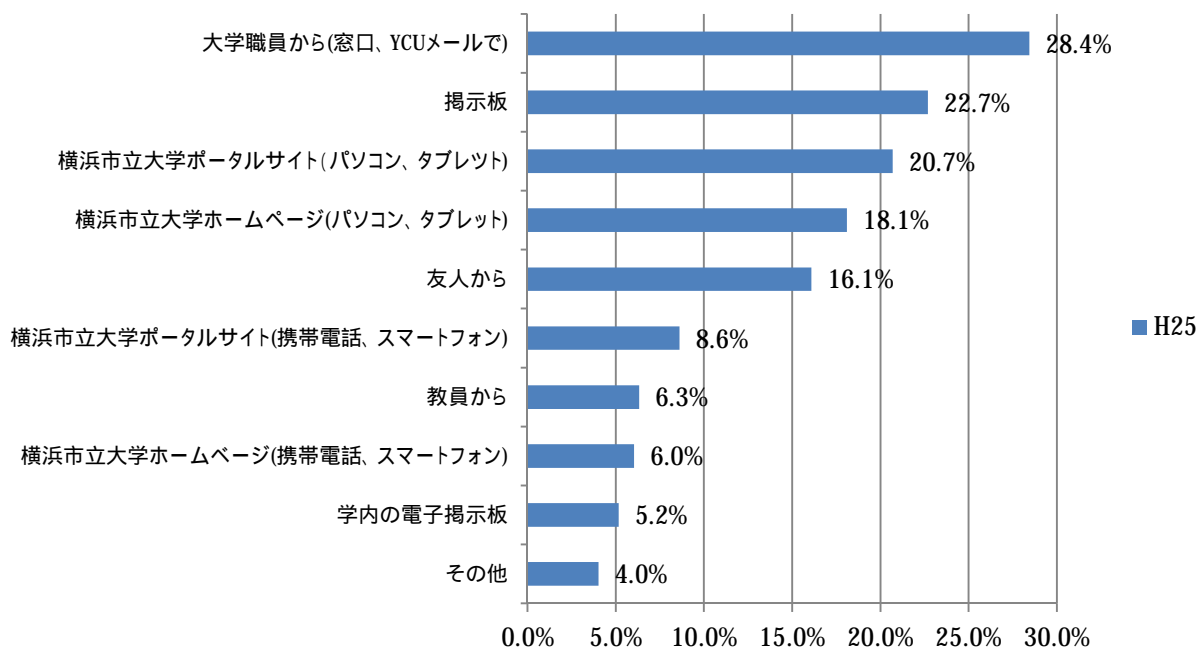
E-c 休講や呼出、履修関係等の学内情報を主にどこで得ていますか。
 (複数回答可)

掲示板で情報を得ると答えた学生の割合は8年前の調査から1/3に減少。様々な電子媒体を活用した情報収集にシフトしている。

学部学生



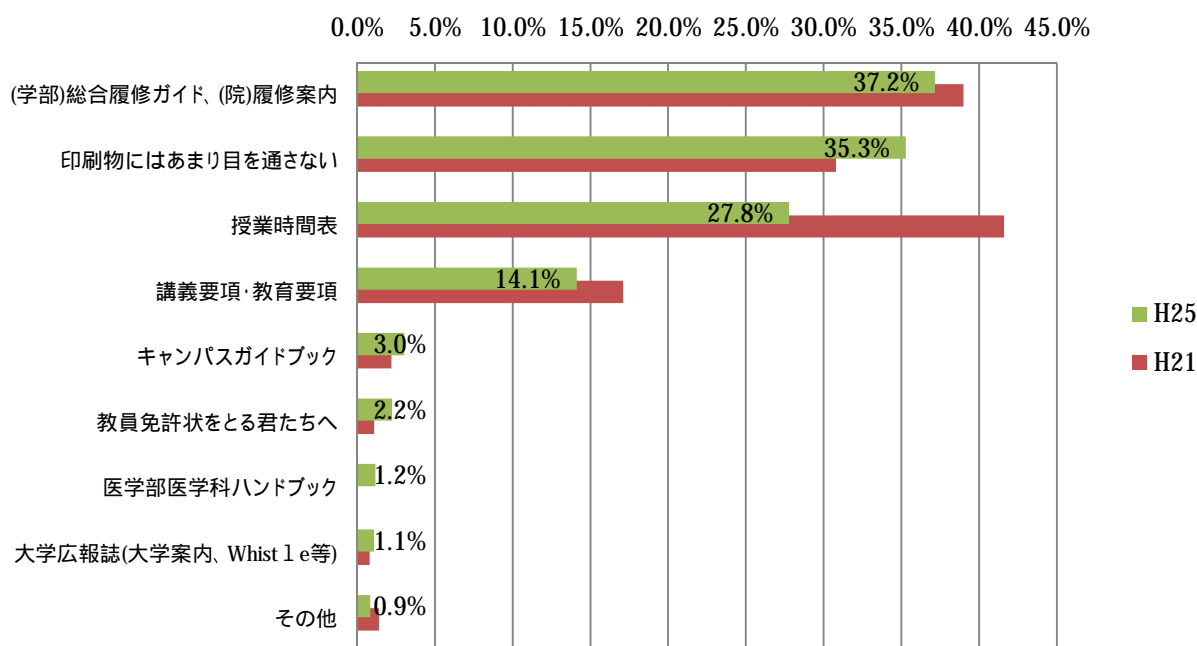
大学院生



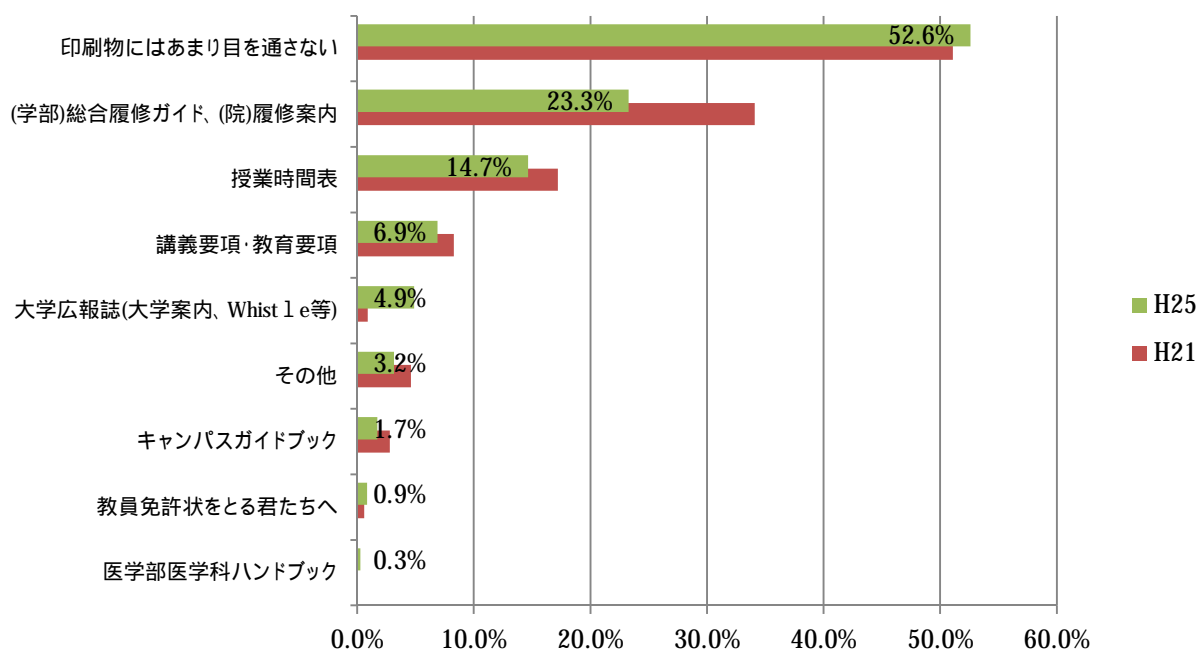
E-d 大学が発行している次の印刷物について、日常的に利用しているものを以下の項目から選択してください。（複数回答可）

全体的に「時間割表」や「履修ガイド」の日常利用が減少傾向。「印刷物にはあまり目を通さない」の割合が学部学生、大学院生ともに増加傾向。

学部学生



大学院生

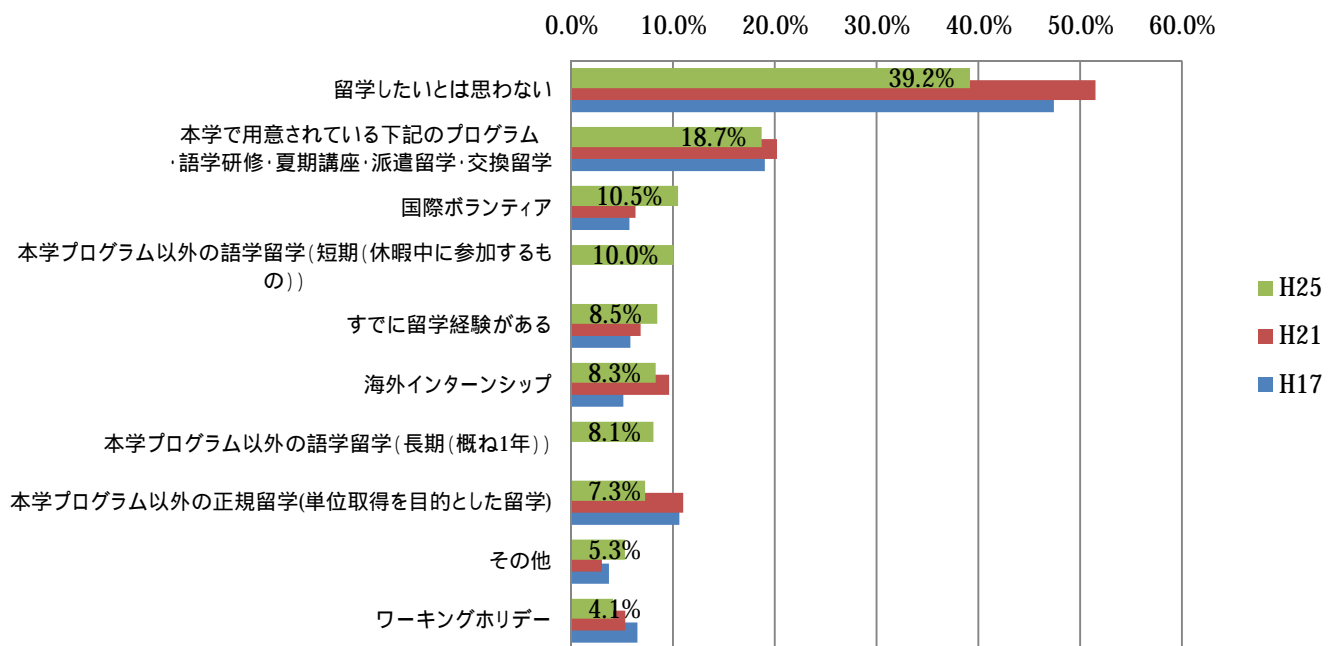


< F 留学について >

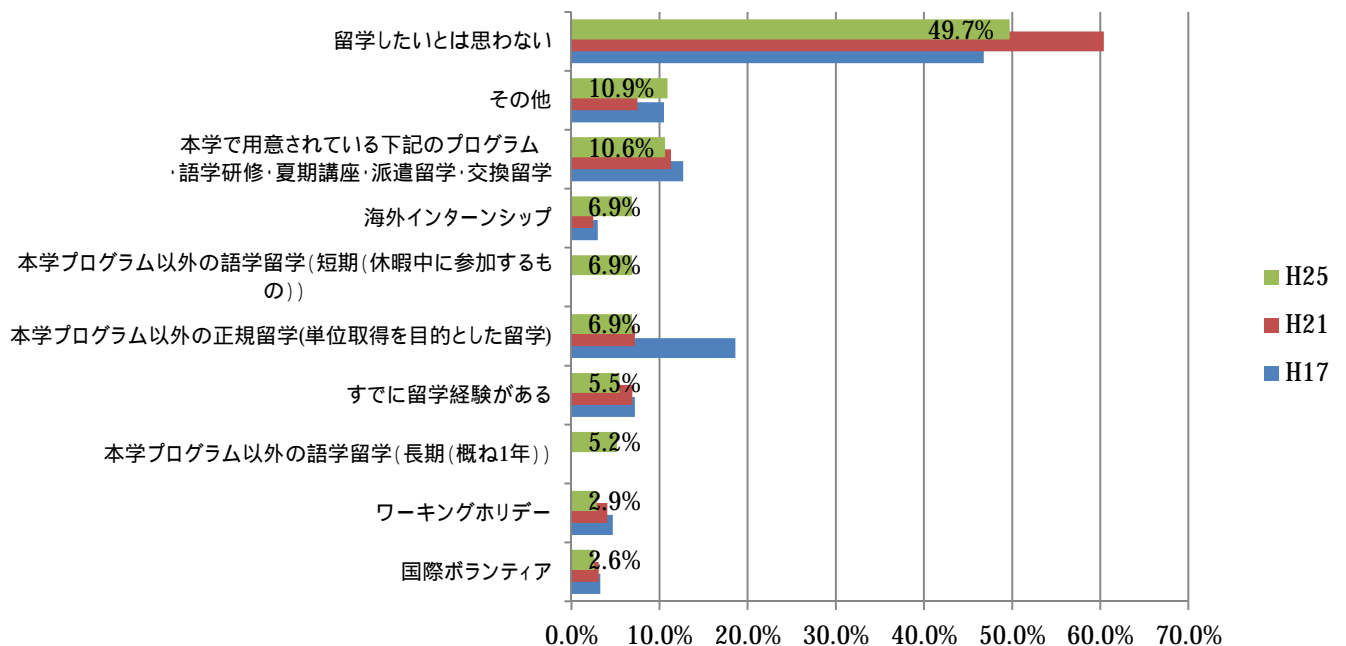
F-a 在学中に留学等を希望しますか。希望する場合はどのような形態を
考えていますか。（複数回答可）

約6割の学部学生は留学や何らかの海外派遣プログラムを希望すると回答した。本学で用意する
語学研修・夏期講座・派遣留学・交換留学を希望する学生が最も多く、学部学生では国際ボランティアの
人気上昇している。

学部学生



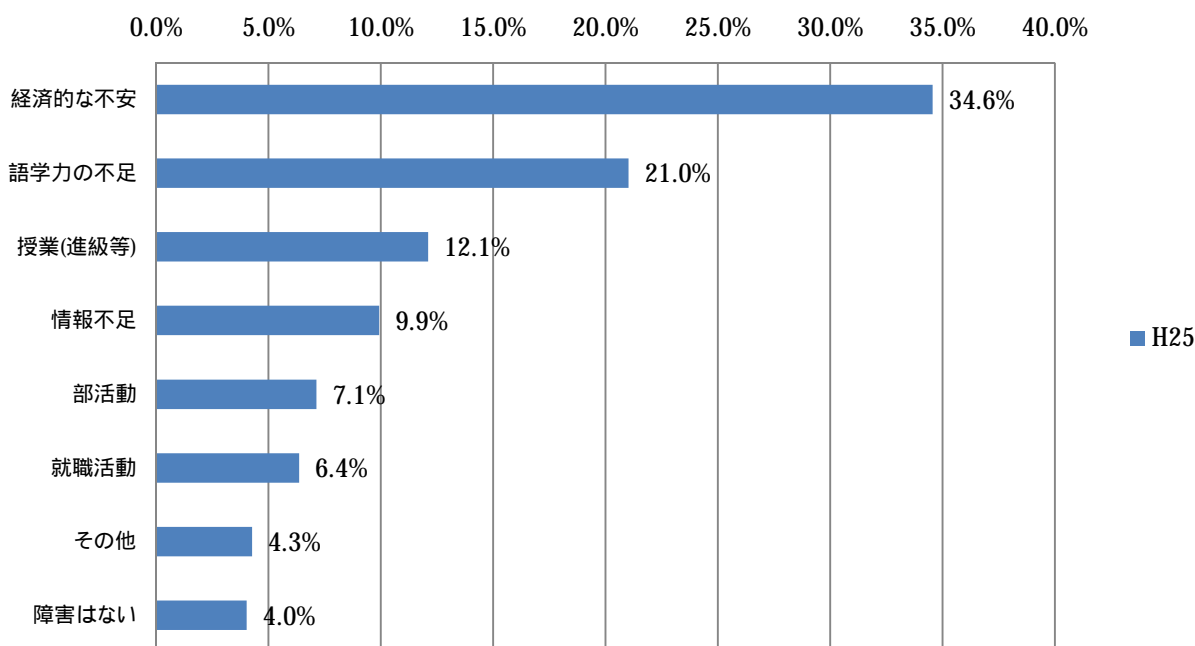
大学院生



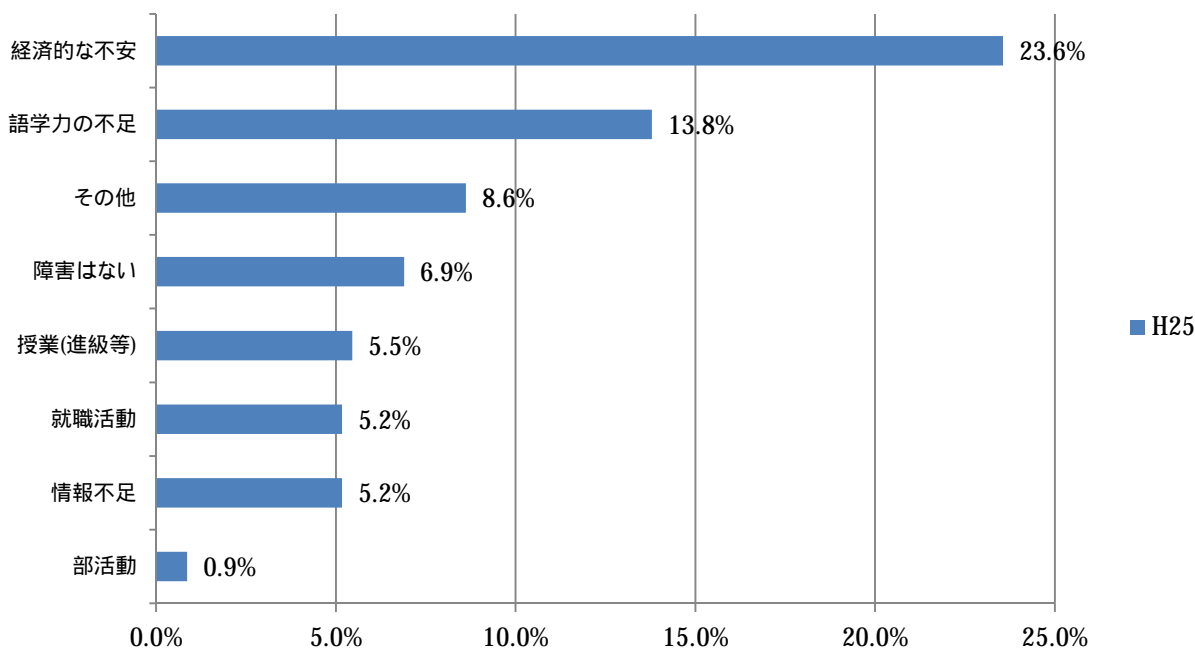
F-b 留学等を希望する方にお尋ねします。留学をためらう理由は何ですか。
(複数回答可)

今回の調査でも留学をためらう理由で一番多いのは、「経済的な不安」となった。次いで「語学力の不足」、
「授業(進級等)」となった。

学部学生



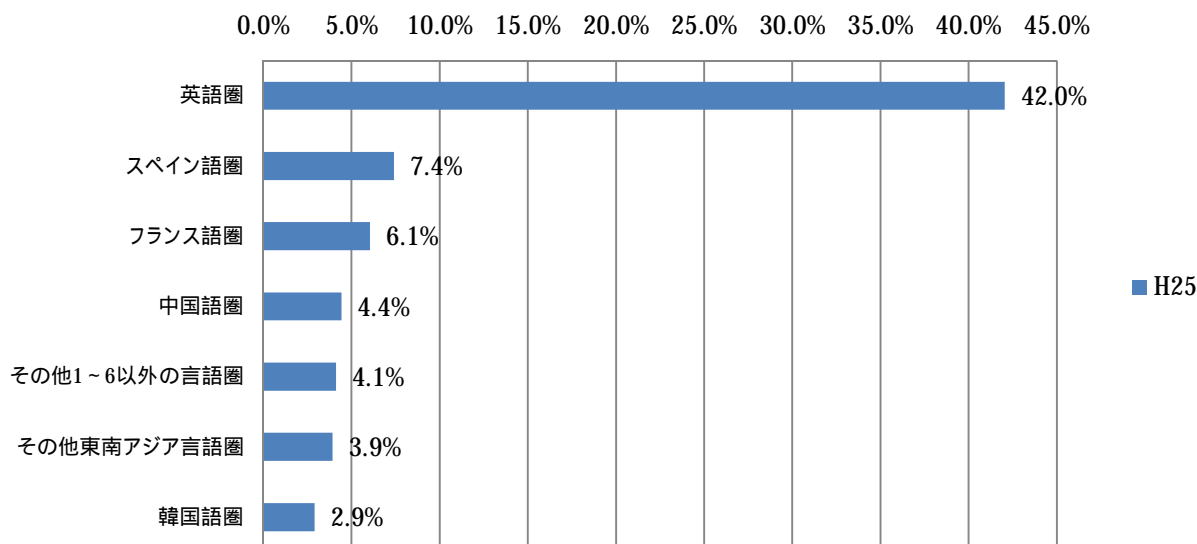
大学院生



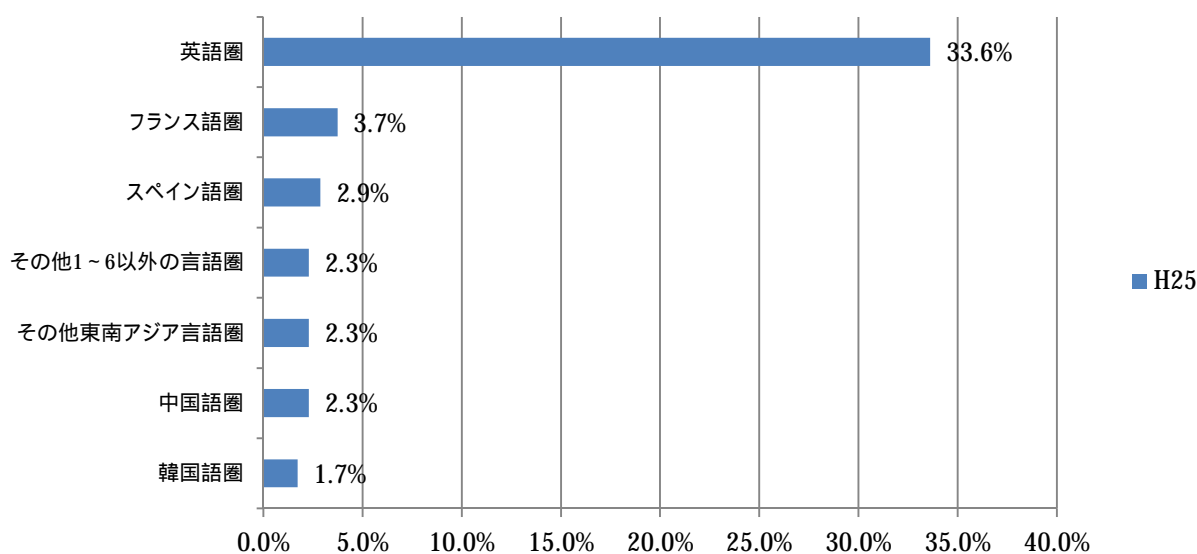
F-c 留学等を希望する方にお尋ねします。今後、新たに設けてほしい/増やしてほしい留学先について教えてください。（複数回答可）

新たに開拓を希望する留学先は学部学生、大学院生とも大多数が英語圏となった。学部生では次いで「スペイン語圏」、「フランス語圏」を希望している。

学部学生



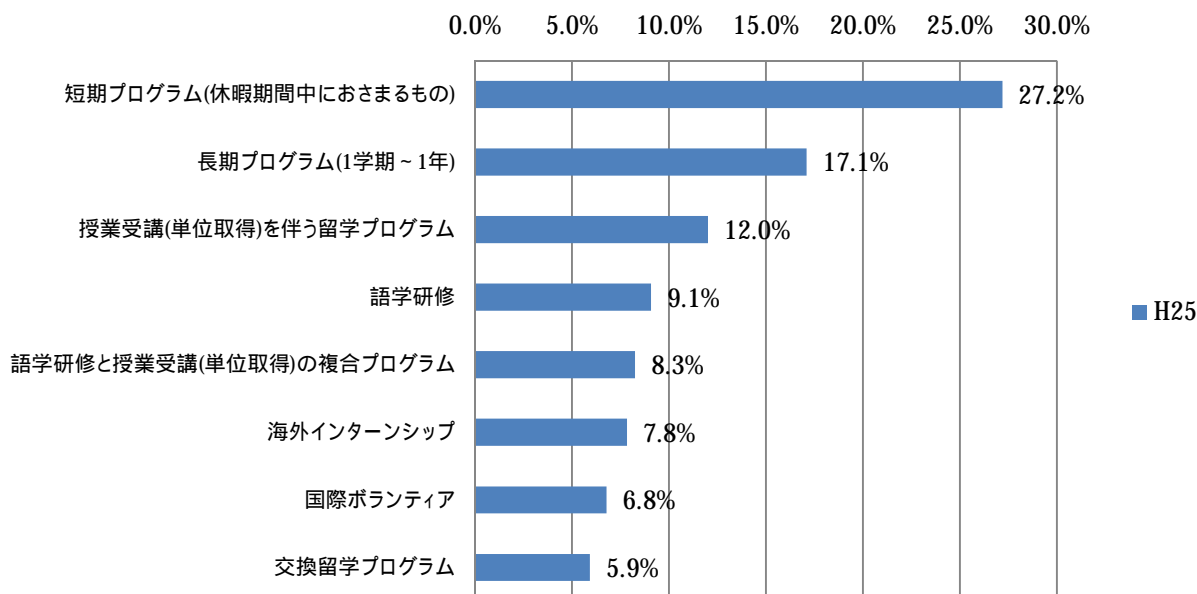
大学院生



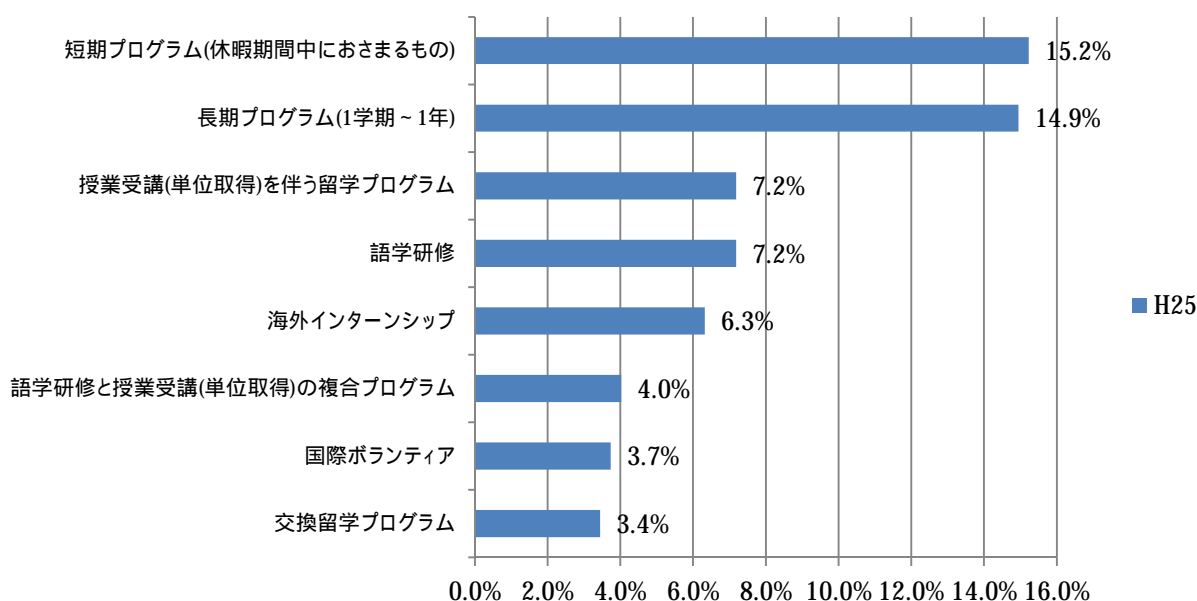
F-d 留学等を希望する方にお尋ねします。今後、新たに設けてほしい/増やしてほしいプログラムの種類について教えてください。（複数回答可）

休暇期間中におさまる短期のプログラムの新設を求める声が一番多い。ちなみに男女で見ると、ほぼすべてのプログラムで女性の方が新規プログラム開設への関心が高い。

学部学生



大学院生

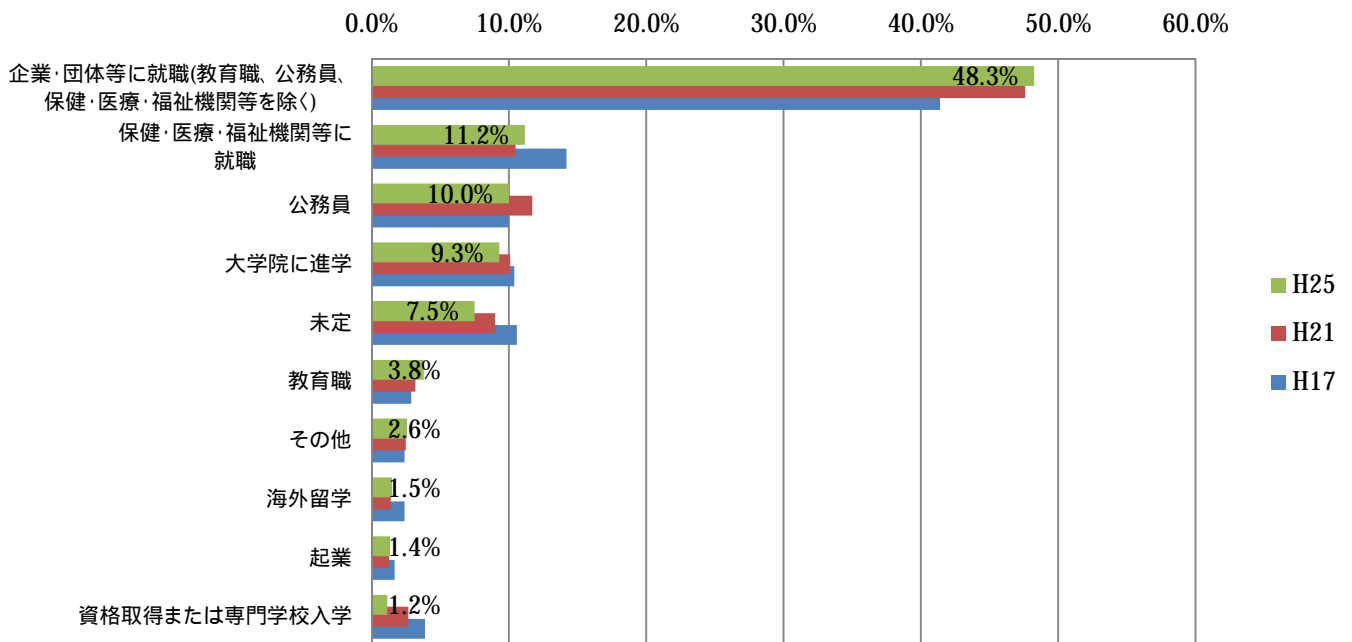


< G 進路対策について >

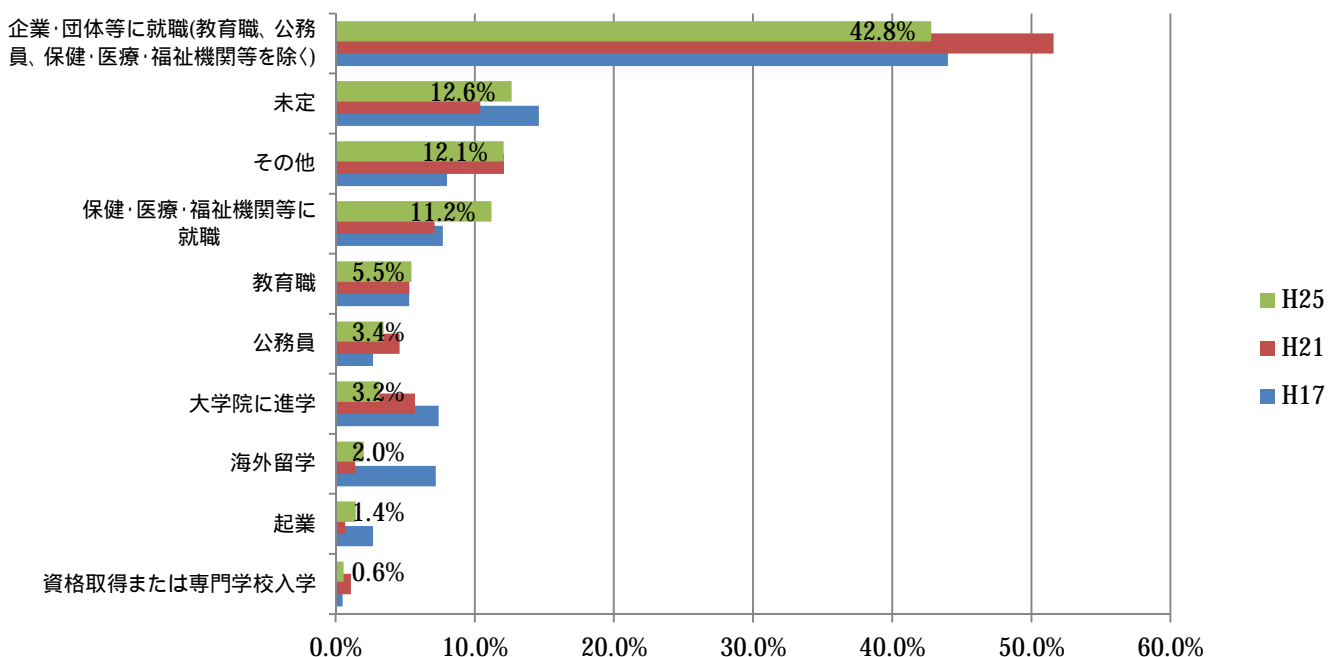
G-a 希望又は予定している卒業後の進路・就職先

学部学生では、約5割が「企業等に就職」と回答したが、理学系では企業と回答したのは3割弱となっており、4割以上の学生が「大学院に進学」を選んだ。また、医学科、看護学科では「保健・医療・福祉機関等」が大半を占める。

学部学生



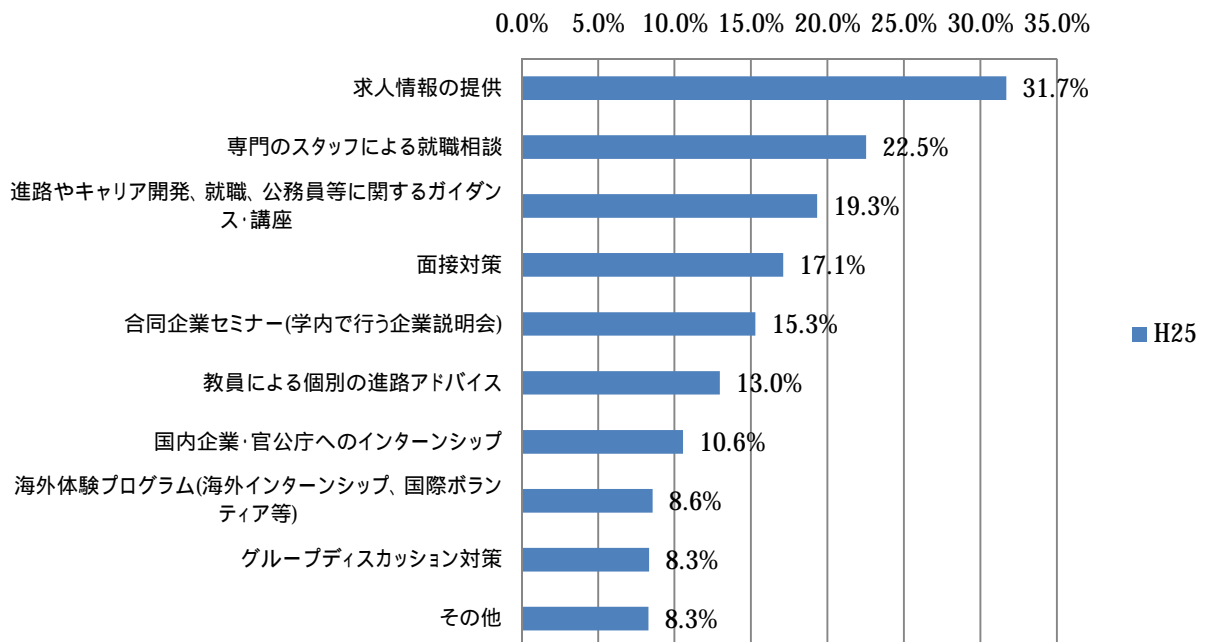
大学院生



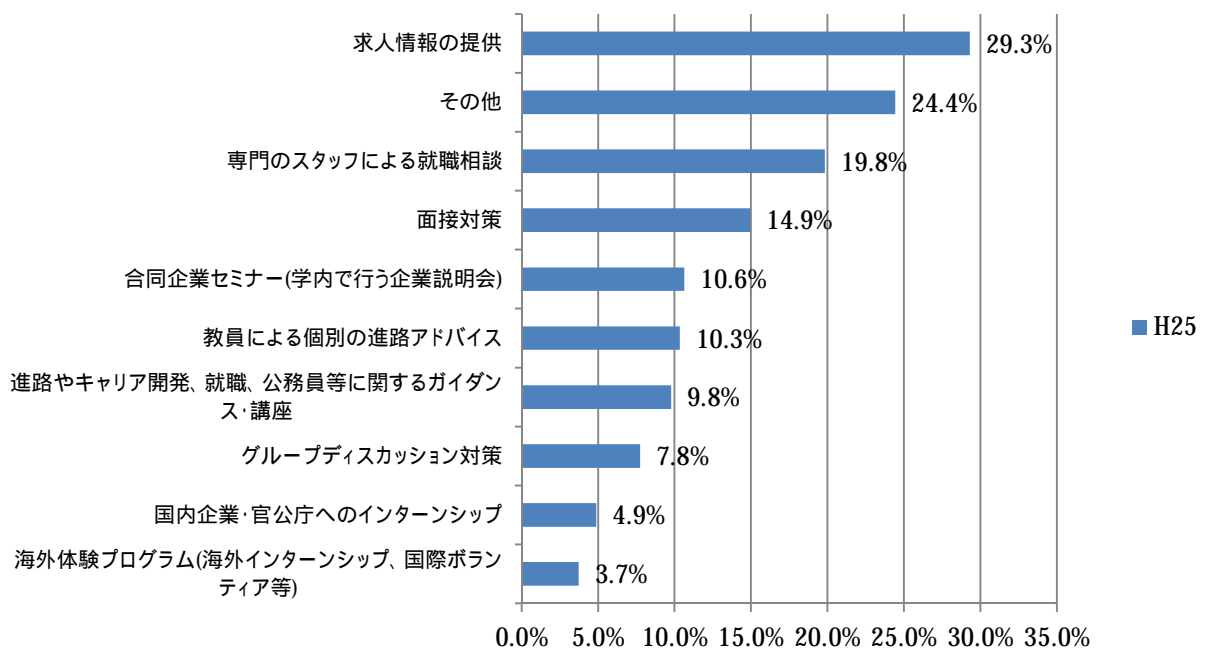
G-b キャリア・就職支援対策(現在実施しているもの)で、今後充実してほしいことは何ですか。(回答3つまで)

学部学生も大学院生も前回調査時同様、「求人情報の提供」の充実を求める声が多かった。前回との比較では、「専門スタッフによる就職相談」「進路やキャリア開発、就職、公務員等に関するガイダンス・講座」が減少、「面接対策」「合同企業セミナー」は充実を求める声が増加した。

学部学生



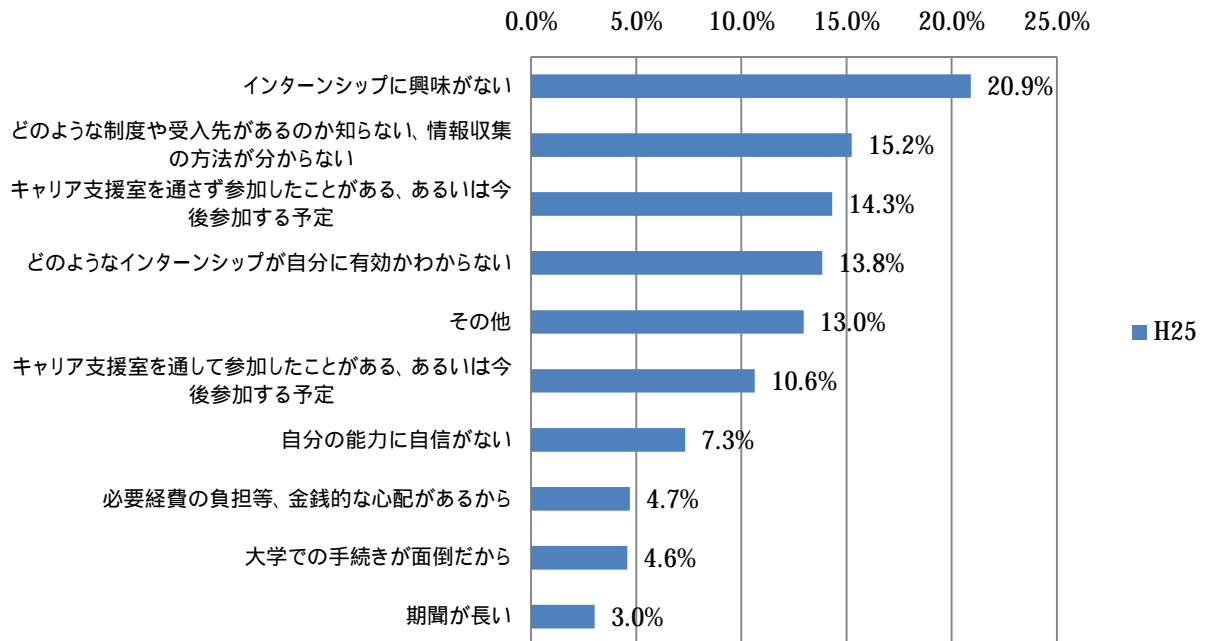
大学院生



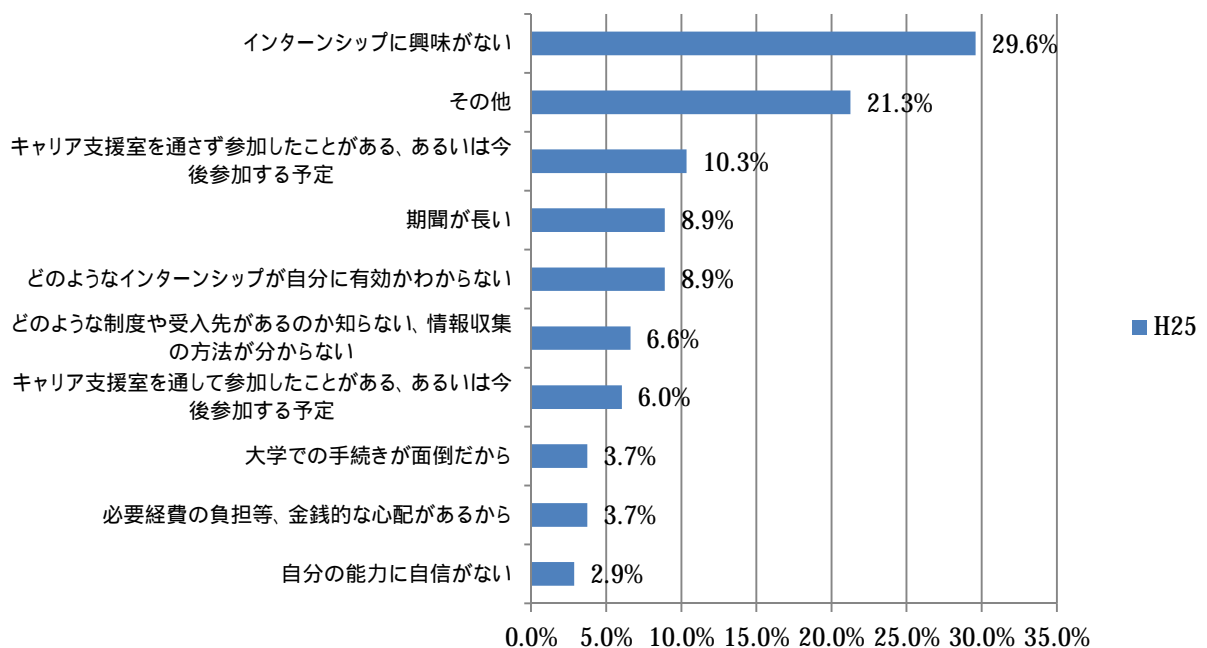
G-c インターンシップに参加したことがありますか。参加したことがない方はその理由を選択してください。（複数回答可）

インターンシップへ参加したことがある、あるいは参加予定のある学生は前回よりも増加傾向。一方、「興味がない」と回答した学生の割合は前回と横ばい。

学部学生



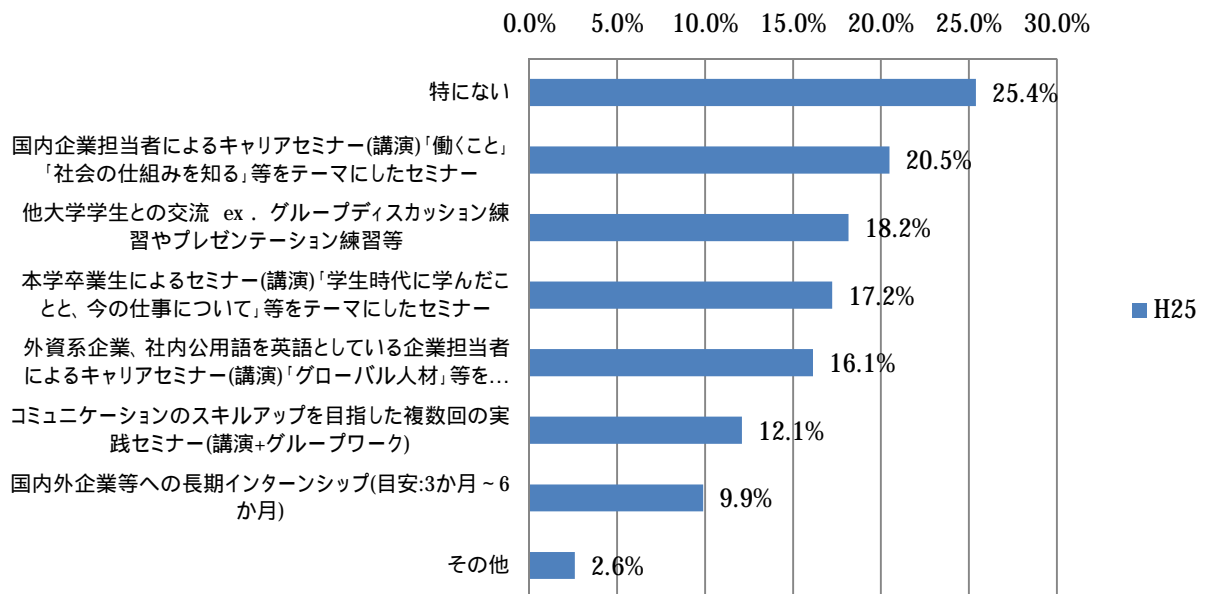
大学院生



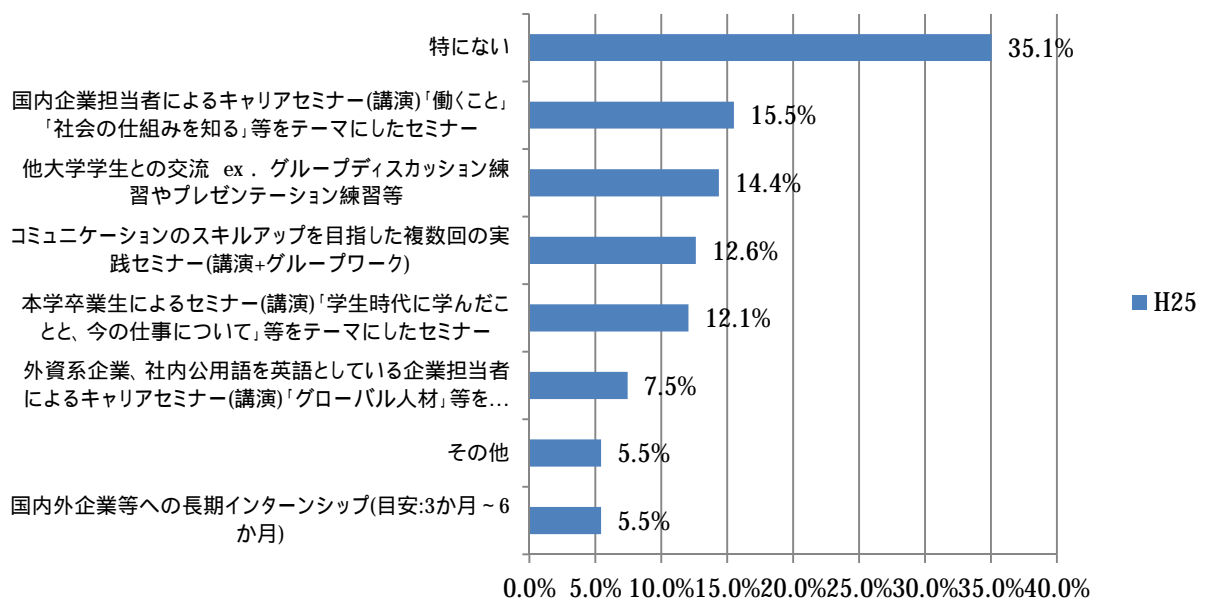
G-d キャリア・就職支援で今後実施してほしいことは何ですか。
 (回答3つまで)

学部学生、大学院生共に「特にない」を除くと「キャリアセミナー」等のセミナーを実施してほしいという声
 最も多かった。

学部学生



大学院生

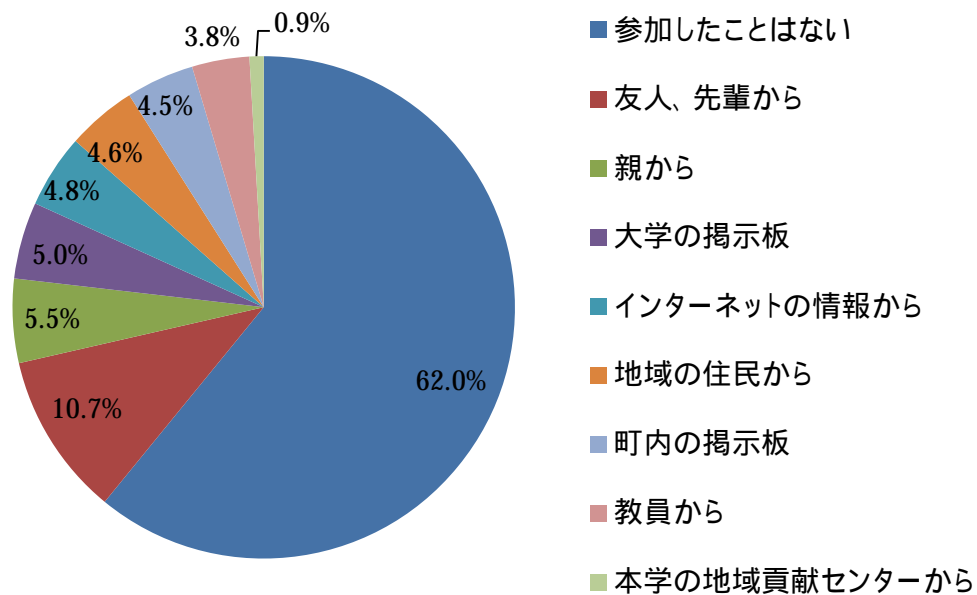


< H 地域での活動について >

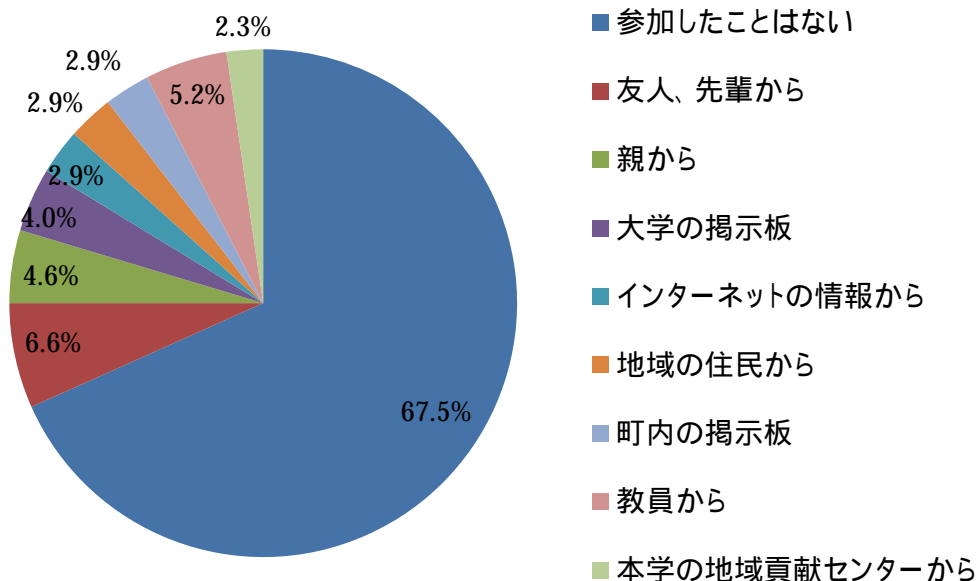
H-a これまでに地域での活動(地元あるいは大学周辺の町内会の行事やボランティアなど)に参加したことがありますか。ある方はその活動の情報をどこから入手しましたか。
(複数回答可)

学部学生、大学院生とも「参加したことはない」が6割以上を占めた。参加している学生は、友人や先輩、親等から情報を得て参加している。

学部学生



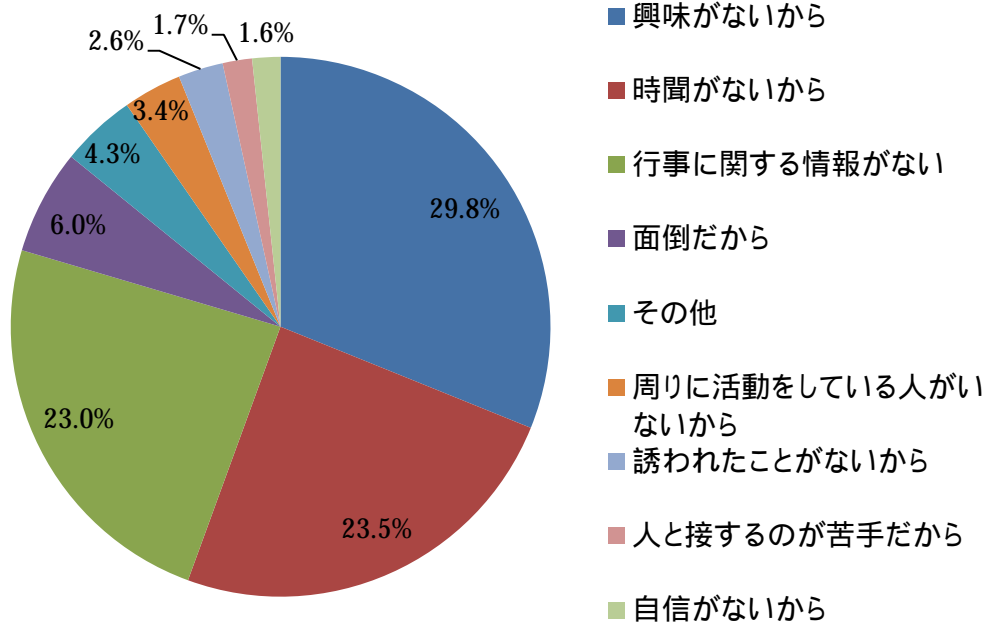
大学院生



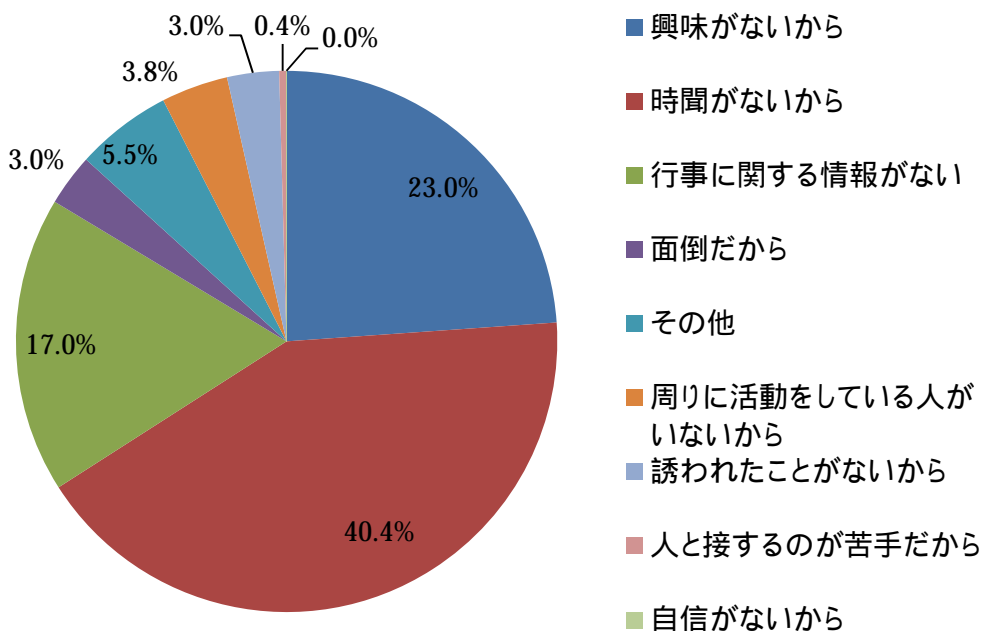
H-b H-aで「参加したことはない」と回答した方へお尋ねします。
 参加したことがない、参加しない理由は何ですか。

参加したことがない理由は、「興味がないから」に次いで「時間がないから」「行事に関する情報がないから」という回答が多かった。

学部学生



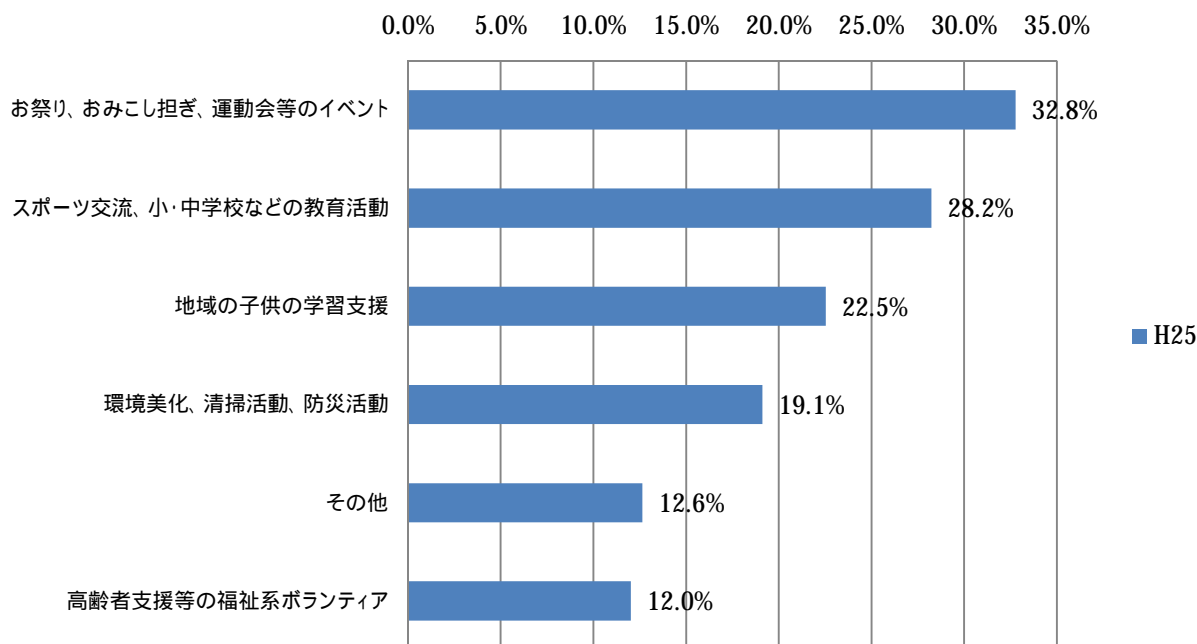
大学院生



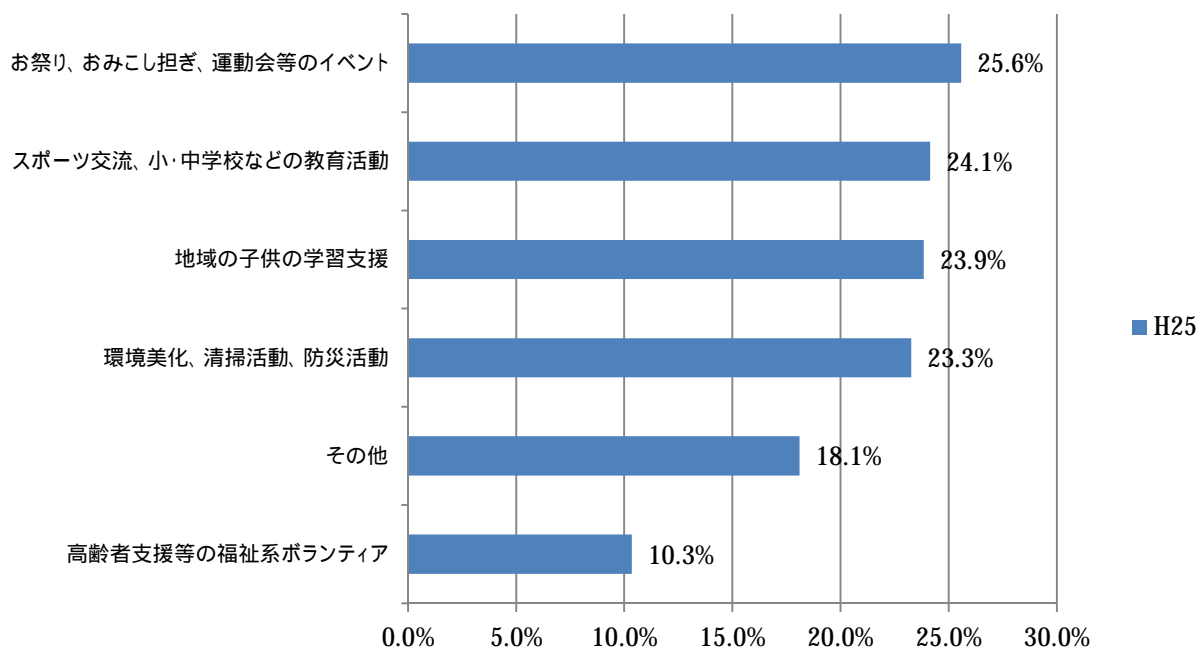
H-c どんな地域活動なら協力したいと思いますか。（回答3つまで）

男女で見ると、男性は「スポーツ交流、小中学校などの教育活動」に協力したいという回答が最も多かった。「お祭り、おみこし担ぎ、運動会等のイベント」と回答したのは、男性よりも女性の方が多かった。

学部学生



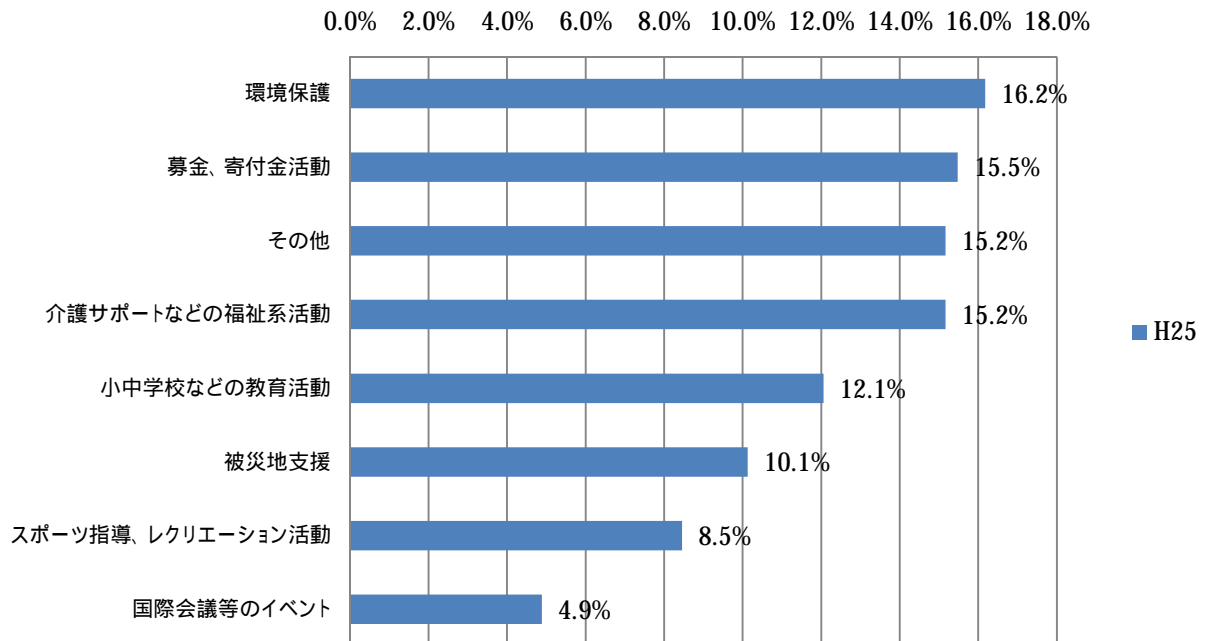
大学院生



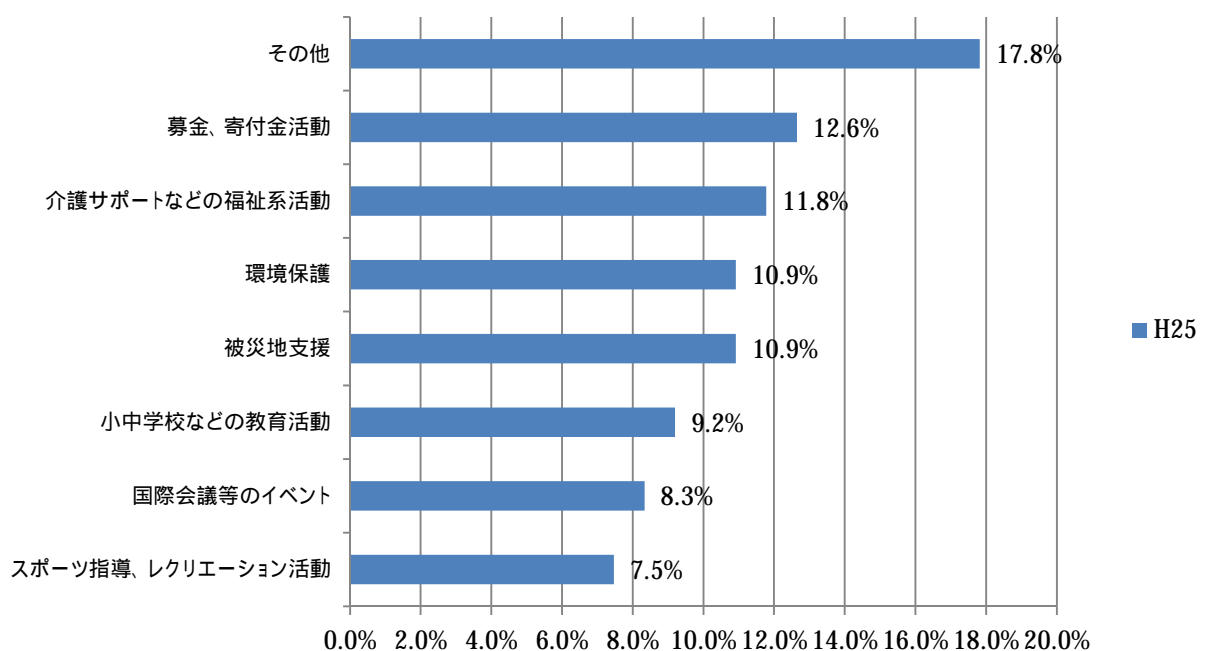
H-d これまで下記のような活動の経験はありますか。（複数回答可）

学部学生では「環境保護」活動が最も多く、大学院生では「その他」に次いで「募金・寄付活動」という回答が多かった。ちなみに、このような活動の経験は男性より女性の方が多い傾向となった。

学部学生



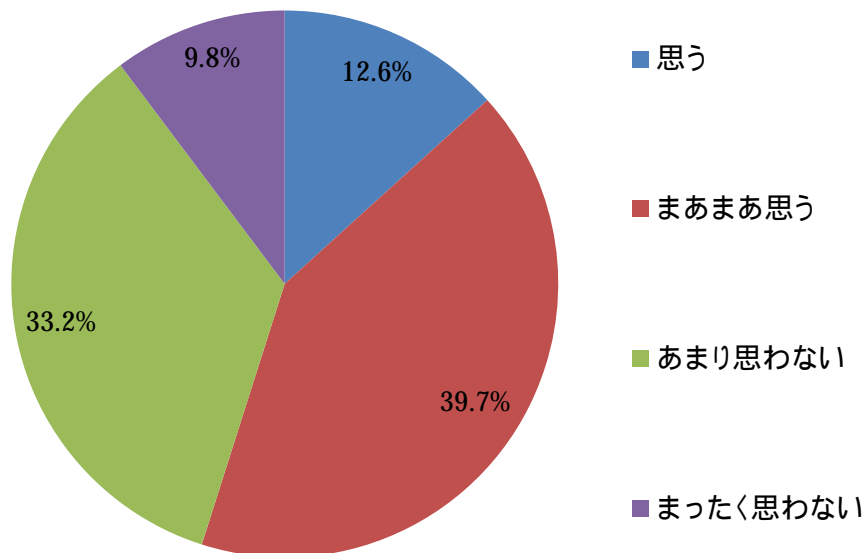
大学院生



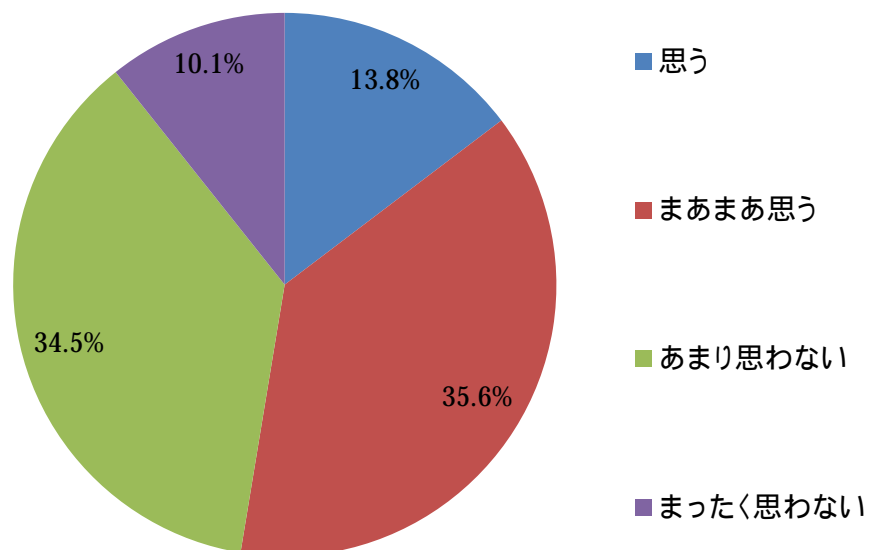
H-e 横浜市立大学は地域貢献活動が盛んだと思いますか。

全体で「思う」と「まあまあ思う」の合計は約5割程度だった。「まったく思わない」と「あまり思わない」と回答した学生も4割程度いた。

学部学生



大学院生



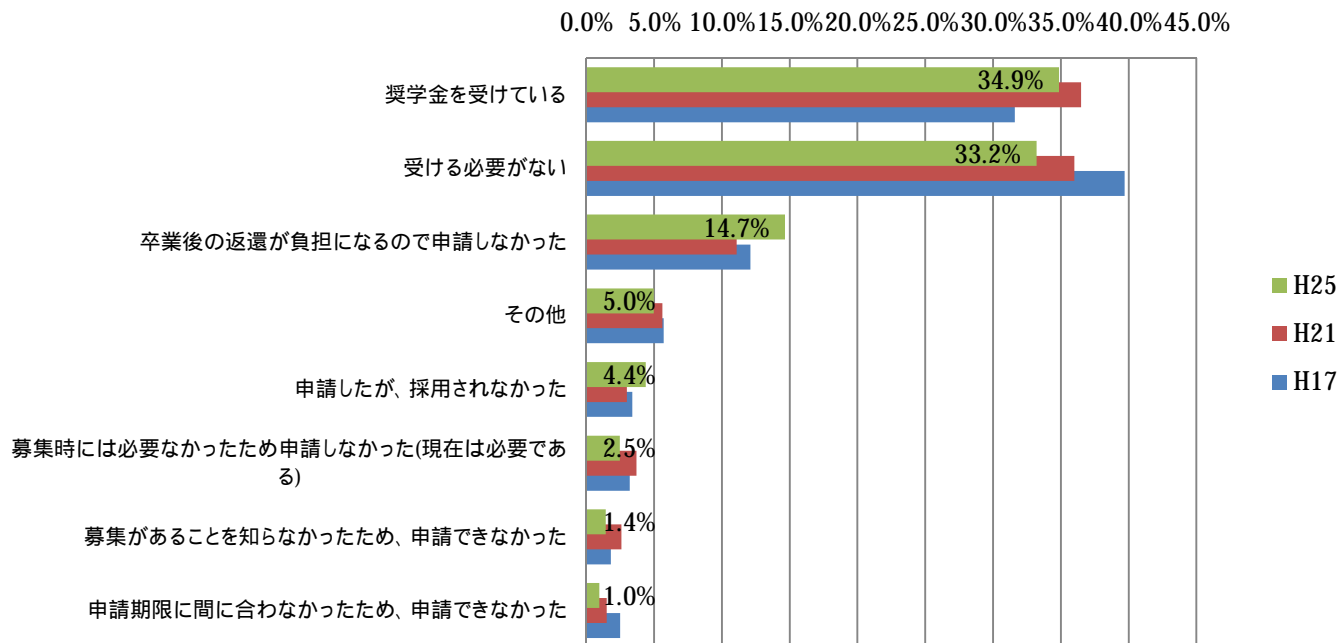
<I 経済的支援制度について>

I-a 奨学金を受給していますか。受けていない場合、その理由は何ですか。

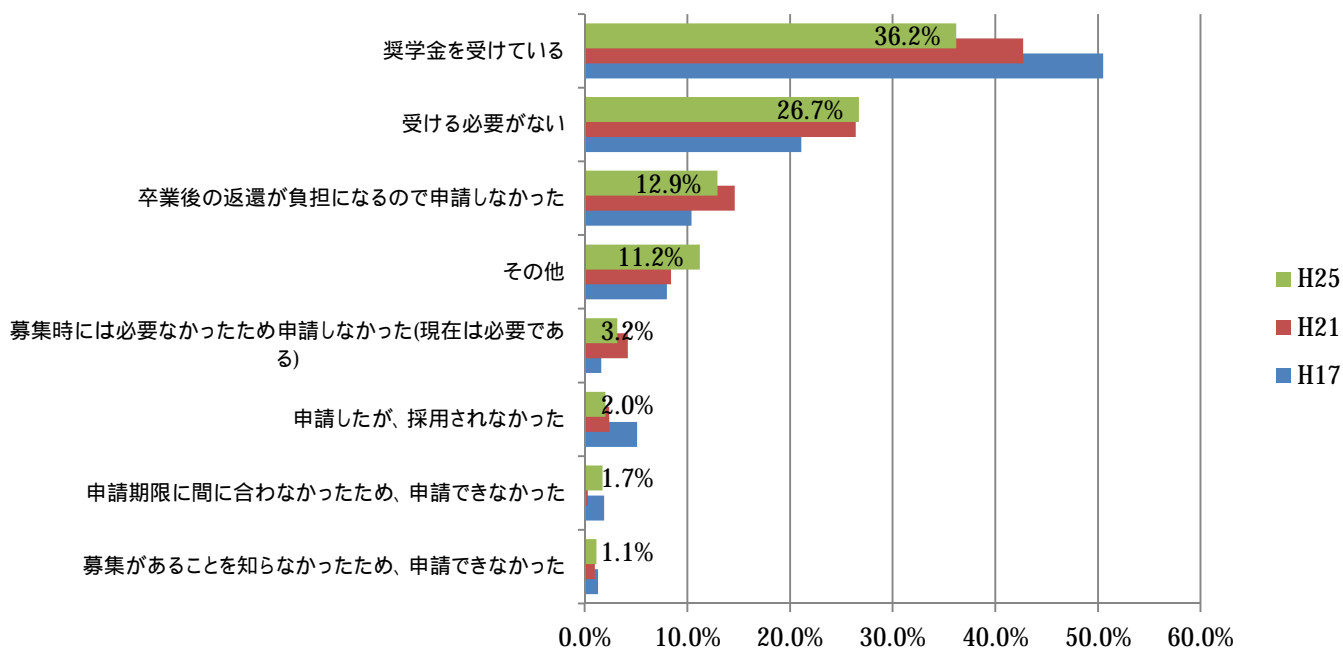
学部学生では、「受ける必要がない」と回答した学生が減少傾向である。

大学院生では、「奨学金を受けている」と回答した学生が大きく減少している。

学部学生



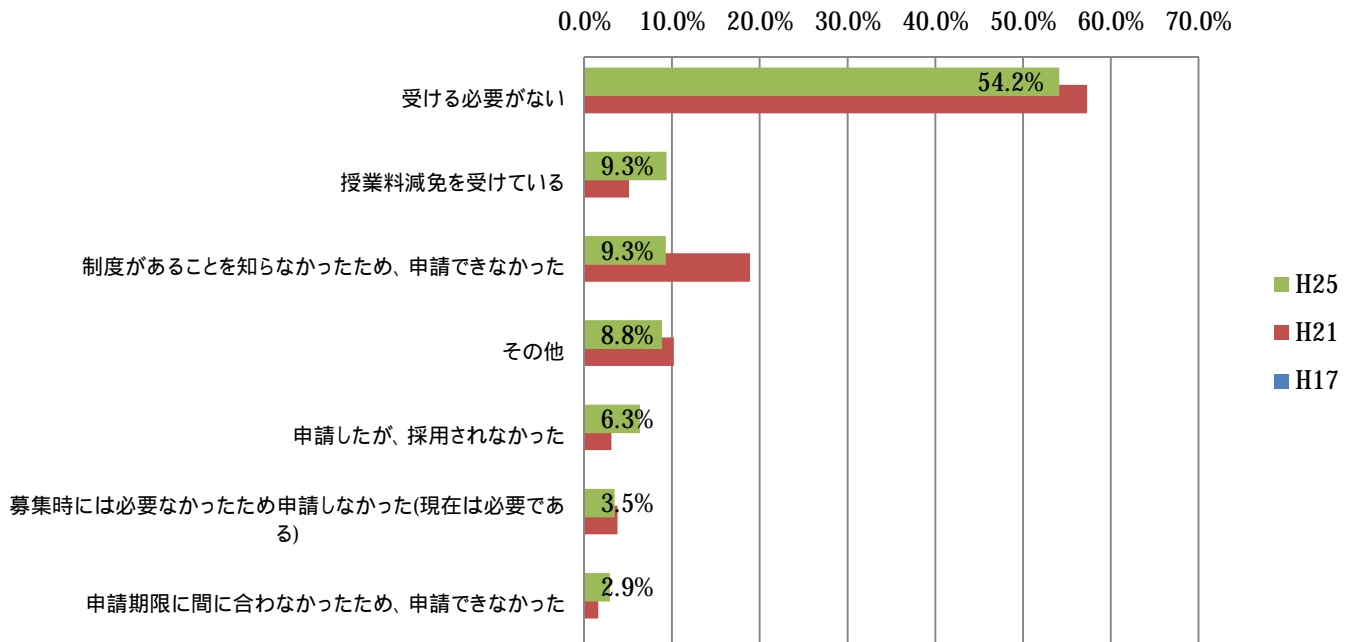
大学院生



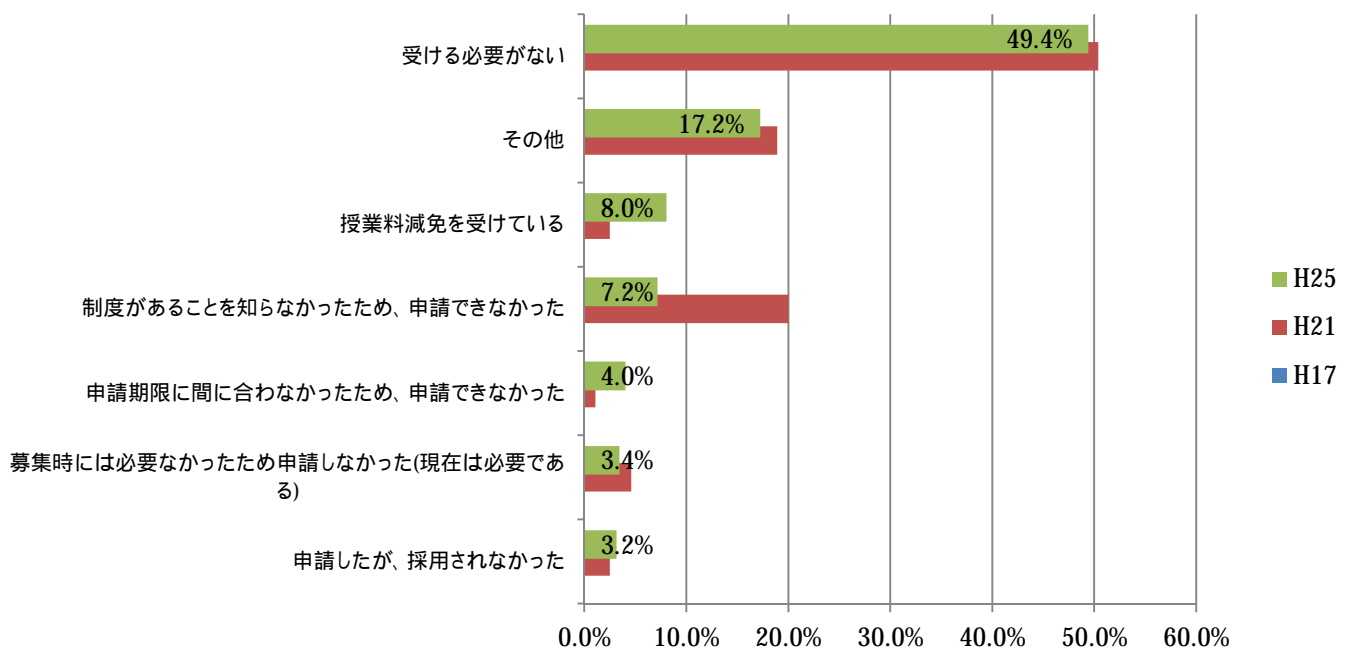
I-b 授業料の減免を受けていますか。受けていない場合、その理由は何ですか。

「減免を受けている」と回答した学生は前回よりも増加。「制度があることを知らなかった」と回答した学生は前回よりも大幅に減少した。

学部学生



大学院生

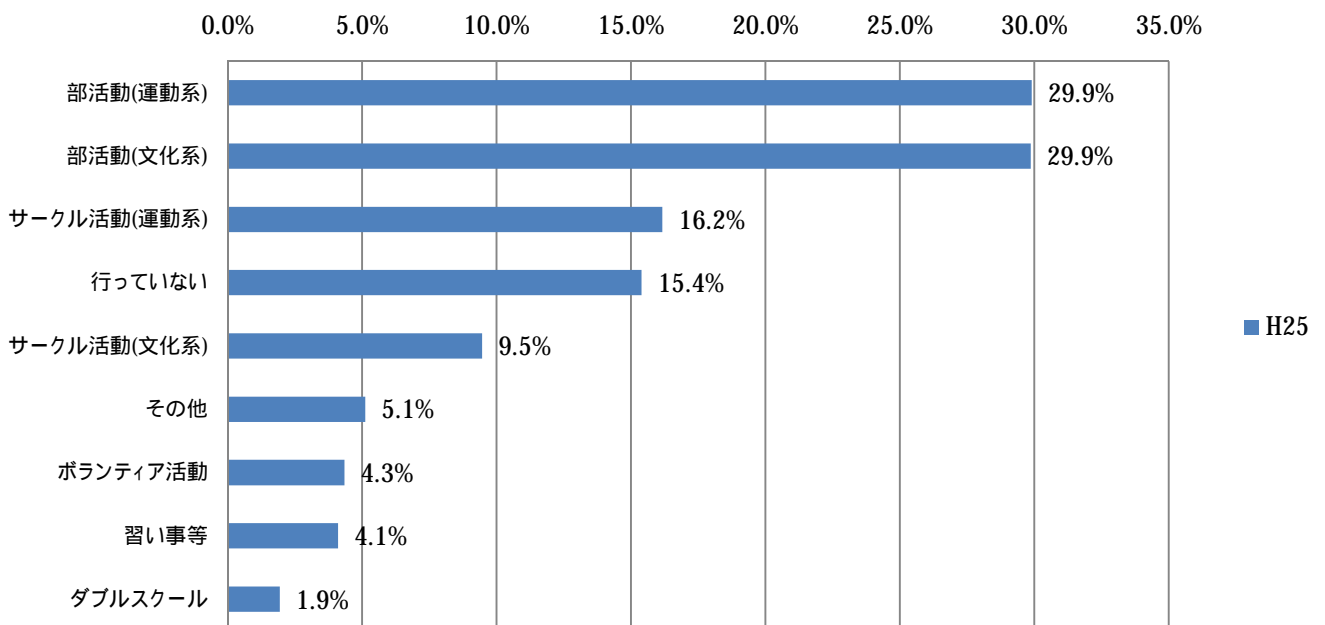


< J 生活一般について >

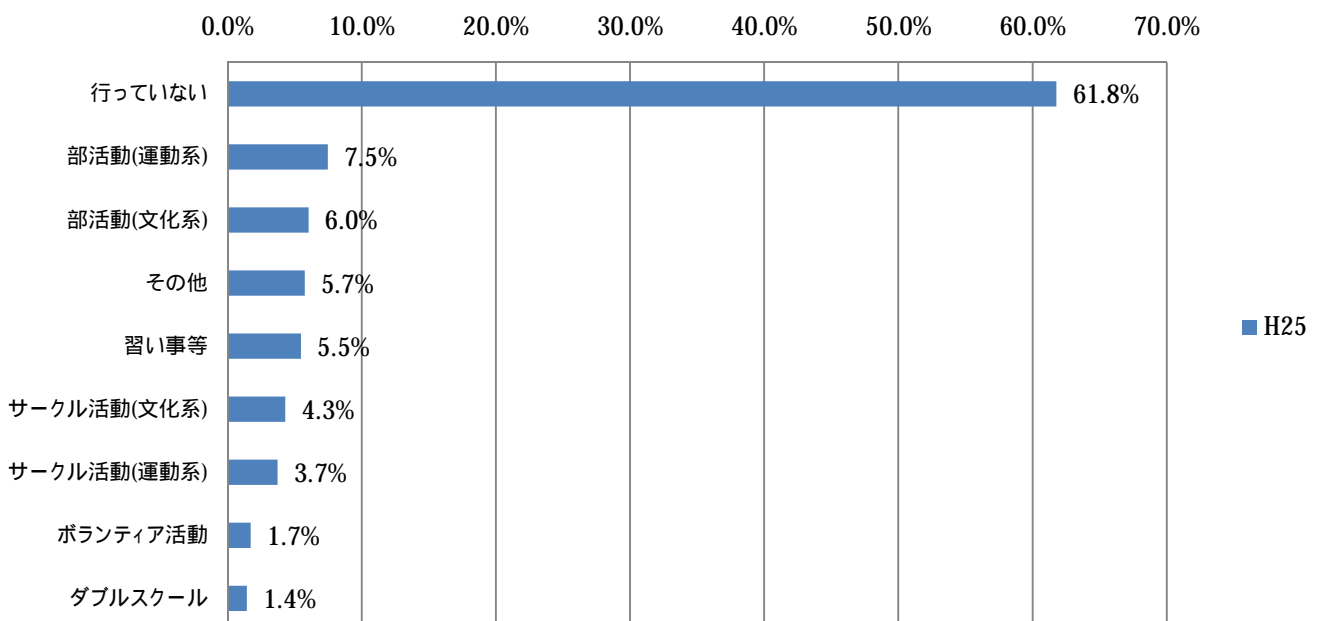
J-a 課外活動等を行っていますか。行っている場合、以下から選択して下さい。
 (複数回答可)

学部学生では運動部、文化部ともに約3割の学生が部活動に参加している。部活動やサークルへの参加学生は前回調査時よりも増加の傾向。一方大学院生では6割の学生が課外活動を行っていない。

学部学生



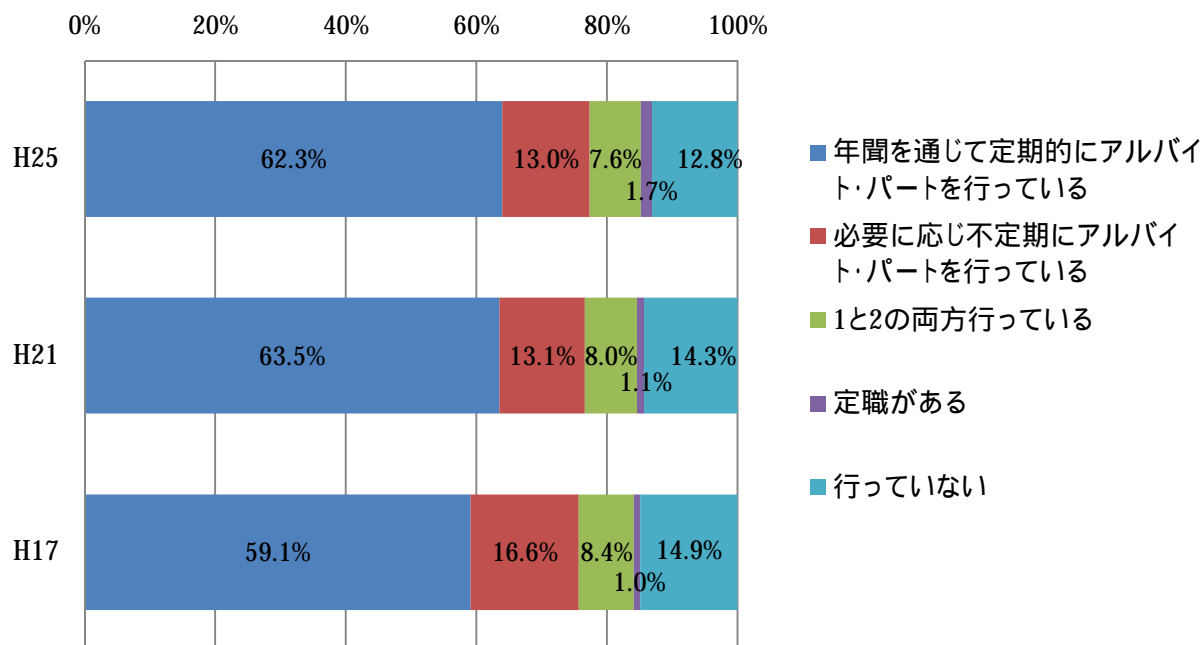
大学院生



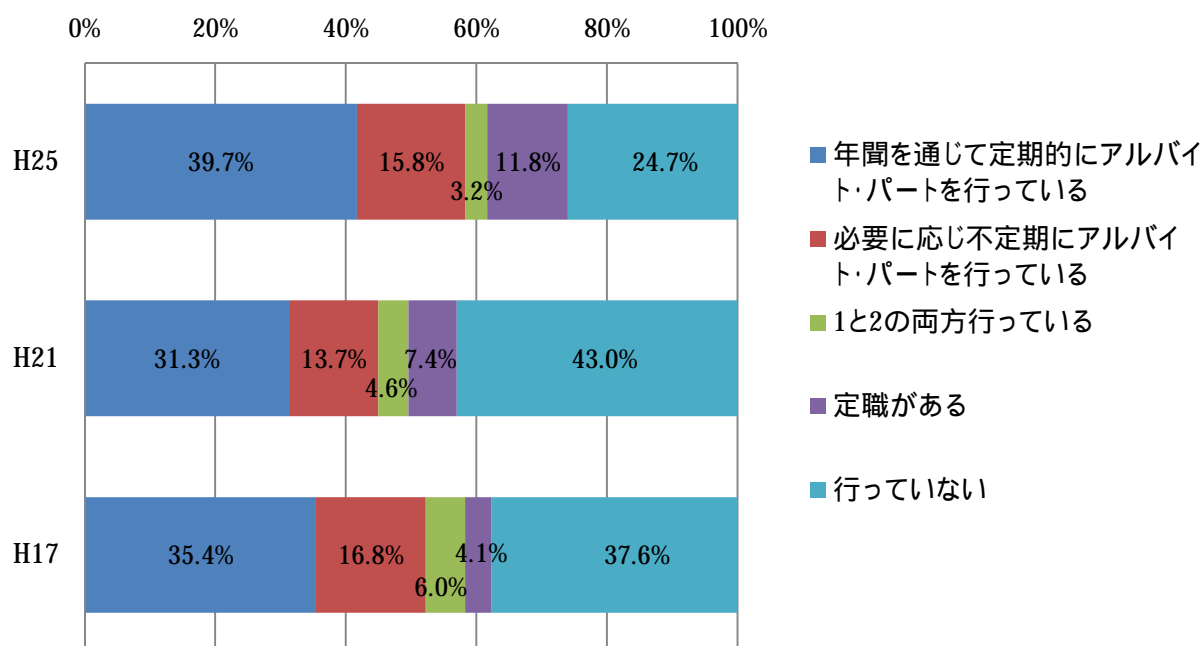
J-b アルバイト等を行っていますか。

学部学生が6割以上の割合で定期的なアルバイトを行っているのに対し、大学院生は4割弱となっている。前回調査との比較では、アルバイトを行っていない大学院生が大幅に減少した。

学部学生



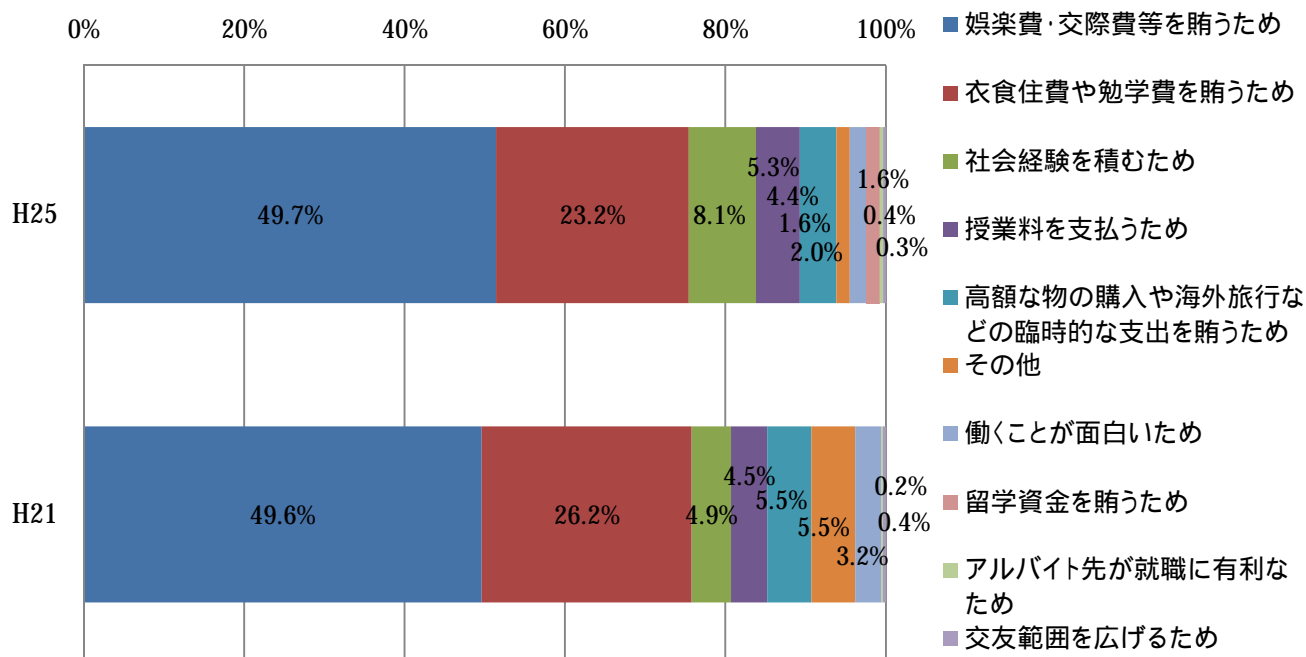
大学院生



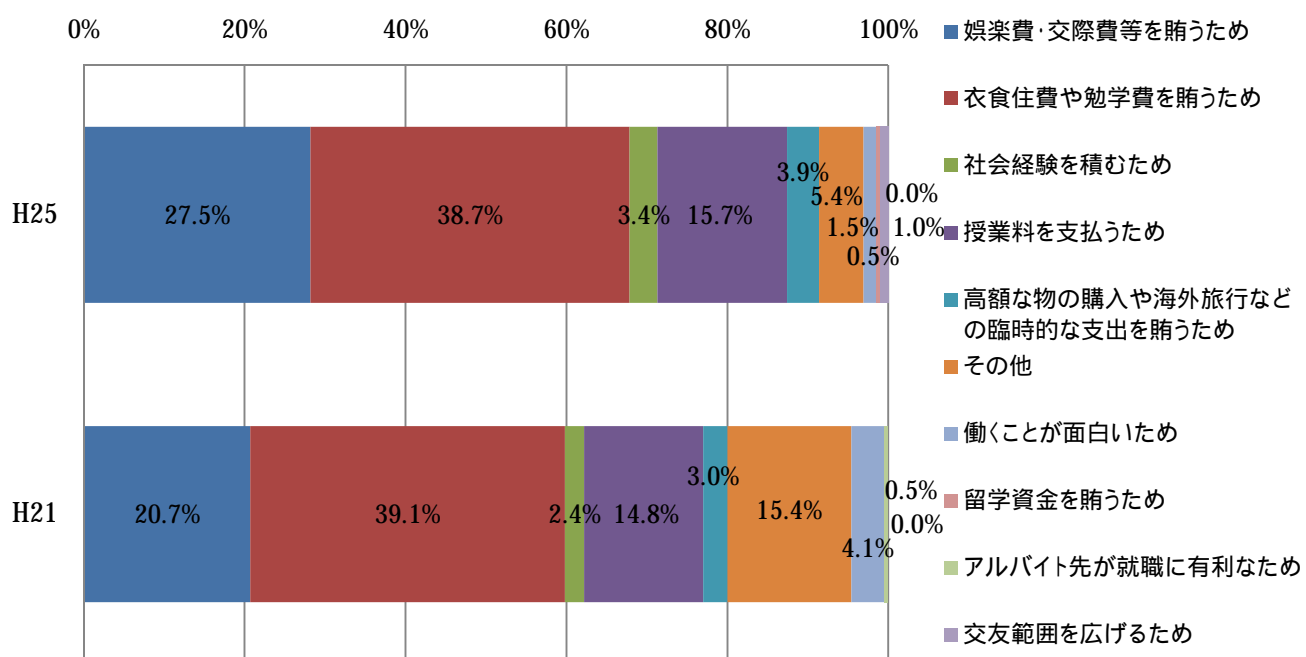
J-c アルバイト等を行っている方にお尋ねします。
 アルバイト等の主たる目的は何ですか。

学部学生が「娯楽費・交際費等を賄うため」が最も多い回答だったのに対し、大学院生では「衣食住費や
 勉学費を賄うため」と回答した学生が最も多かった。

学部学生



大学院生



J-d 授業期間中の生活時間を、項目毎に、1日当たりの平均時間をマークしてください。

学部学生では、「授業時間以外の勉学・研究時間」が増加傾向にある。

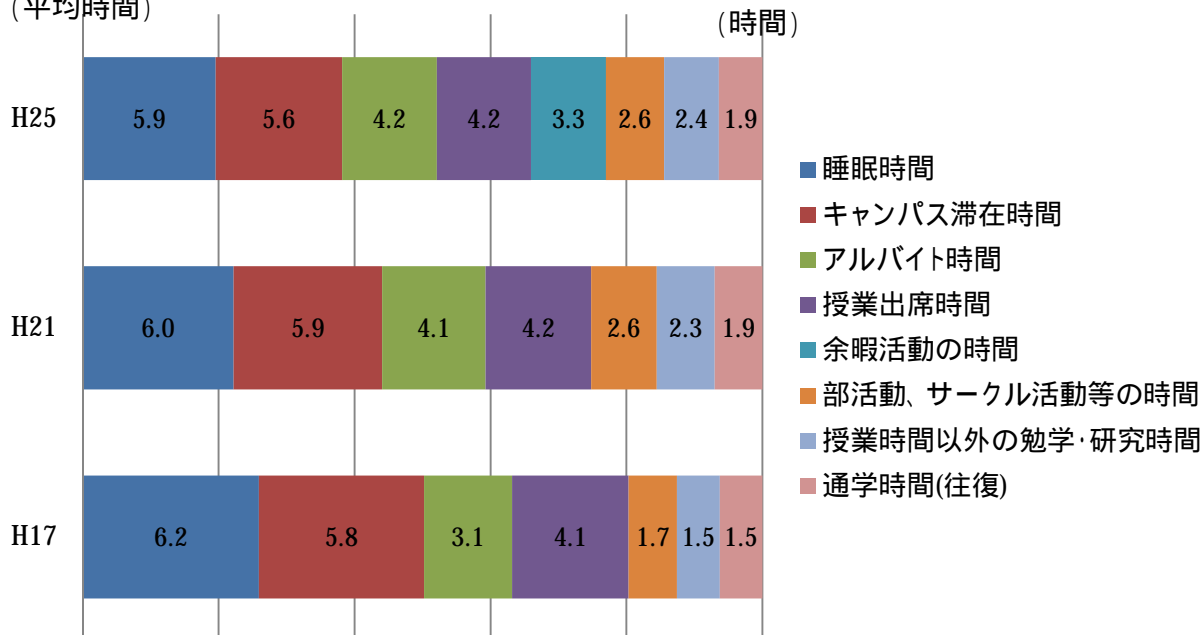
大学院生では、「授業出席時間」が増加している。

最も滞在時間が長いのは鶴見キャンパスに所属する学生で、平均8.5時間だった。

以下のグラフは平均時間を表しています。

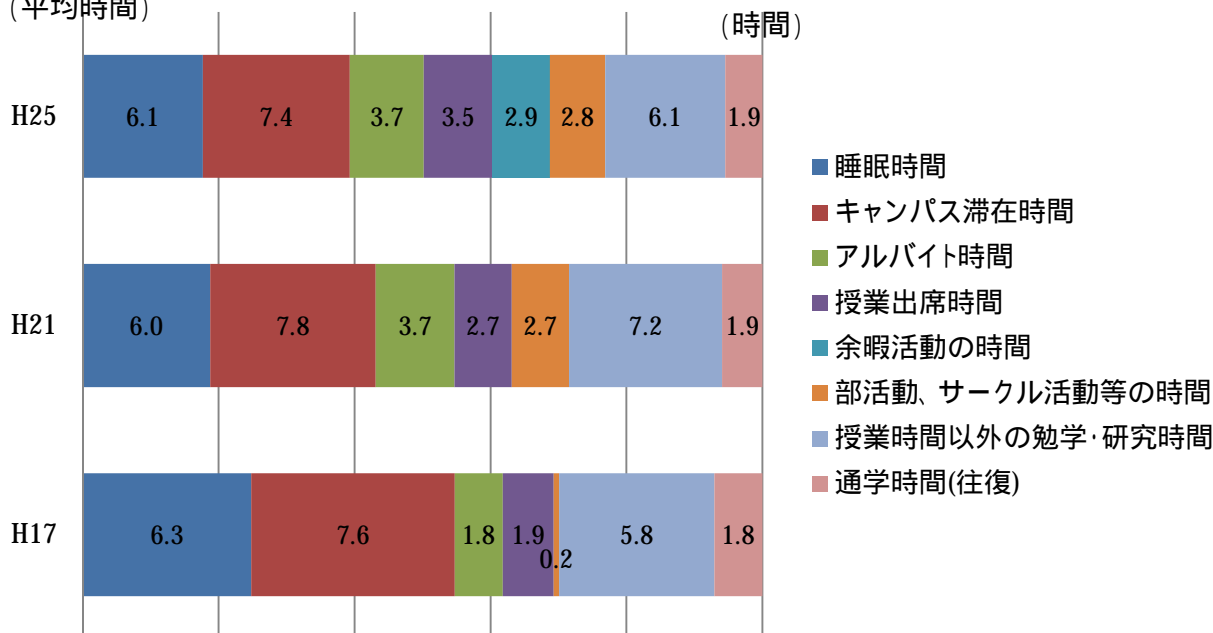
学部学生

(平均時間)



大学院生

(平均時間)

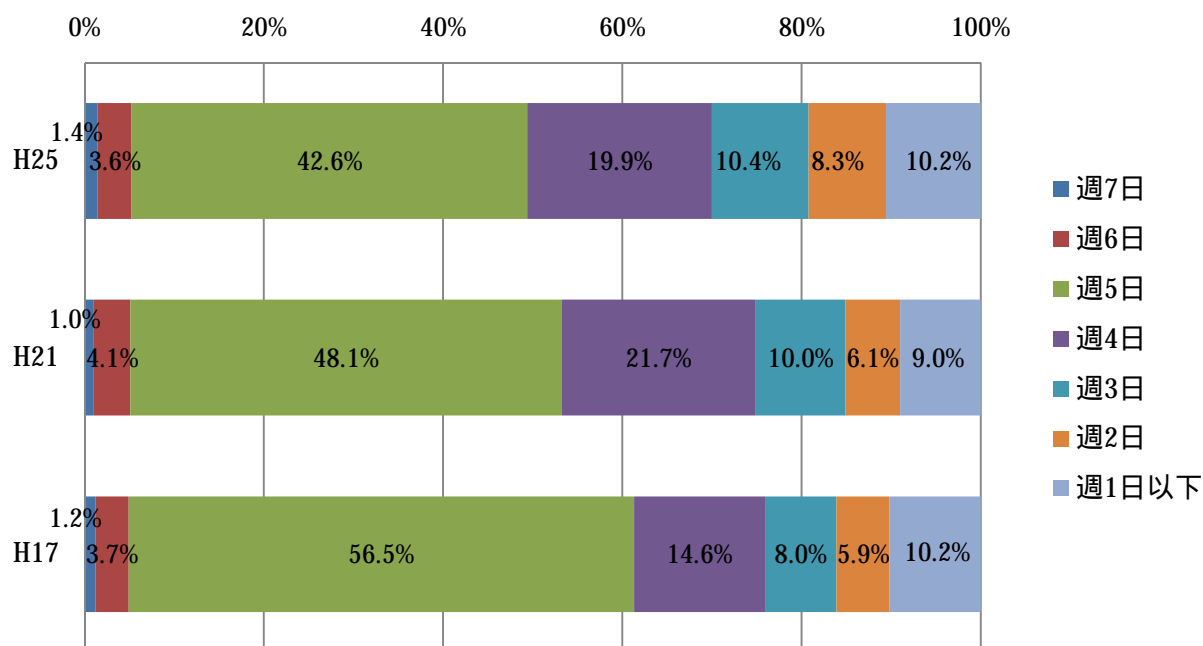


J-e 今学期、授業(講義、実習、ゼミ、研究)のために登校している日は平均して週何日ですか。

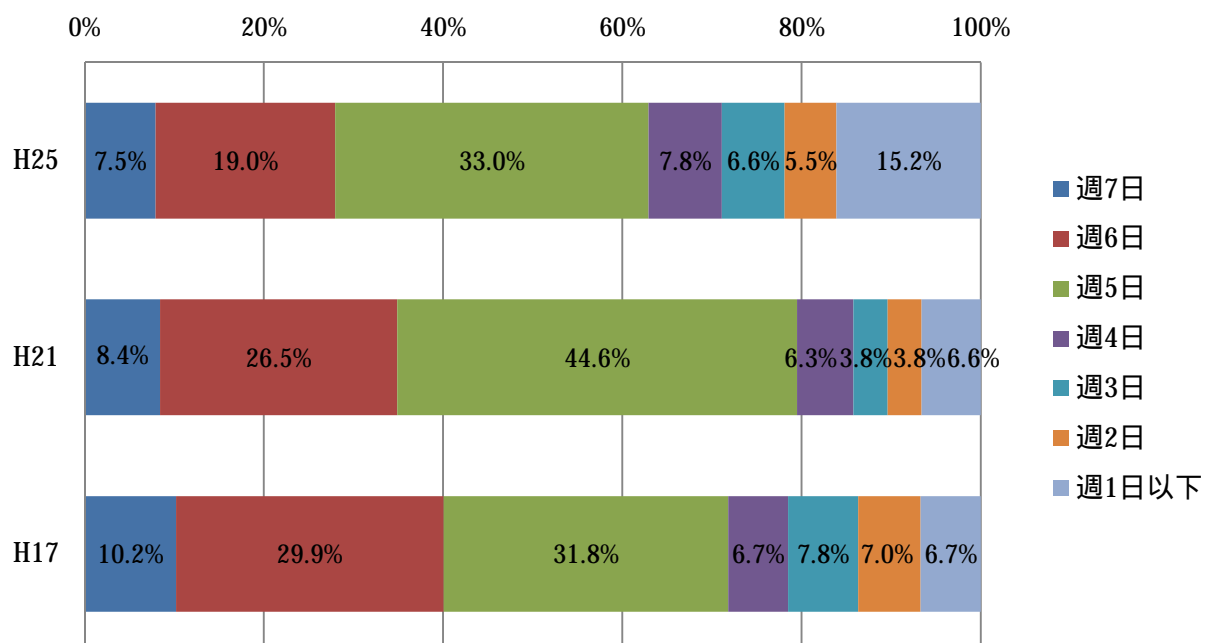
学部学生は登校日数が減少傾向にある。

大学院生では、「週1日以下」と回答した学生が前回調査時よりも大幅に増加した。

学部学生



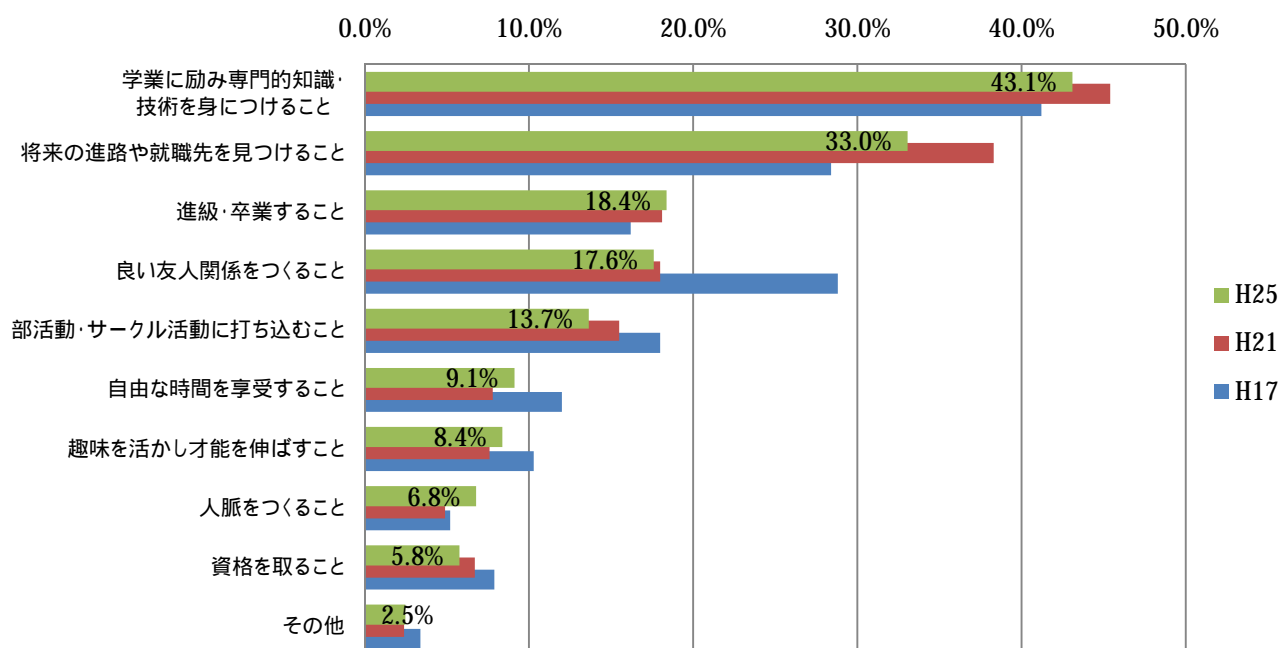
大学院生



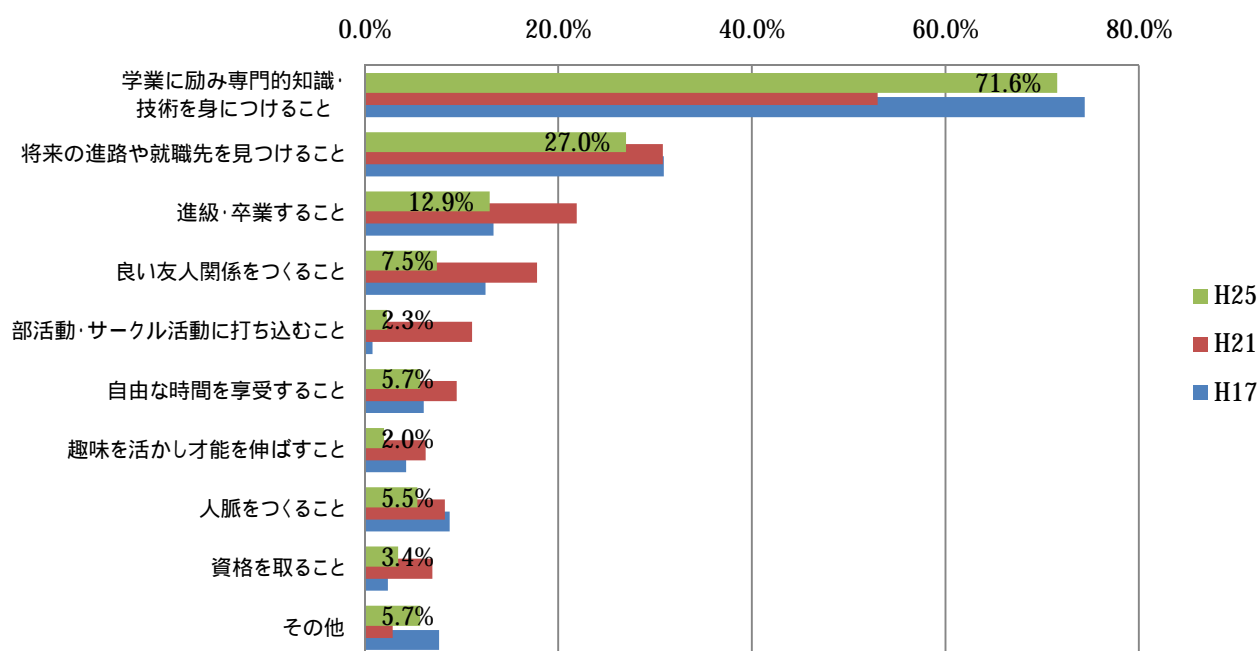
J-f あなたが大学生活の中で重視していることは何ですか。 (回答2つまで)

学部学生、大学院生ともに、前回の調査同様「学業に励み専門的知識・技術を身につけること」、「将来の進路や就職先を見つけること」を重視すると回答した学生が多数を占める結果となった。大学院生では特に前者を重視すると回答した学生が増加した。

学部学生



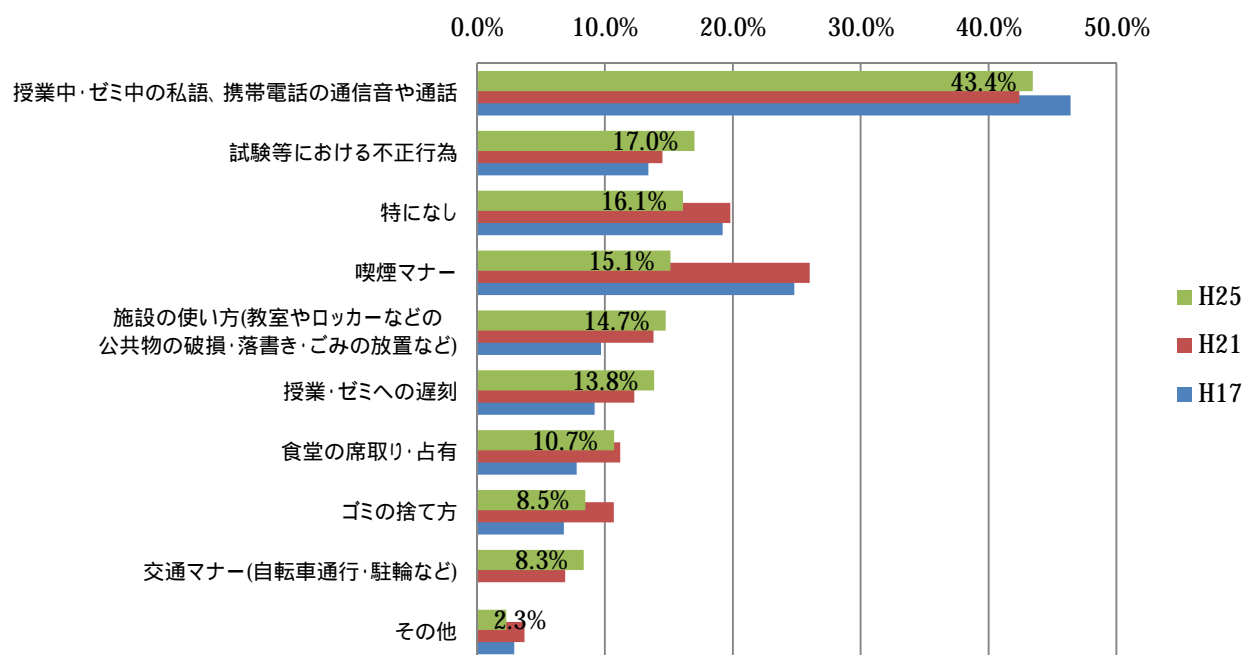
大学院生



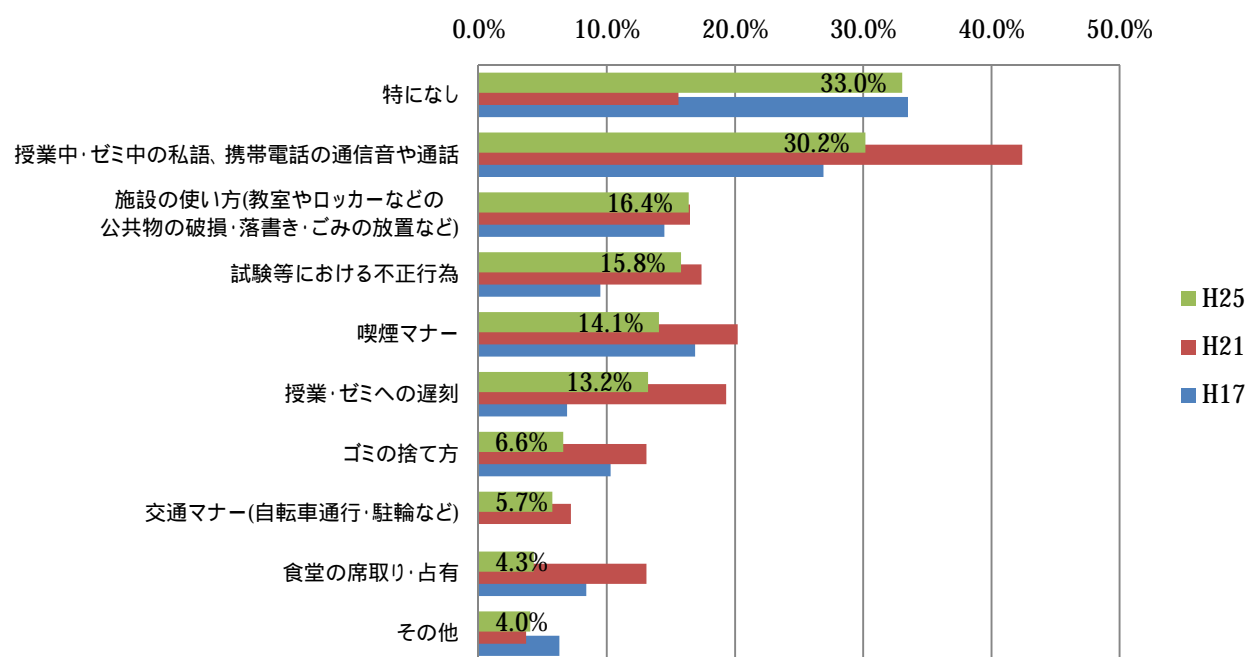
J-g 学内で、学生のマナーが悪く、許容できないと思われる項目は何ですか。
 (複数回答可)

学部学生では、前回調査時と同様に「授業中・ゼミ中の私語、携帯電話の通信音や通話」との回答が一番多かった。大学院生では「特になし」が増加。全体で「喫煙マナー」や「ゴミの捨て方」については減少傾向。

学部学生



大学院生

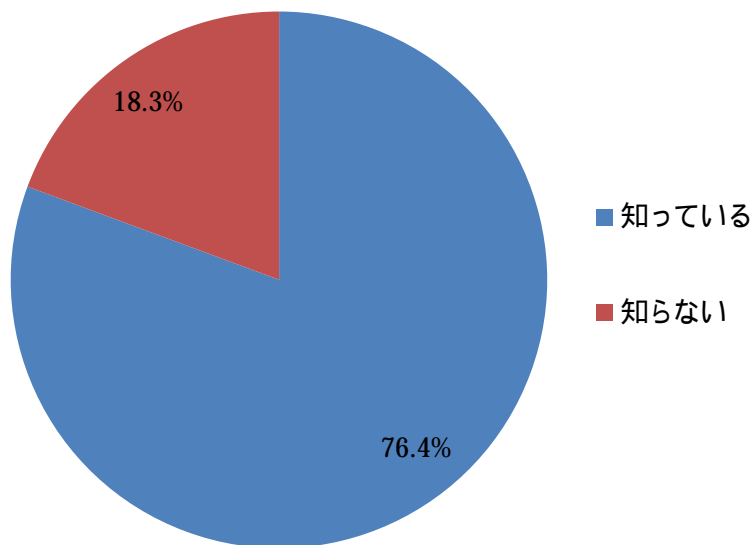


<K 保健管理センターについて>

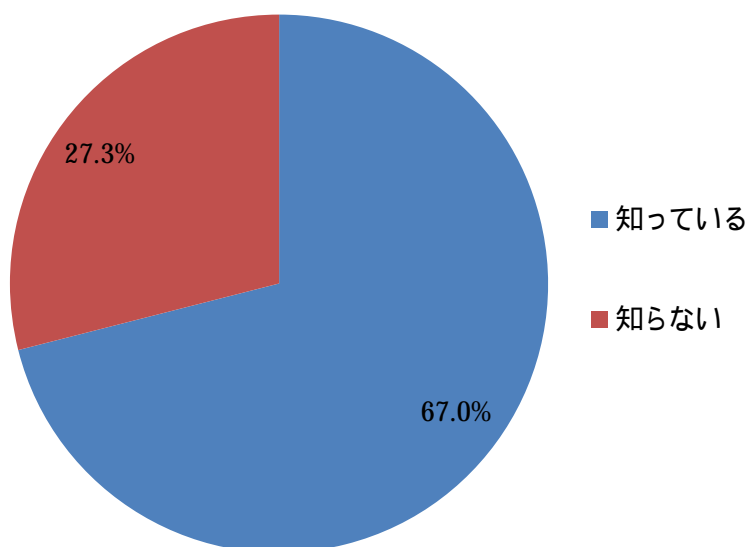
K-a 本学に保健管理センターがあることを知っていますか。

学部学生では8割近い学生が存在を認知しているが、大学院生の認知度は7割を切っている。

学部学生



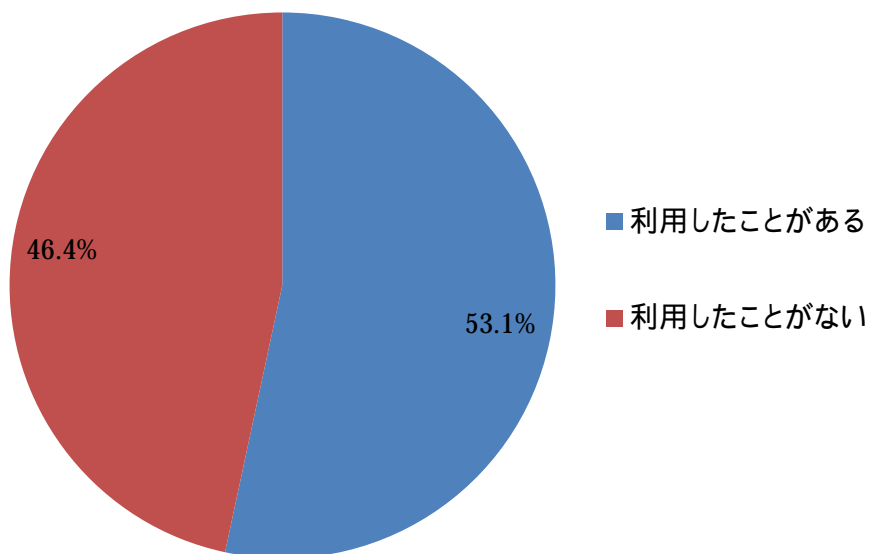
大学院生



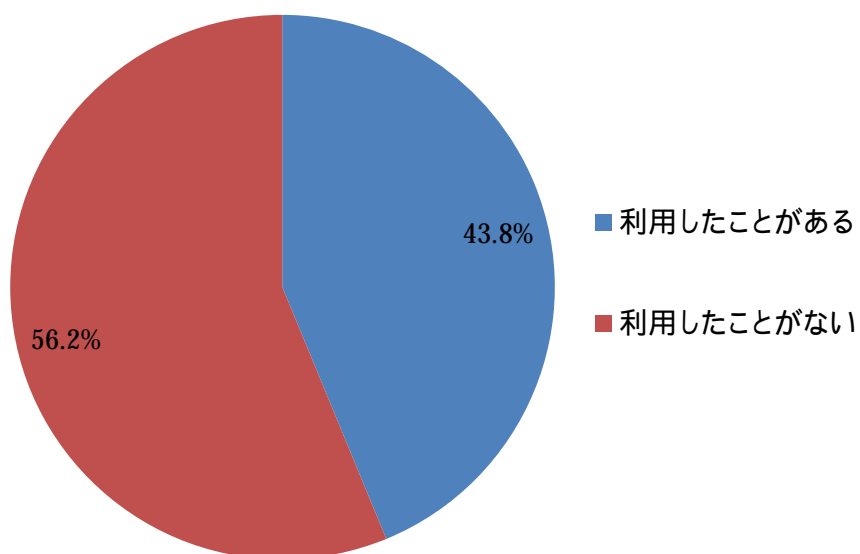
K-b K-aで「知っている」と答えた方にお尋ねします。
利用したことはありますか。

保健管理センターの存在を「知っている」と回答した学生のうち、学部学生の半数以上は「利用したことがある」と回答したのに対し、大学院生では半数以下となった。

学部学生



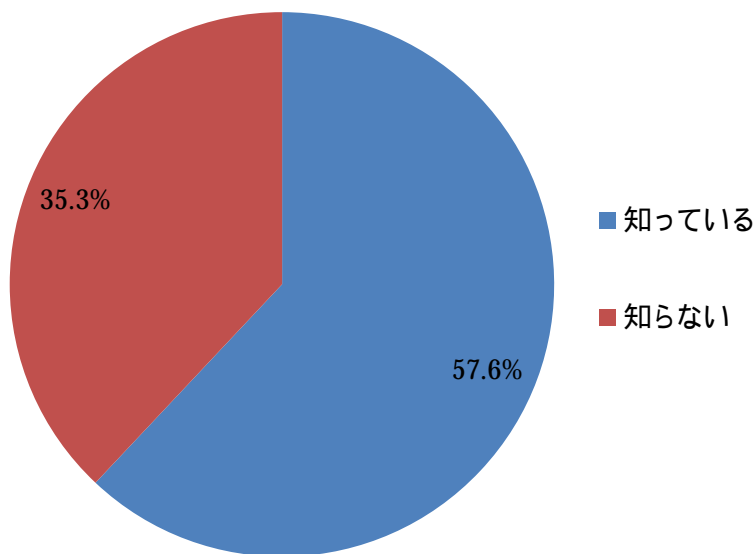
大学院生



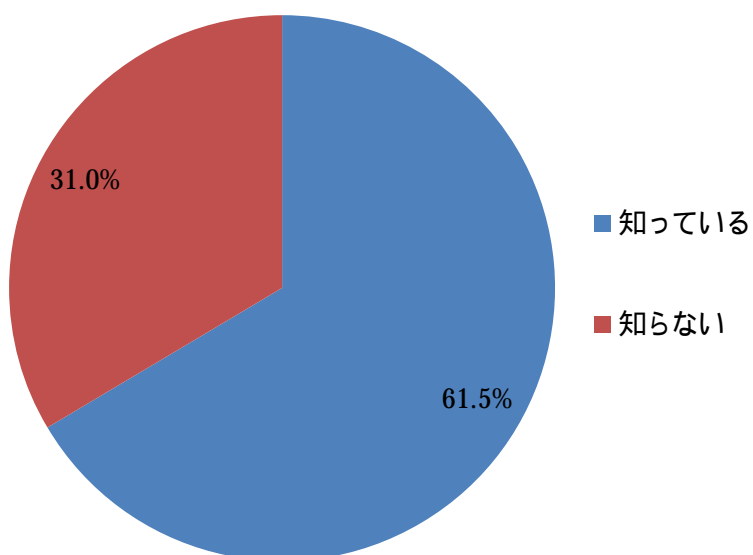
K-c それぞれのキャンパスに学生対象の相談窓口(キャンパス相談、学生相談、健康管理室の相談等)があることを知っていますか。

各キャンパスの相談窓口についても、半数以上が「知っている」と回答した。相談窓口の認知度は学部学生よりも大学院生の方が高い結果となった。

学部学生



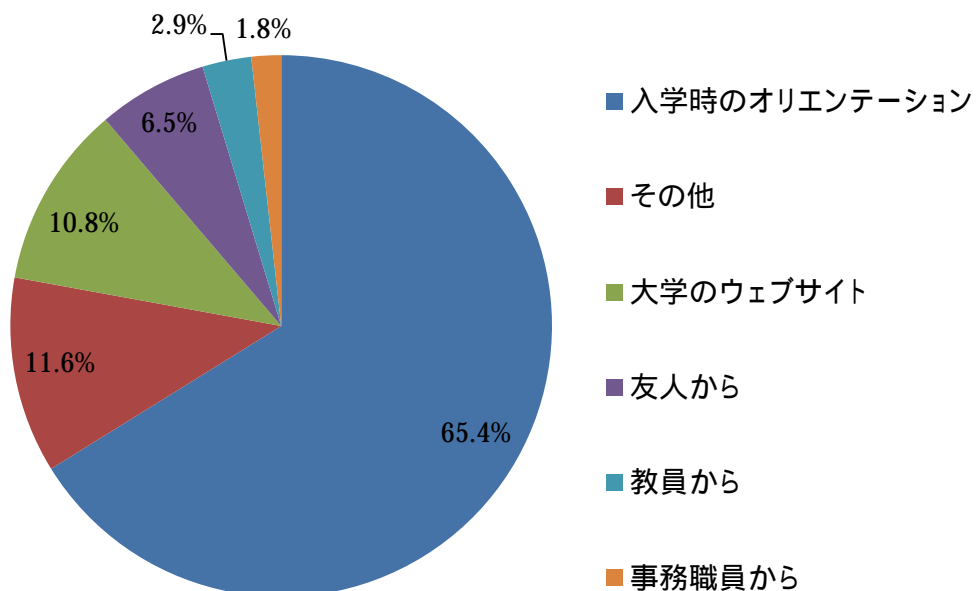
大学院生



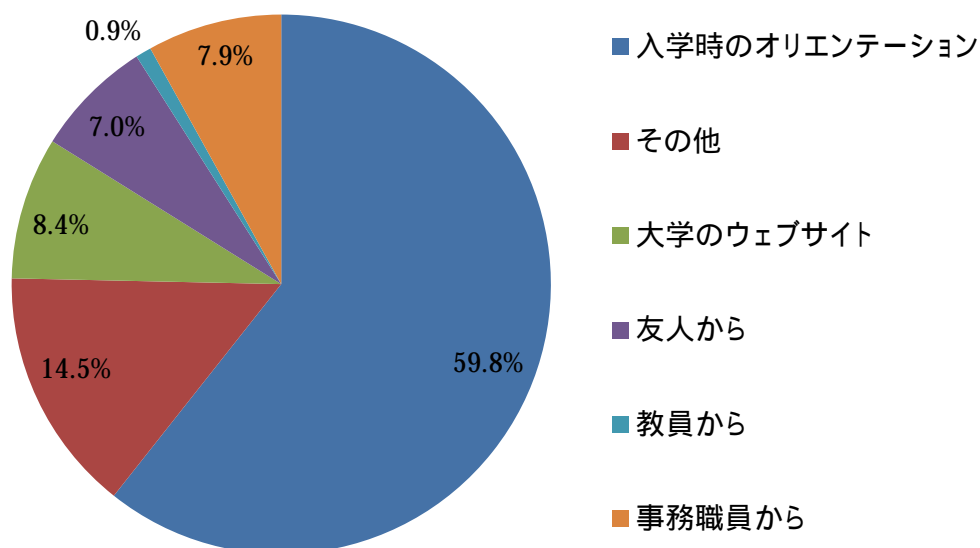
K-d K-cで「知っている」と答えた方にお尋ねします。
学生対象の相談を何で知りましたか。

学生対象の相談については多くの学生が入学時のオリエンテーションで知ったと回答した。

学部学生



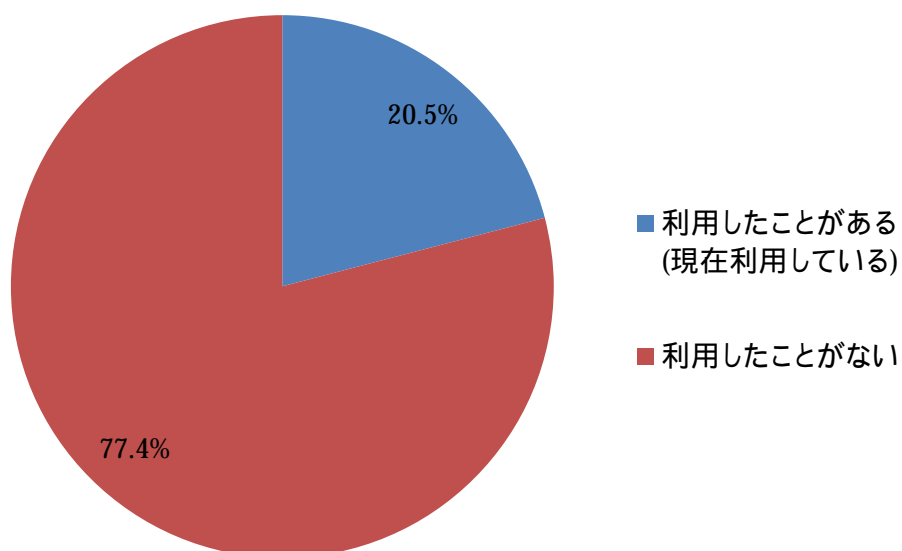
大学院生



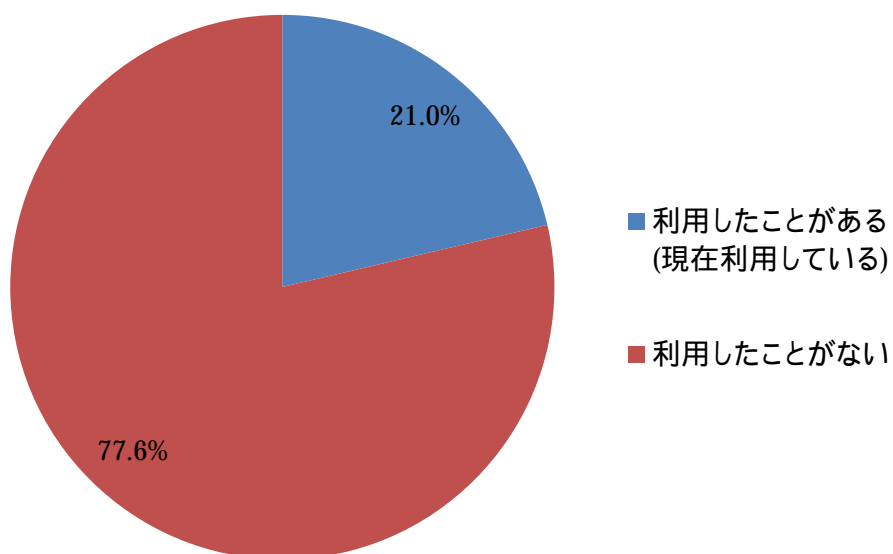
K-e K-cで「知っている」と答えた方にお尋ねします。
利用したことはありますか。

学生相談窓口を知っていると回答した学生のうち、「利用したことがある」と回答した学生は約2割程度だった。

学部学生



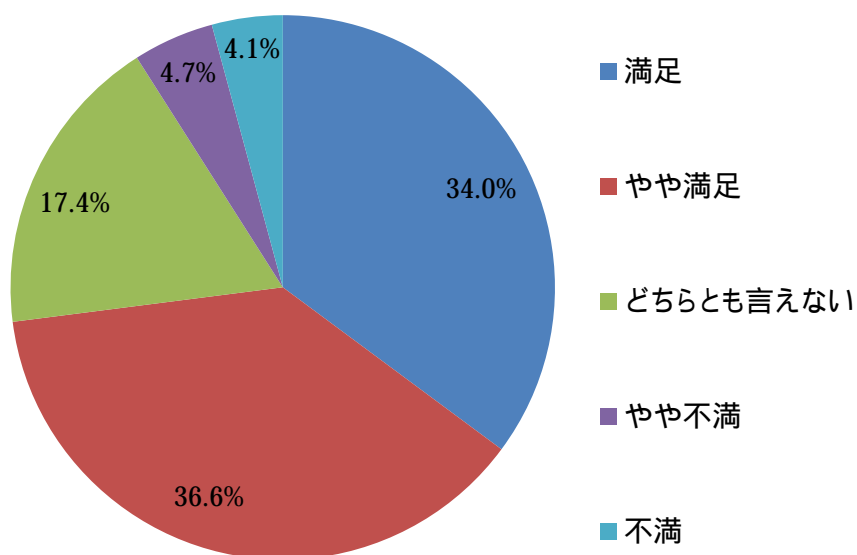
大学院生



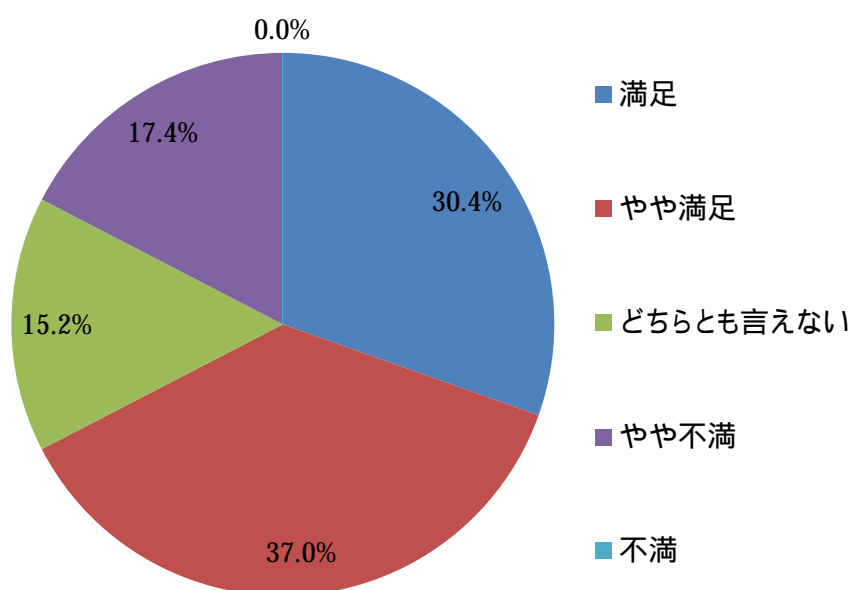
K-f K-eで「利用したことがある(現在利用している)」と答えた方にお尋ねします。利用した満足度を教えてください。

学生対象の相談窓口を利用したことがある学生の満足度は、約7割が「満足」あるいは「やや満足」と回答した。

学部学生



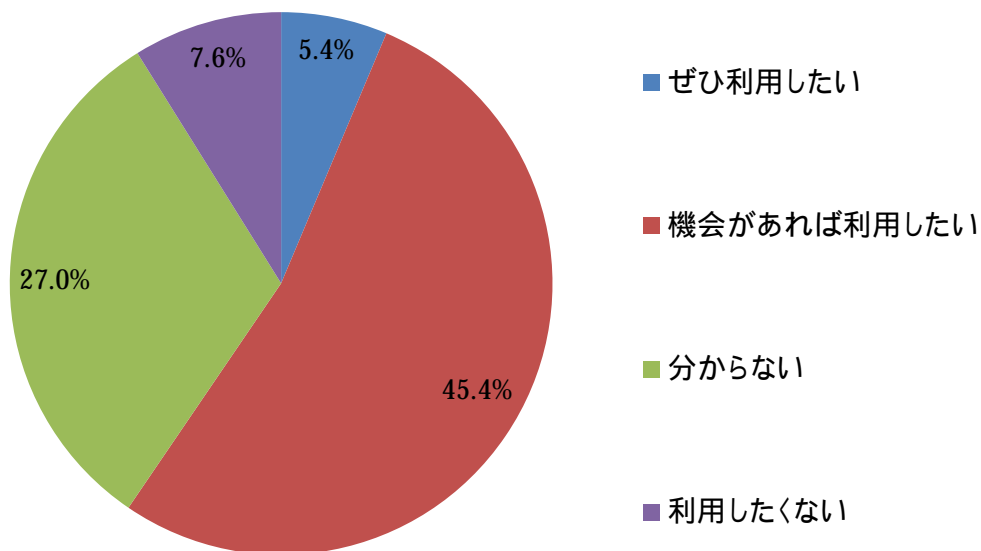
大学院生



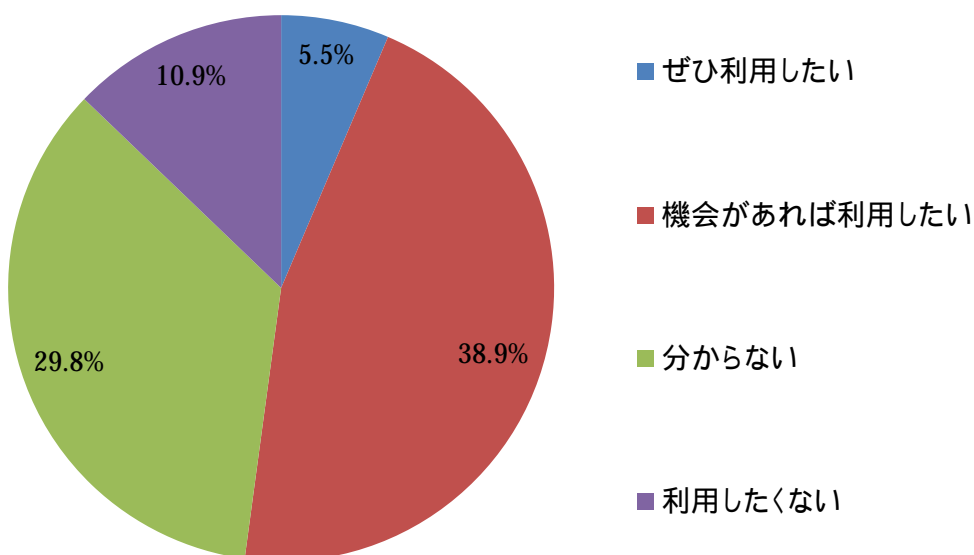
K-g K-cで「知らない」あるいはK-eで「利用したことがない」と答えた方にお尋ねします。今後利用したいと思いますか。

「知らない」「利用したことがない」と回答した学生のうち、全体で5割の学生が「ぜひ利用したい」「機会があれば利用したい」と回答した。

学部学生



大学院生

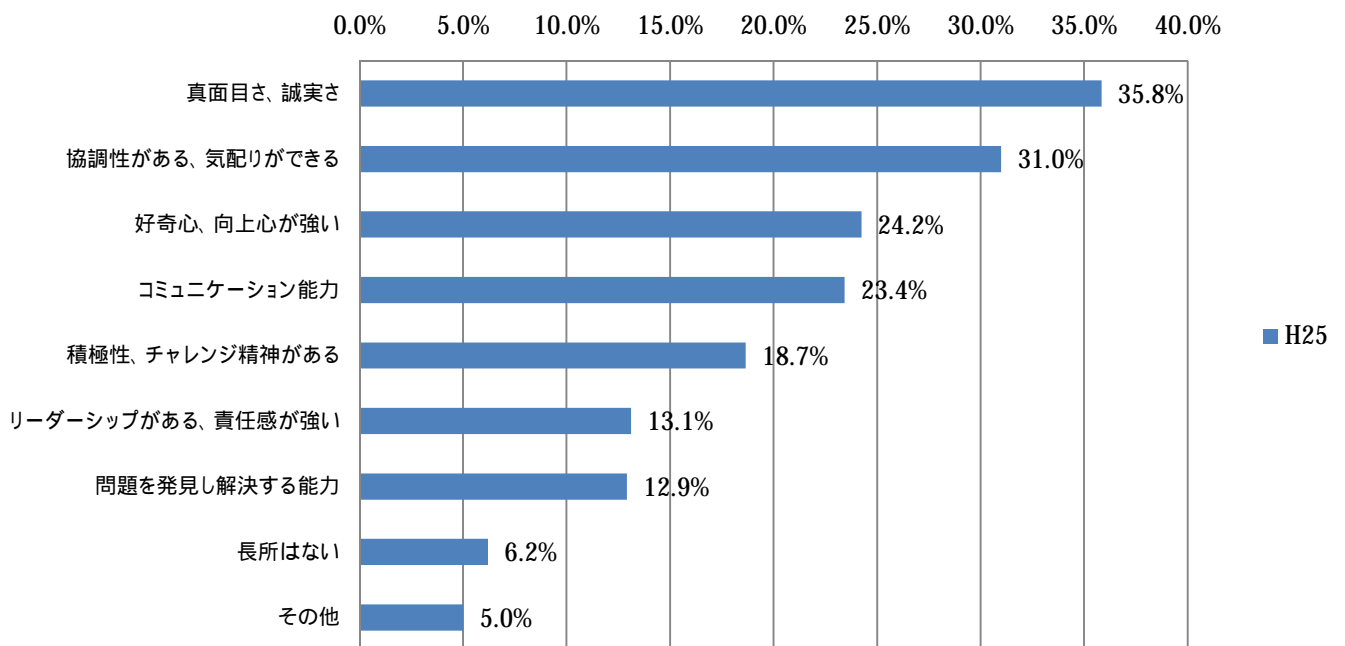


<L あなた自身について>

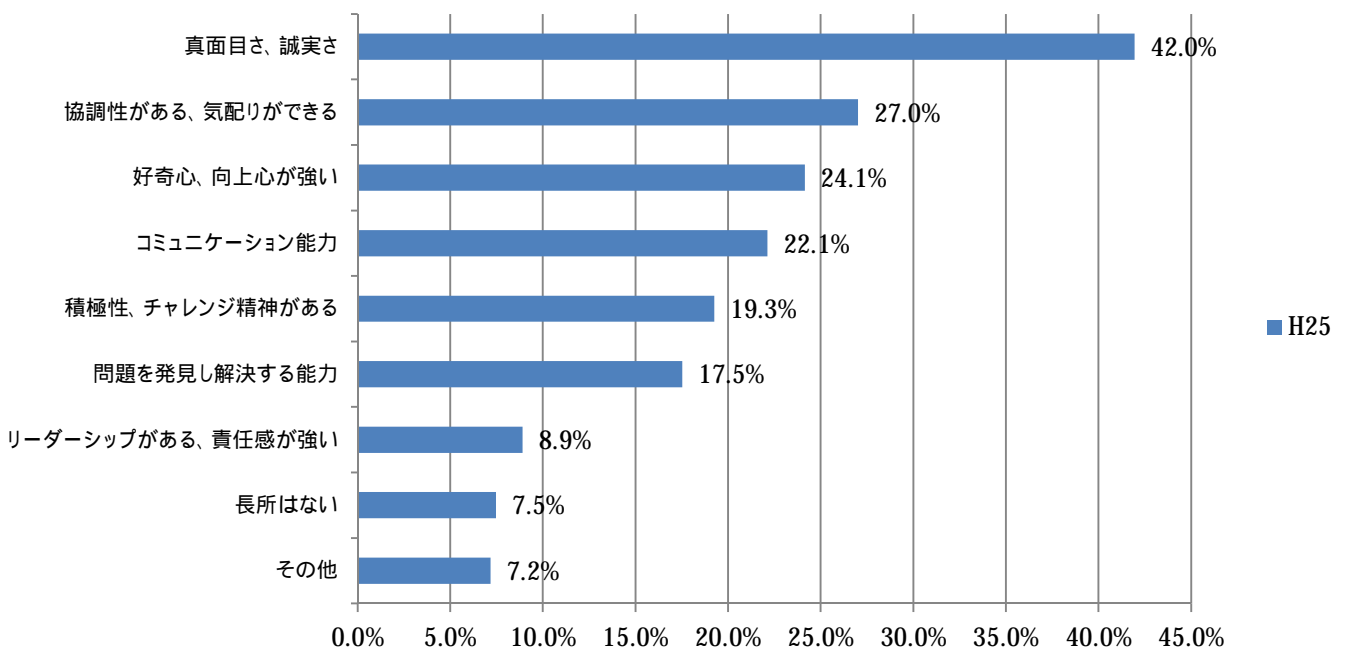
L-a 自分で長所だと思う点はどれですか。（複数回答可）

学部学生、大学院生ともほぼ同様の傾向。ちなみに男女別で見ると、「問題を発見し解決する能力」を長所と思う学生は、女子学生より男子学生にその傾向が強く、逆に「協調性がある・気配りができる」を長所と思っているのは、男子学生より女子学生の割合が高かった。

学部学生



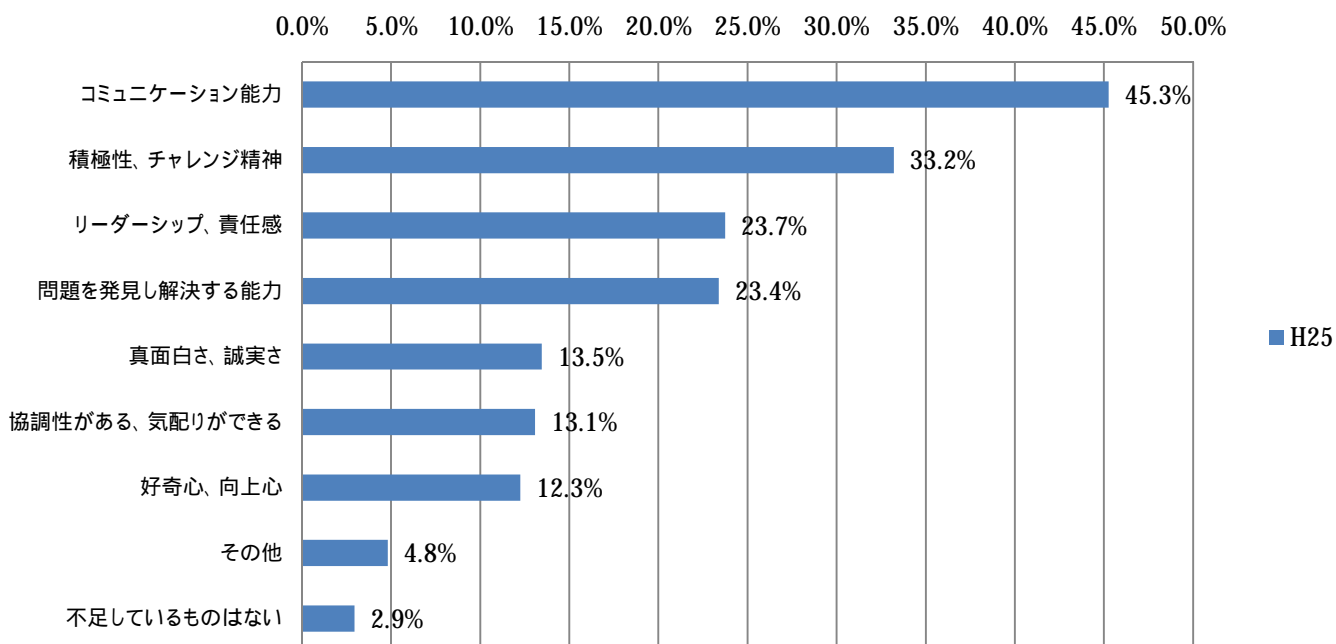
大学院生



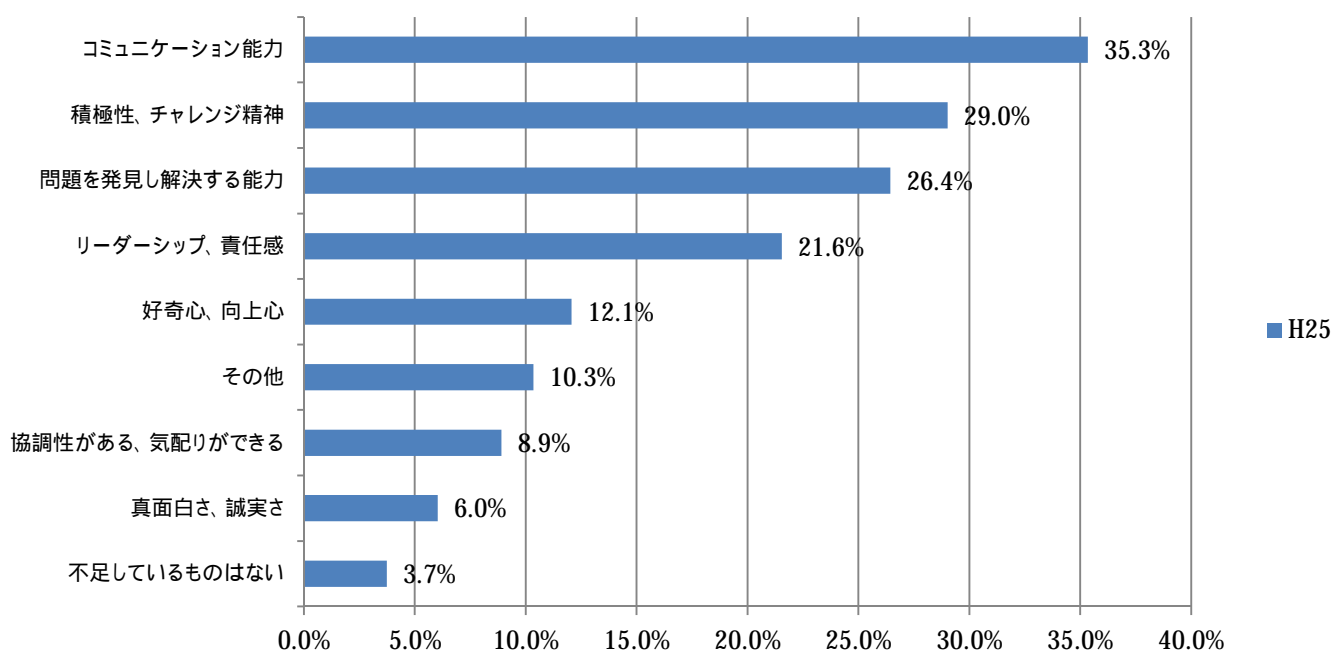
L-b 自分の能力や性格で不足しているため補いたい、伸ばしたいと思う点はどれですか。（複数回答可）

学部学生では半数近くが「コミュニケーション能力」と回答。ちなみに全体の男女別で見ると、ほぼすべての項目で男子学生よりも女子学生の回答率が高かった。

学部学生



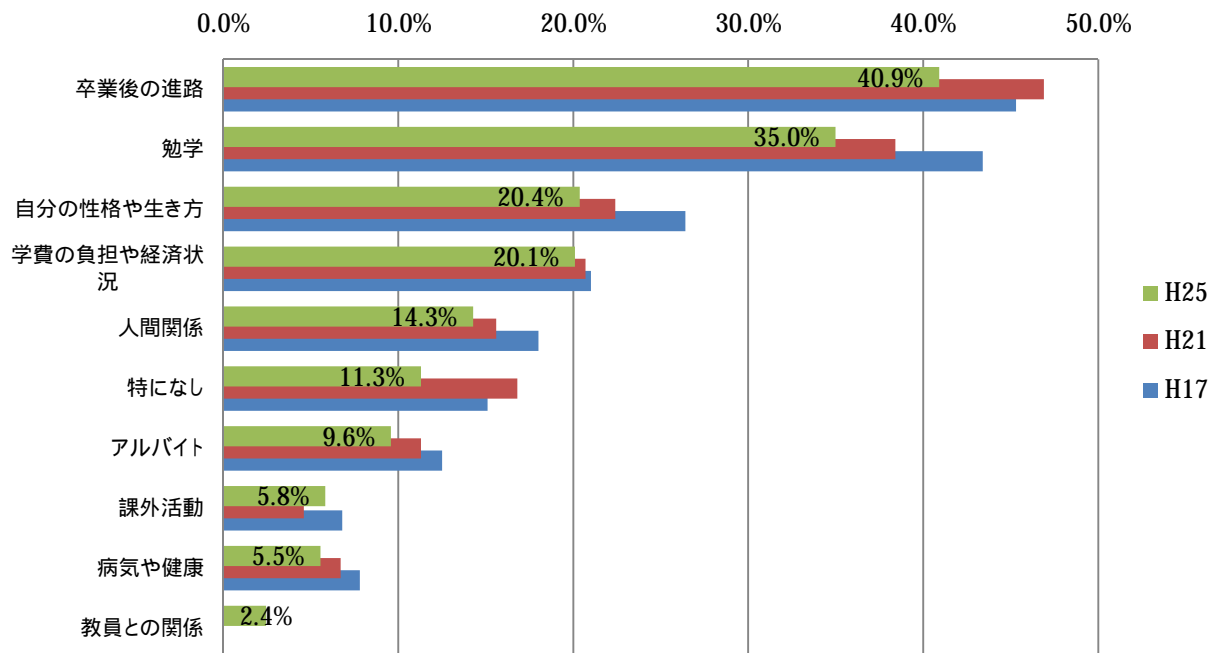
大学院生



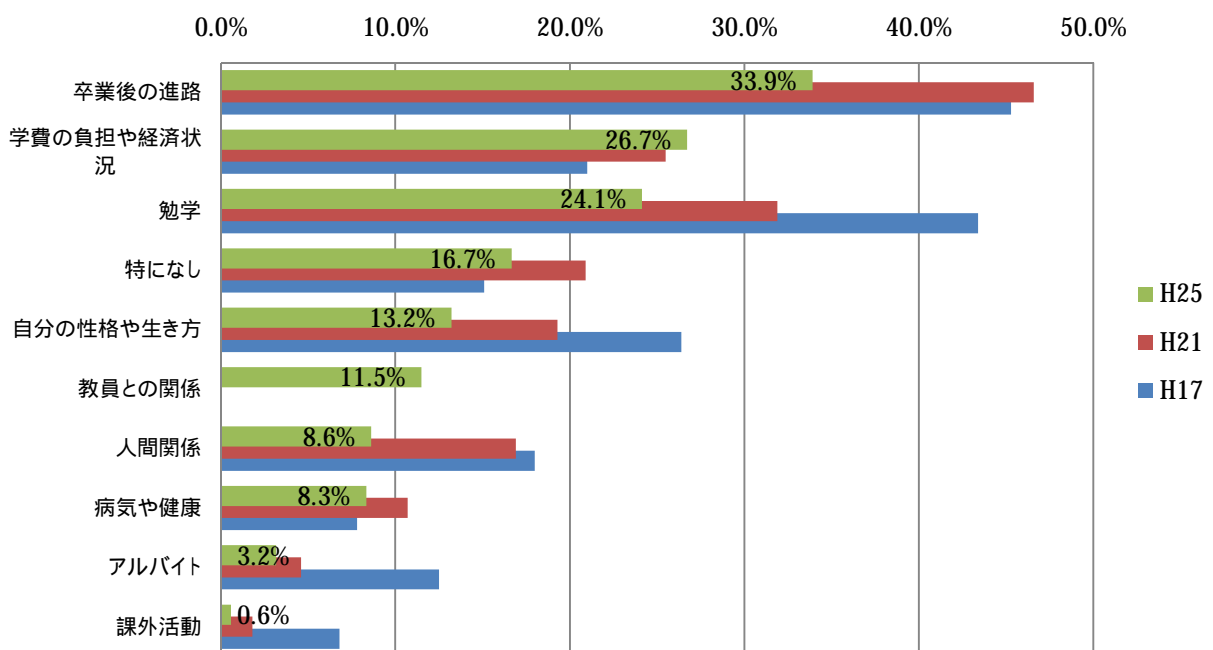
L-c 大学生活を送る上で、どのような不安や悩みがありますか。
 (複数回答可)

全体的に前回調査よりも、「卒業後の進路」や「勉学」に対する不安や悩みは減少傾向。大学院生では教員との関係に不安や悩みを抱える学生が1割程度存在する。

学部学生



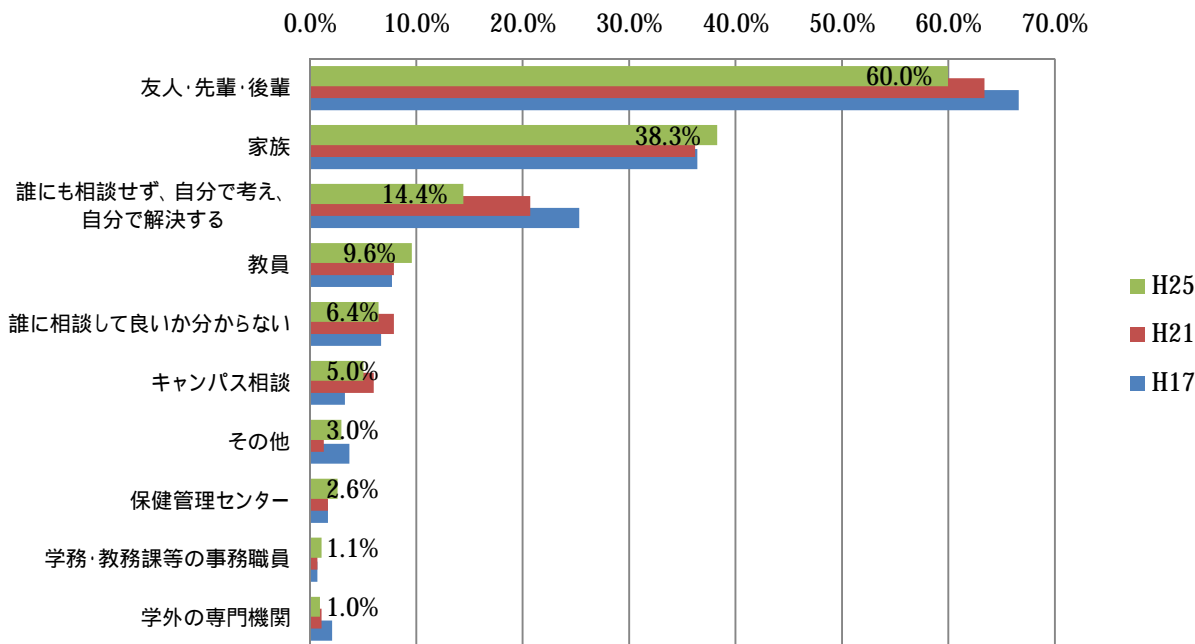
大学院生



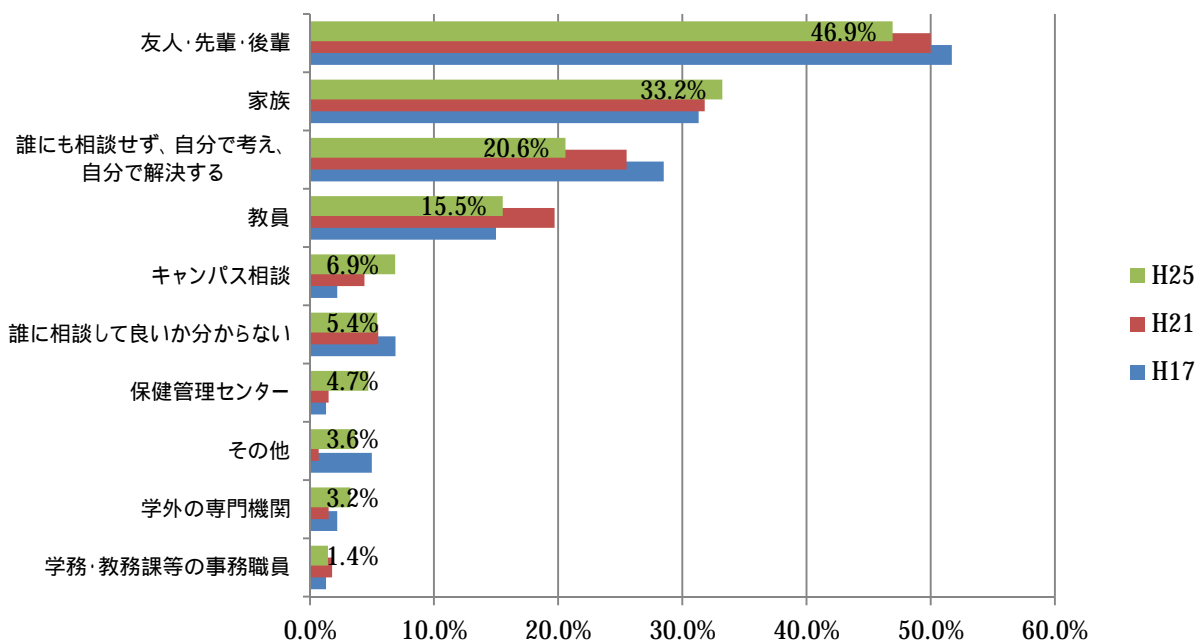
L-d L-cで(1)～(9)を選んだ方にお尋ねします。
 悩みを解決するための相談相手を選んで下さい。(複数回答可)

全体的に「キャンパス相談」や「保健管理センター」といった大学の相談窓口を利用する割合が増加した。
 また、「自分で解決する」と回答した学生は減少している。

学部学生



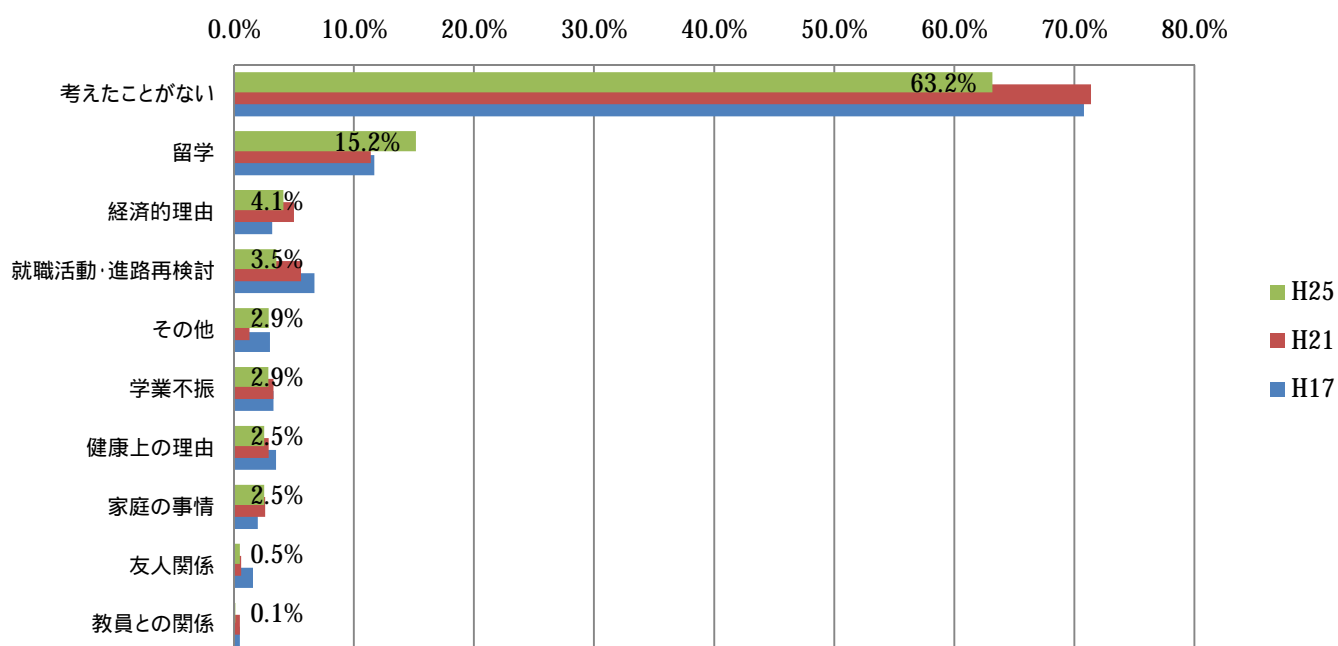
大学院生



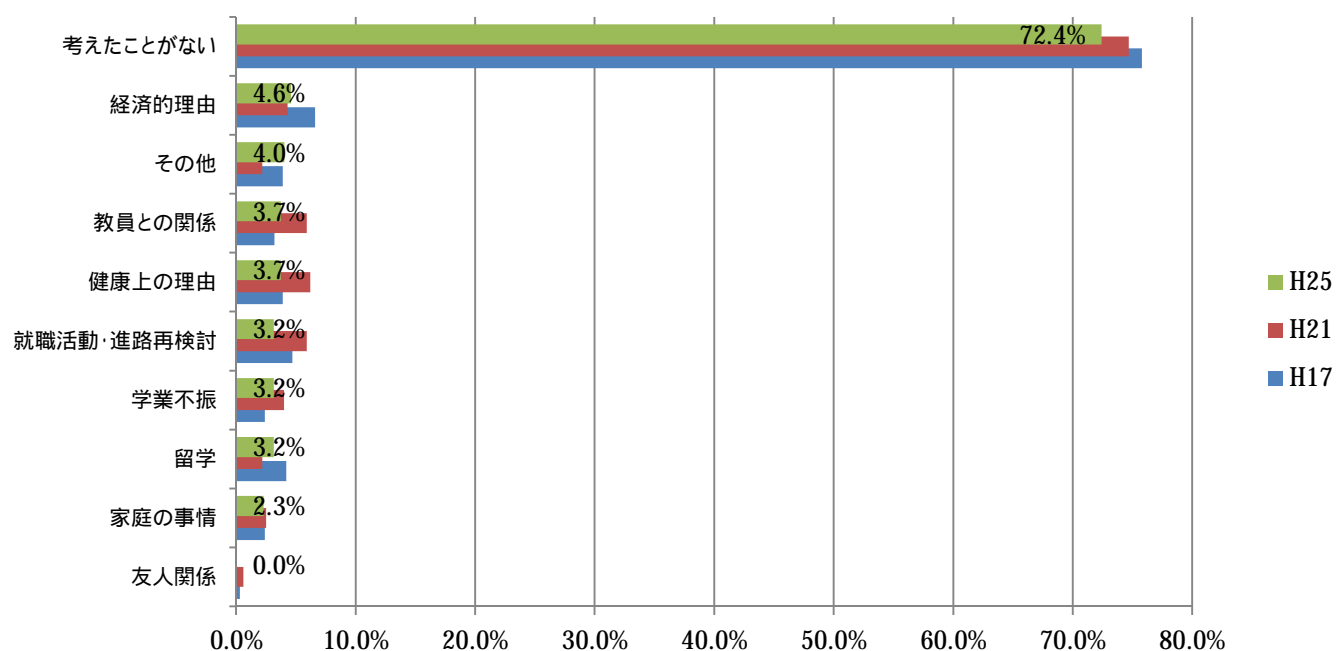
L-e あなたは現在までに「休学」を考えたことがありますか。
 考えたことがある場合、その理由は何ですか。（複数回答可）

学部学生では6割以上、大学院生では約7割以上の学生が休学を「考えたことがない」と回答。
 学部学生では「留学」の為に休学を考えたことがあると回答した学生が若干増加した。

学部学生



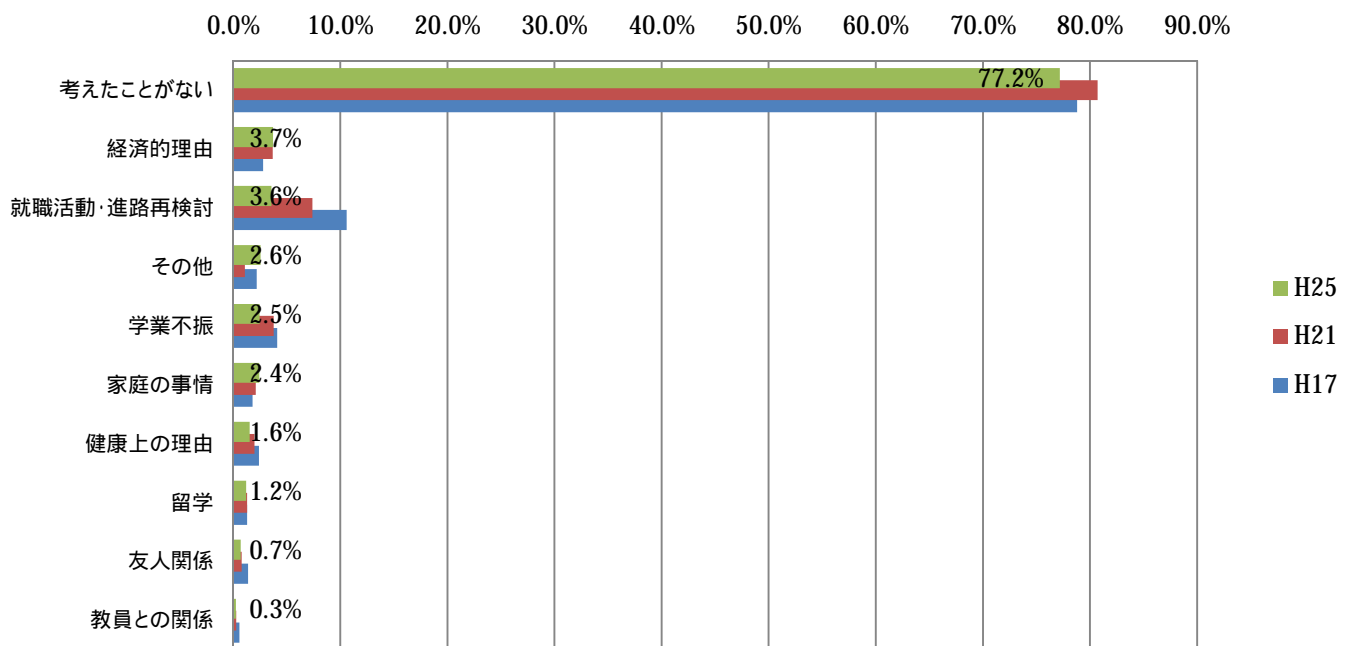
大学院生



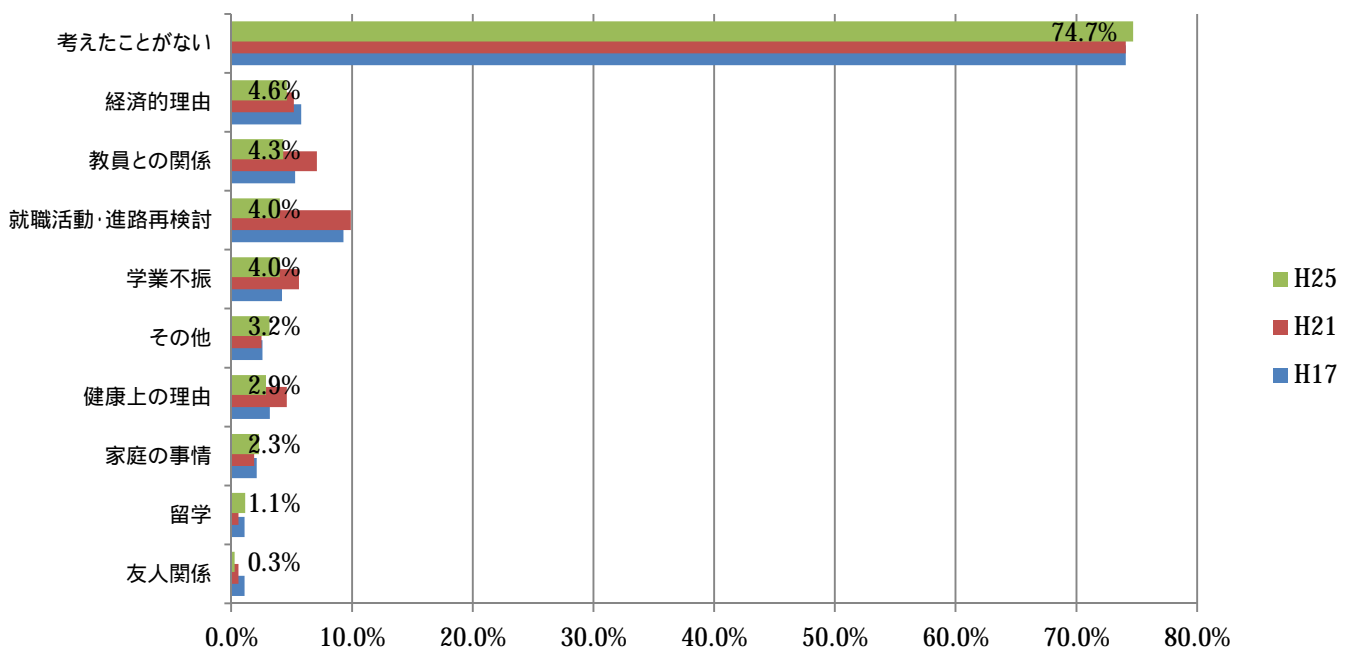
L-f あなたは現在までに「退学」を考えたことがありますか。
 考えたことがある場合、その理由は何ですか。（複数回答可）

退学を考える理由としては、学部学生では「経済的理由」、「就職活動・進路再検討」等が上位。
 大学院生ではそれに加えて「教員との関係」、「学業不振」が挙がる。
 全体として「就職活動・進路再検討」を理由として「退学」を考えた割合は減少している。

学部学生



大学院生

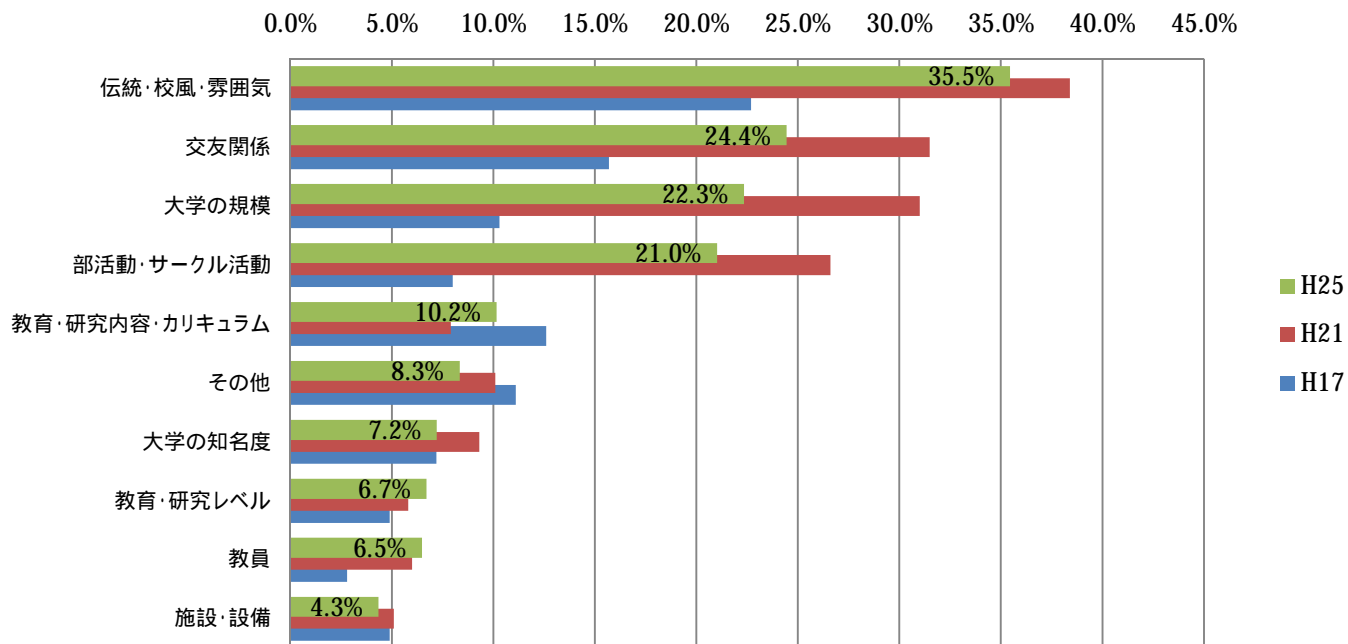


< M 横浜市立大学について >

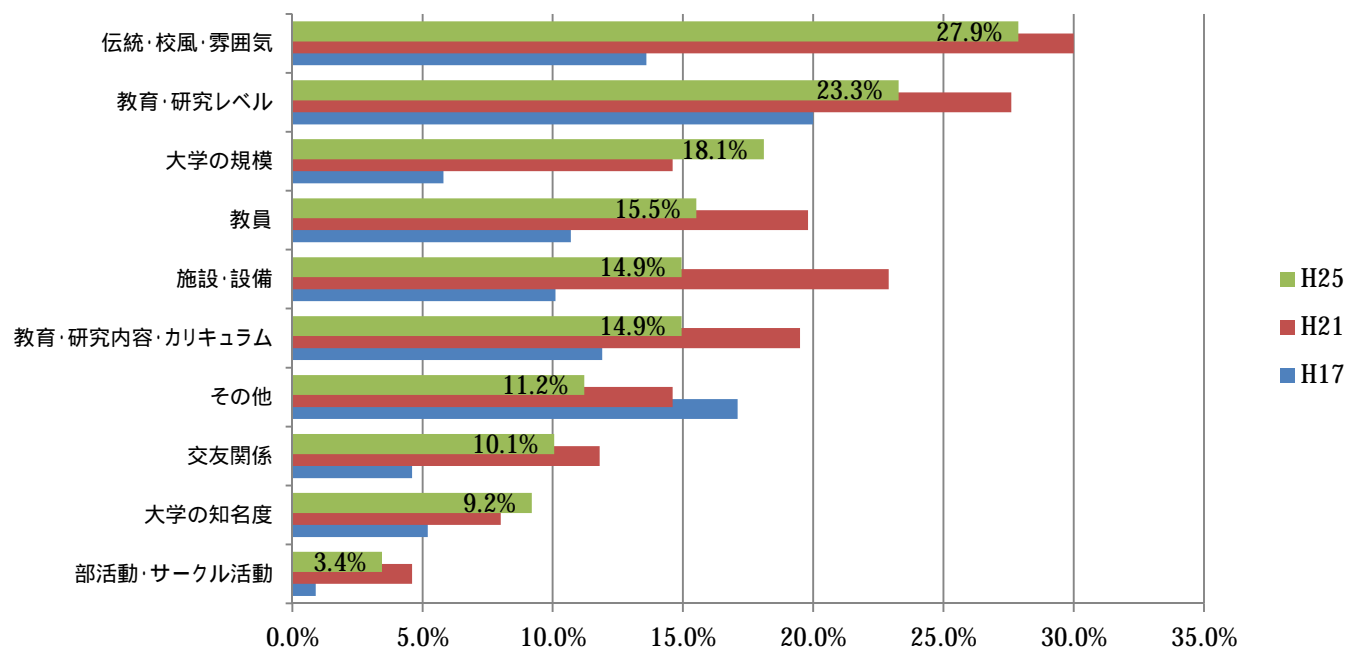
M-a 横浜市立大学の好きな部分は何ですか。（複数回答可）

学部学生ではトップ3は前回と同様に「伝統・校風・雰囲気」、「交友関係」、「大学の規模」という結果。大学院生では、「伝統・校風・雰囲気」、「教育・研究レベル」、「大学の規模」がトップ3であった。

学部学生



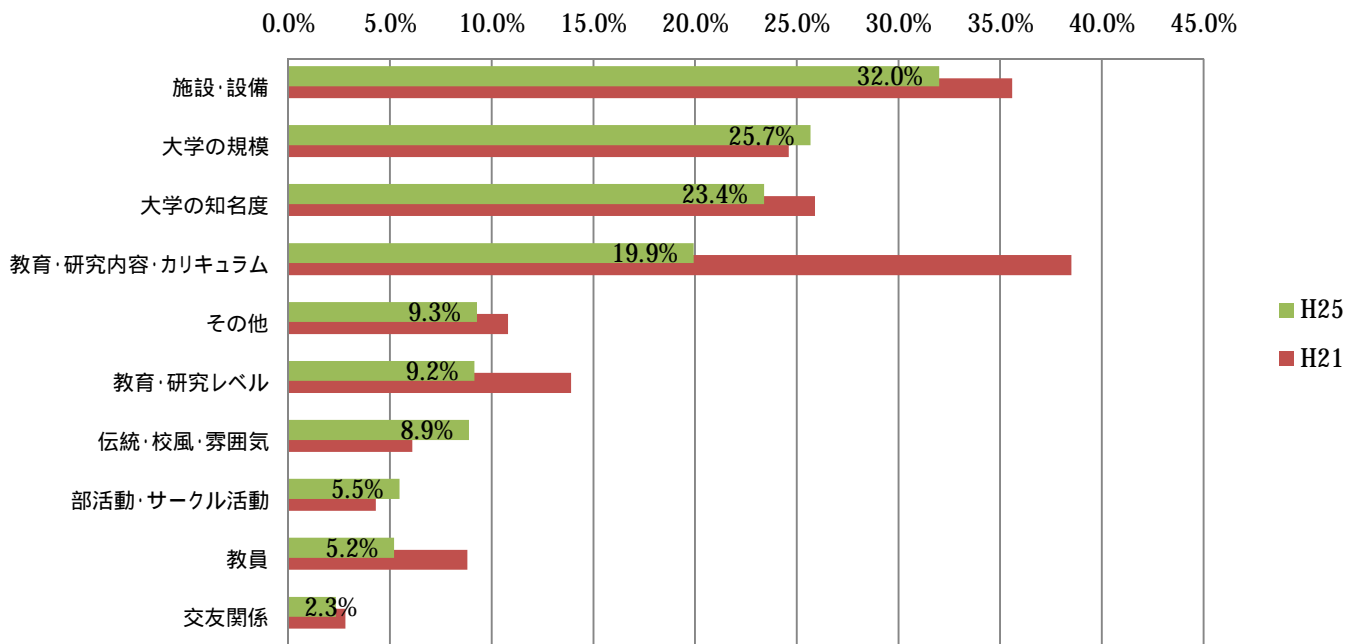
大学院生



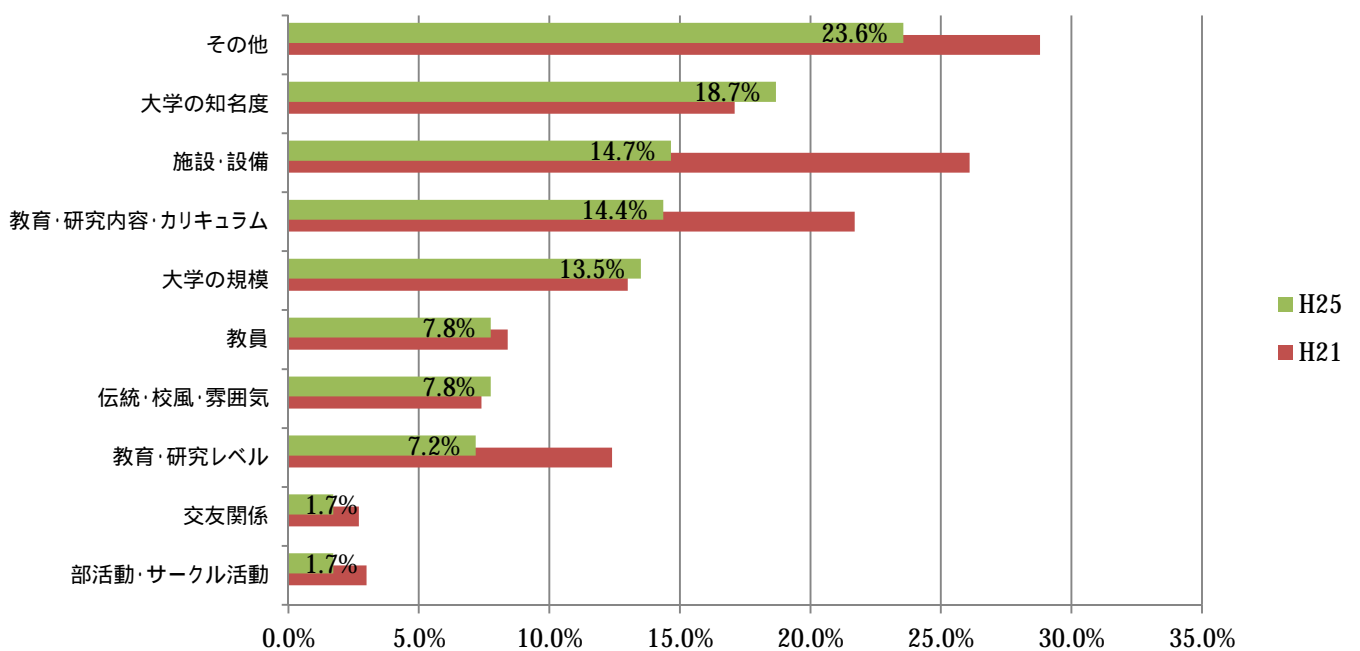
M-b 横浜市立大学の嫌いな部分は何ですか。（複数回答可）

学部学生で一番多かった回答は「施設・設備」。一方で、「教育・研究内容・カリキュラム」と回答した学生の割合は大幅に減少した。大学院生の回答では「その他」に次いで「大学の知名度」、「施設・設備」、大学院生では、「施設・設備」、「教育・研究内容・カリキュラム」と回答した学生の割合は大きく減少した。

学部学生



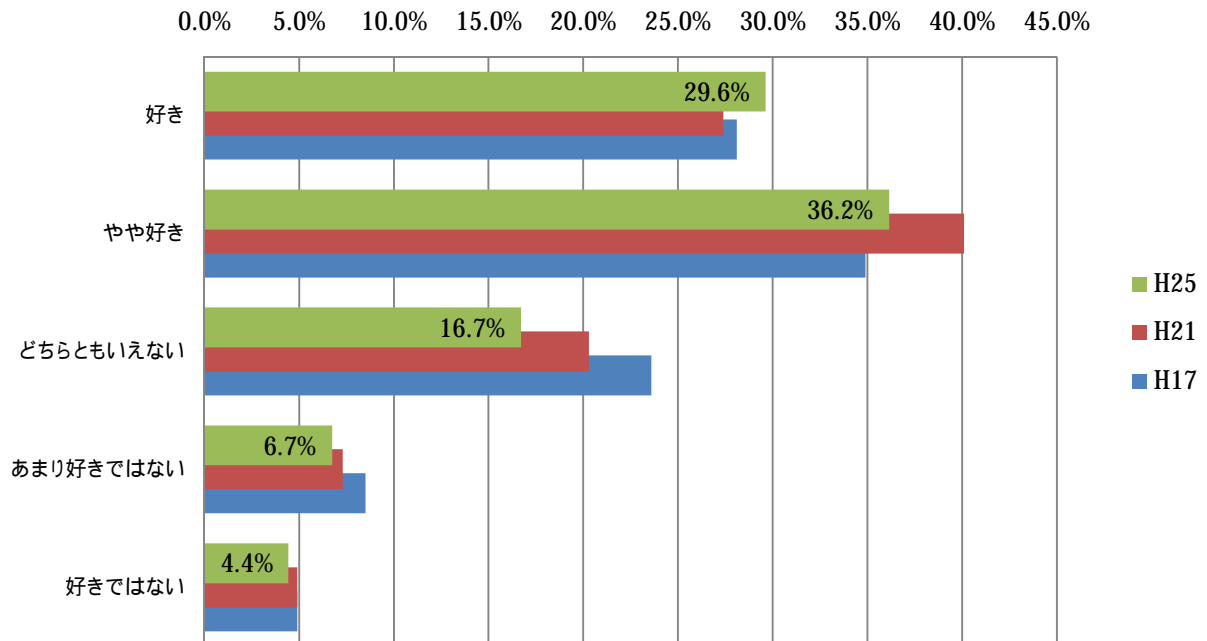
大学院生



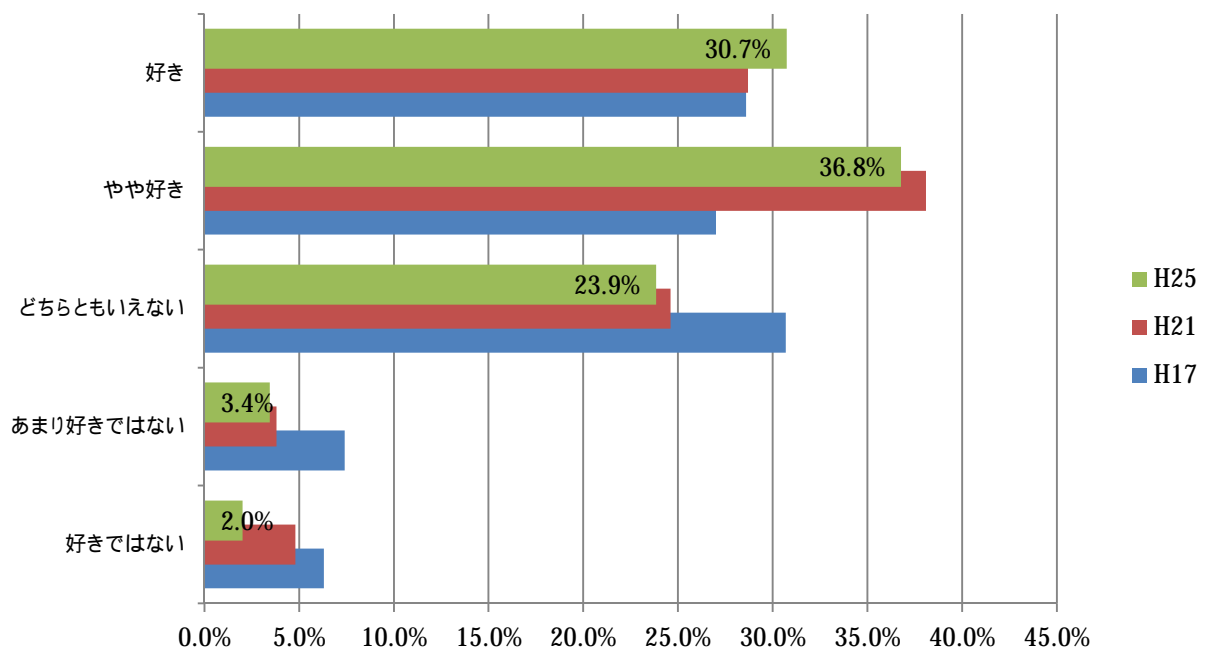
M-c 横浜市立大学が好きですか。

全体の2 / 3の学生は横浜市立大学のことが「好き」あるいは「やや好き」と感じている。特に大学院生では「好きではない」、「あまり好きではない」の割合が前回よりも減少した。

学部学生



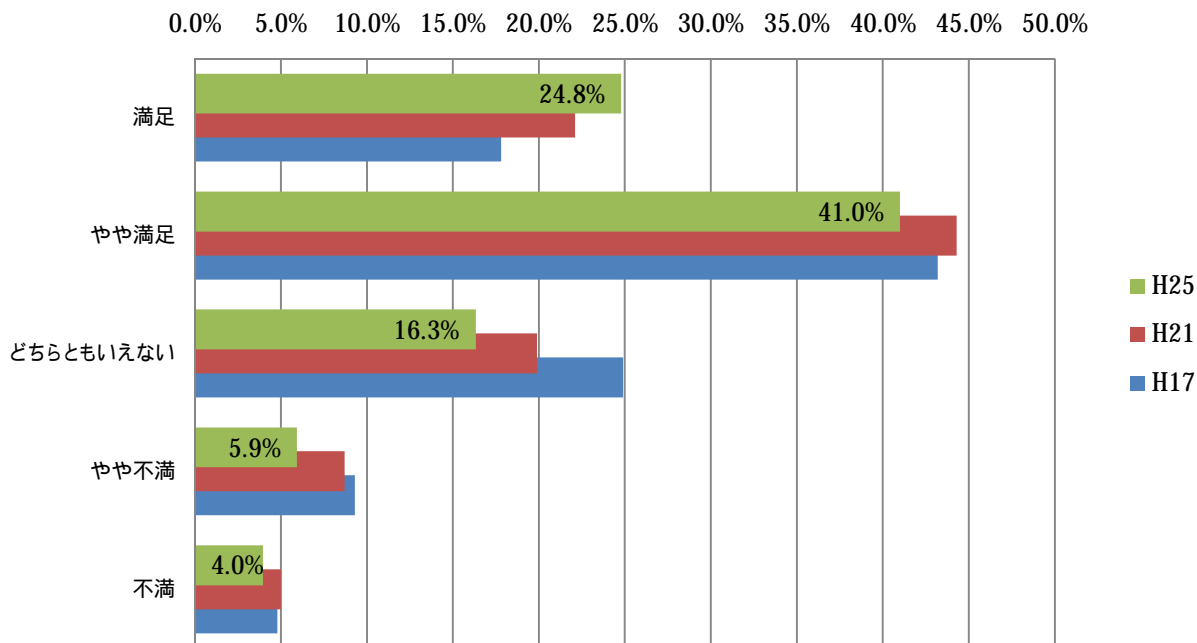
大学院生



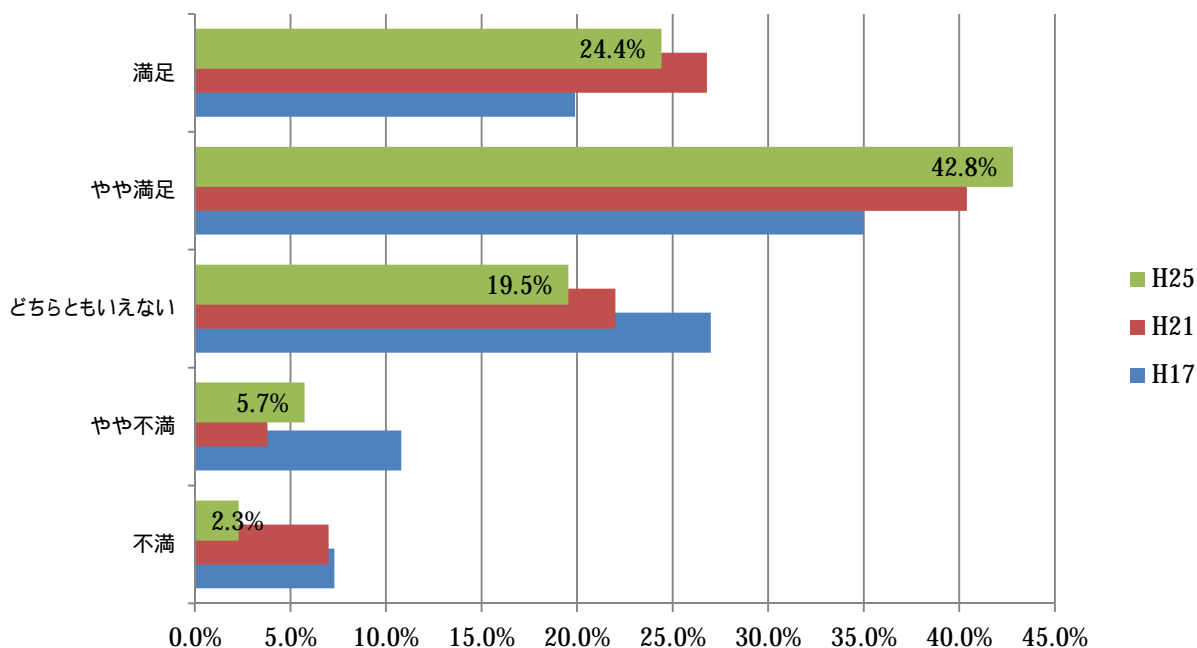
M-d 横浜市立大学での学生生活に満足していますか。

全体の満足度についても約2 / 3の学生が「満足」、「やや満足」と回答した。また、「不満」、「やや不満」の割合も減少傾向にある。

学部学生



大学院生



《 MEMO 》

A series of horizontal dashed lines for writing.

《 MEMO 》

A series of horizontal dashed lines for writing.

《 MEMO 》

A series of horizontal dashed lines for writing.

《 MEMO 》

A series of horizontal dashed lines for writing.

《 MEMO 》

A series of horizontal dashed lines for writing.

《 MEMO 》

A series of horizontal dashed lines for writing.

平成 25 年度

学生生活アンケート調査報告書

横浜市立大学

発 行 平成 26 年 3 月

編集発行 横浜市立大学 学務・教務部

〒236 - 0027

横浜市金沢区瀬戸 2 2 - 2

横浜市立大学 学務・教務部 学務・教務課 学生担当

TEL 045 - 787 - 2036
